新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 ③二二五 營業局專用 ③二二〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

最優良酒 晨晴

戰捷の黎明に迎へた 輝く昭和第十四春

國威今や四海にあまねく 皇室の彌榮を壽ぎ奉る

有史以來の輝やかしい戰捷に明けた昭和聖春第十四年!!!琴色一際あざやかな大內山、宮居のほとりは、日毎加はる勝報にどよもした赤子の聲に、國力推進のすがたのまゝ、おほらかな黎明を迎へたのであつた、あゝ感激すべきこの新春!!!國威今や四海にあまねく、この新たな聖代の春を讃へると共に、皇室の彌榮を壽ぎ奉らねばならない【御寫眞は宮內省御貸下げ】

三陛下

天皇陛下には寶算御三十九、皇后陛下には御年三十七、皇太后陛下にはまた御年五十六の春を迎へさせられ ともに天機並に御機嫌いとうるはしく拜せられる、昨年御濬務の儀を擧げさせ給ふた皇太子殿下にも、はや御七ツにならせられ、ともに御成人の第二親王義宮樣にはまた御五ツに亘らせらる、女子學習院に御在學中の照宮樣、孝宮樣、順宮樣の三內親王樣も御十五、御十一、御九ツとならせられ、今春拜する御母皇后陛下の御慶事のうえは、更に御姉宮とならせらるのである

支那事變も長期建設に入り宮中も早旦より夜おそくまで文武顯官の參內、奏上相次ぎ ために天皇陛下の御政務、御軍務一段と繁多を加へさせられ、御日常御愛好の御乘馬などの御運動も御日程を屢々御變更または御取止め遊ばされるほどにて、眞に御寸暇もあらせられないのである

昨春一月早々宮中にて歷史的な御前會議開かれ、「國民政府を對手とせざる」旨の帝國政府の態度を中外に闡明してより、中南北支各方面の戰線頓に緊張、皇軍破竹の進攻が始まつたが、炎熱酷暑下に奮戰する皇軍將士の上を思召され、赫々たる武勳を揚て、歸還する各戰線の最高指揮官、司令官、司令長官らより軍狀を具さに御聽取、將兵に對しては御慰勞の御言葉を賜り、また侍從武官を第一線に御差遣、勞苦多い前線を視察御慰問の聖旨令旨を傳達せしめられた、一方昨秋十月三日近衞首相に勅語を賜はり、陸海軍將兵の家族並に戰死者、傷病者遺家族に對する擁護事業の資にと御內帑金三百萬圓を下賜遊ばされ、戰線の將兵銃後の遺家族に後顧の憂ひなからしむる聖慮を拜したのであつた、御仁慈一兵士のもとにもくまなく垂れさせ給ふたのであつた、傷ついて後送の戰傷者御優遇にと新宿御苑の拜觀を差許され、同じく重傷者には御苑の菊花をベッドに賜はり、一萬三百三十四柱の英靈新合祀の靖國神社臨時大祭には親しく行幸、地下の英靈の冥福を祈らせられたのであつたが、赫々の武勳に榮えた將士へ[illegible]させ給ひ[illegible]次事變の行賞[illegible]く御決裁、將士勇[illegible]偲ばせ給ふたのである

前線將士鼓舞の御ため、海軍航空廠や木更津海軍航空隊、熊谷陸軍飛行學校に行幸、航空事業御獎勵の思召からは滯空、長距離ともに世界の新記錄をたてた航研機關係者に、破格にも拜謁賜はつたのであつた

日獨伊樞軸强化のため文化協定結ばれるに先立ち、陛下には

兩國の

交誼敦睦のため種々と大御心を注がせ給ひ、獨逸の諸外國との親交にも何かと叡慮あらせらるは、まことに感激に堪へない次第である

酷暑の宮中にて政務をみそなはせらるに扇風機、氷柱、冷房裝置を用ひさせられず、大本營の御障子も張り替へさせ給はず、今年度の宮廷豫算の如きも聖旨を體し極度に御緊縮の御模樣と承る

宮中に於ても政府の政策行政を圓滿遂行せしめらる思召で、御紋章金杯及び御紋付銀花瓶らの下賜を御取止め遊ばされ[illegible]宮中御祝誠の金器は大[illegible]者に御供託、金買上げの一[illegible]にとされたのである、四大節の御賀宴は御廢止になつて久しく、これに反し各種の御救恤金は從來より更に御增額

また今次事變の戰果を物語る御府を宮中に新に御造營の御計畫があるなど、聖慮のほどまことに恐懼感激に堪へない、かくて皇室の御近狀とは申せたゞ御政務、御軍務に御精勵遊ばされるといふ一事よりなく、宮中御團欒の御機會も少く、御母皇太后陛下への御孝心深き天皇陛下には、大宮御所行幸の御事も極めて稀れに

神武不殺

文麿 書

また東宮假御所への行幸啓もまた絶えて久しいと承る

かゝる御日常の陛下の御身邊を、何くれとなく皇后陛下には御內助遊ばされると承る

昨秋十月三日、不幸なる傷痍軍人を慰め給ふ御優しき思召から

あめつちの神もまもりませい
たつきに
いたてになやむますらをの身を

と御歌を賜はり、これよりさき日ソの戰ひであつたかの正勇山（張鼓峰）事件で戰死した陸軍將校以下に對しては支那事變戰死者同樣

やすらかにねむれとそおもふ君のため
いのちさゝけしますらをのとも

の御歌に添へて御菓子を賜はり、御弔問せしめられたのであつた、御參入の皇族妃殿下と御共々、前線將兵へ賜はるべく繃帶を御手づから卷かせられ、また傷病者を通して戰傷病死者の家族遺族の模樣を御聽取、全國の陸海軍病院約二百ヶ所に對しては夫々皇族妃殿下を御差遣、病床に將兵を見舞はせしめられ、御女性の御嗜みとしては

御養蠶

を 御孝養をつくさせらるべく大宮御所行啓、皇太子殿下をはじめ奉り、各御幼少の親王、內親王樣の御養育など、全く日本婦人の御龜鑑と拜し奉るのである

大宮御所にゐます皇太后陛下の御近狀を承るに、御日常極めて御靜かに拜されるとは申せ、御終生の御事業として癩御根絶の思召であらせられるので、癩療養所長會議に臨んだ人々に對し或は療養院に移植するやうにと大宮御所の御實生百五十本づゝを賜はり、光田長島愛生園長、上川臺灣樂生院長、周防朝鮮小鹿島更生園長に對し、その後療養院における患者の生活、また大宮御所內關係者の勞苦など三時間の長時間御聽取、哀れな癩患者の療養費にと大谷皇太后宮大夫、竹屋典侍以下の職員に子豚の形をした貯金箱を頒へつけせしめられ、その醵金、貯金を御獎勵、そのうちの金一封を岡山縣下長島光明園に寄附せしめられたのであつた

また戰線にある勇士並に[illegible]從軍記者などの勞苦をしのば[illegible]給ひては[illegible]などの御慰勞にて、戰線第一線下に身をさらす人々に遠く思を寄せ給ふ御歌を御詠み遊ばされたのである、そして野戰病院に靜養中の戰傷病兵に對しては 御菓子などを賜はつて御慰問せしめられるのである

昨年日光田母澤御用邸にて一夏を御元氣に過ごさせられた皇太子殿下には、屢々御成人の事に拜され、石川傅育官以下側近者は、御發育よく御智慧づき早く、天稟のひらめきを拜するに到つたので御驚嘆申し上げてゐる、赤坂離宮の御一間、東宮假御所に御一人御過ごしの殿下には、やがては皇統をつがせらる貴き御身分、明後年の學習院御入學を控へて御將來への御訓育御鍛錬に御日常をすごさせられてゐると承る、早朝六時には御起床、お元氣にラヂオ體操も遊ばされ、選ばれた[illegible]達との御遊戲、御運動[illegible]嬉々と御打ち興じ[illegible]資性殊の外御[illegible]よしである[illegible]も、ゆく[illegible]起居[illegible]

[illegible]王樣も女子學習院で、夫々御女性としての御教育をうけさせられてをり、極めて御健やかにわたらせらると承る

宮中御團欒とは申せ宮中におかせられては天皇陛下の御政務、御軍務、既に御記し奉つた如く御多忙のため、[illegible]子殿下[illegible]日曜日御參內遊ばされた御機嫌、內親王樣方の御揃ひの上御語らひ遊ばされるのは、全く一週に一度乃至二週に一度にて

御親子

の方々御集ひ遊ばされるのは極めて稀れにて、恐懼に堪へない次第である

×

閑院參謀總長宮、伏見軍令部總長宮兩殿下にはまた、大々大本營幕僚長として連日連夜の御激務[illegible]

田邊治通氏、平沼樞府議長と要談

【東京國通】前滿洲國參議田邊治通氏は、卅日午後五時廿分相州金澤に靜養中の平沼樞府議長を訪問、要談をとげ同八時辭去した

社說

新春の朝陽 大陸に照る

湖北の大野見はるかす限り一面の白銀に包まれつゝありと雖も、一陽來復、けふ新春の氣象は滿ち人心またあらたなるものあるを覺ゆる。われらは遙かに東方を拜しつゝ、竹の園生の御榮えを壽ぎ奉るとゝもに、滿洲國皇帝陛下また御健かにわたらせられることを慶賀し奉るものである。しかしてまた遙か前線に在つて嚴寒凍風の中に生命を賭して聖戰にしたがひつゝある將士の武運長久を祈るとゝもに、また滿洲國防衞のためにあに氷雪を踏んで勞苦を捧げつゝある日滿軍警の勇健をおもはざるを得ぬのである。銃後に在つてこの平安なる新年を迎へ得るのはまさに將士あるが故に外ならぬのである。

まだこの康德六年、昭和十四年を迎ふるに當つてわれらは心底深く一層の緊張した覺悟を持たざるを得ないことを思ふのである。蓋し支那事變は愈よ新しい段階に入り、大陸の經營・長期建設戰はまさに力強く押し進められねばならなくなつたのである。この間においてわが滿洲國に課せられた使命は悲に重且つ大なるものがあると言はねばならぬ。滿洲國は今やつくりあげられんとする東亞協同體の中にあつて力強き指標となり、大陸新生の領導者とならねばならぬ。防共の確固たる布陣を事實を以て明證しなければならぬ。日滿支經濟ブロックの正しい進み方、その繁榮の妥當なる理由あることを具體的例證を以て明らかにしなければならぬ。民族協和、友邦親善がいかにして見事に成し遂げられるものであるかを國民和樂の喜悅を以て證據立てねばならぬ。これらの諸使命は言葉を以て語ることは容易であるがその實踐といふ事は決して單純でもなく容易でもないのである。われらは一層砥勵し力を協せる要のある所以である。

われらは眼を世界の大勢に向ければわれらの環境また決して平坦ではない。東亞は東亞のみの東亞ではない、世界の東亞である。謂ふ意味は現實において世界の鋭い眼と變動する觸手とが今も執拗にわれらの東亞に向つて投げられ伸ばされてゐるといふことである。世界の平和を、後進民族の指導を、彼等歐米人は曾つてより說いて來た。しかし實際にそのなしたところが何であつたかは今ぞ東亞の目覺めた者たちは知つてゐる。さればこそ新しき東亞の體制を創建することがわれら共通の要望として叫ばれるに至つたのである。今年はまさにこの偉大なる事業を大きく進一歩せしめる年でなければならぬ。建設の喇叭にこの大きな進路において搖ぎなく打ち立てられねばならぬ。

光は東方より來る、朝陽は今ぞ東亞の島々を、その大陸を照らしつゝある。輝しき新春、建設の新歲を祝はう。

汪精衞重大聲明發表

日本の公正なる態度に 支那は反省せよ

決然、國府當局に突付

【香港卅日發國通】重慶脫出以來その去就について全世界の注目を集めてゐる汪精衞は卅日午後九時蔣介石並に國民黨中央政治會議、中央執行委員會、中央監察委員會に宛て次の如き重大聲明を發表した【寫眞は汪精衞】

聲明書全文

去る四月開催された臨時全國代表大會に於て發せられた中國現在の交戰理由に關する部分に次の如き一ヶ條があつた、一九三四年塘沽停戰協定締結の後凡有る屈辱を忍んで日本との交涉に應じて來たのは一に軍事的行動を避けよつて平和的方法に次の二事業を遂行せんと願つたからに外ならぬ、即ちこの二事業とは第一は北支諸省の安全を保證し、第二に東北四省の懸案の合理的な解決を實現せんとしたのであり、即ち政治的に吾々の要求する最小限の條件はわが國に於ける外國權益の不侵害、獨立の保障、領土の保全にあり、他方經濟的建設の指導方針は互惠主義と平等にあつた、然るに一九三七年七月蘆溝橋事件の勃發により支那は上記の如き平和的解決への希望の到底實現し得ざるを知ると同時に武器をとつて抵抗せざるを得ざるに至つた、然るに日本政府は去る十二月廿二日の聲明に於て日支國交再調整に關する日本政府の根本方針を闡明した、右聲明に於て强調されたのは

第一の點

は善隣友好の主義である、即ち聲明は日本は支那に對し領土をも賠償をも要求するものにあらず、日本は然し支那の主權を尊重する、然し支那の完全なる獨立を確保するために日本は明治時代に於て實行せる政策の例に倣ひ日本人が支那に於て自由に住し、且つ商業を營み得る代償として日本は支那に對して租界を返還し、且つ治外法權の撤廢に同意せんとしてゐる かゝる宣言を發した日本政府がかゝる以上平和的手段によつて北支各省の安全を保障し得るのみならず、又今次事變の過程において失はれたる領土をも回復し得る、かくて支那の領土主權、行政的獨立並に領土保全をなし得るであらう、されば吾々は大會の宣言に從ひ北支四省問題の合理的解決を得るために吾々の態度を決定し、何等かの措置に出づべきである

第二の點

は防共提携にある、この問題は過去數ヶ年にわたり日本政府によつて極めて屢々提議されて來つた、然も吾々は日本とのかゝる防共的提携は支那の軍事的並に政治的問題の干涉にまで導く可能性ありとして、これに對し疑惑の念を抱いて來たが日支防共協定は、現存する日獨伊三國防共協定成文と同樣な精神に於て締結さるべき旨の極めて率直なる言明をなした以上かゝる疑惑は今や撤回されても可なりである、防共協定の目的が共產黨の國際陰謀を防止、顚覆せんとするものである以上この理由に基き同協定は支那のソ聯との關係に影響を及ぼさしむべきでない、これに加ふるに中國共產黨は三民主義に從ふべきことを誓約し、且つその黨組織並に宣傳工作を止め、その邊境政府を廢止すると共に又その特別軍事組織を廢止し、中華民國政府の法律制度に絕對的に服從すべきことを誓約した、三民主義なるものは支那國民の根本主義であり、從つて祖國を防衞するためには吾々の義務を遂行する吾々は自動的につ積極的に右の主義とは背馳する凡有る組織とか宣傳とかを彈壓せねばならぬ……

[illegible]

大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可
康德六年（昭和十四年）一月一日 新京日日新聞 （日曜日） 3826 第五千七百三十四號

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
定價 一ヶ月壹圓五拾錢 一部五錢 郵税
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（一）編輯局專用 營業局專用
發行人 十河忠 編輯人 松本榮重 印刷人 水越内之介

日本晴

戰捷の黎明に迎へた
輝く昭和第十四春
國威今や四海にあまねく 皇室の彌榮を壽ぎ奉る

有史以來の輝やかしい戰捷に明けた昭和聖春第十四年!!! 翠色一際あざやかな大内山、宮居のほとりは、日毎加はる勝報にどよもした赤子の聲に、國力推進のすがたのまゝ、おほらかな黎明を迎へたのであつた、あゝ感激すべきこの新春!!! 國威今や四海にあまねく、この新たな聖代の春を讃へると共に、皇室の彌榮を壽ぎ奉らねばならない【御寫眞は宮内省御貸下げ】

三陛下

天皇陛下には寶算御三十九、皇后陛下には御年三十七、皇太后陛下にはまた御年五十六の春を迎へさせられ ともに天機並に御機嫌いとうるはしく拜せられる、昨年御著袴の儀を擧げさせ給ふた皇太子殿下にも、はや御七ッにならせられ、ともに御成人の第二親王義宮様にはまた御五ッに亘らせらる、女子學習院に御在學中の照宮様、孝宮様、順宮様の三内親王様も御十五、御十一、御九ッとならせられ、今春拜する御母皇后陛下の御慶事のうえは、更に御姉宮とならせらるのである

支那事變も長期建設に入り宮中も早旦より夜おそくまで文武顯官の參内、奏上相次ぎために天皇陛下の御政務、御軍務一段と繁多を加へさせられ、御日常御愛好の御乘馬などの御運動も御日程を屡々御變更または御取止め遊ばされるほどにて、眞に御寸暇もあらせられないのである

昨春一月早々宮中にて歴史的な御前會議開かれ、「國民政府を對手とせざる」旨の帝國政府の態度を中外に闡明してより、中南北支各方面の戰線頓に緊張、皇軍破竹の進攻が始まつたが、炎熱酷寒下に奮戰する皇軍將士の上を思召され、赫々たる武勲を樹てゝ歸還する各戰線の最高指揮官、司令官、司令長官らより軍狀を具さに御聽取、將兵に對しては御慰勞の御言葉を賜り、また侍從武官を第一線に御差遣、勞苦多い前線を視察御慰問の聖旨令旨を傳達せしめられた、一方昨秋十月三日近衞首相に勅語を賜はり、陸海軍將兵の家族並に戰死者、傷病者遺家族に對する擁護事業の資にと御内帑金三百萬圓を下賜遊ばされ、戰線の將兵銃後の遺家族に後顧の憂ひなからしむる聖慮を拜したのであつた、御仁慈一兵士のもとにもくまなく垂れさせ給ふたのであつた、傷ついて後送の戰傷者御優遇にと新宿御苑の拜觀を差許され、同じく重傷者には御苑の菊花をベッドに賜はり、一萬三百三十四柱の英靈新合祀の靖國神社臨時大祭には親しく行幸、地下の英靈の冥福を祈らせられたのであつた、赫々の武勲に榮えた將士への[illegible]させ給ひ[illegible]次事變の行賞[illegible]く御決裁、將士勇[illegible]偲ばせ給ふたのである

田邊治通氏、平沼樞府議長と要談

【東京國通】前滿洲國參議田邊治通氏は、卅日午後五時廿分相州金澤に靜養中の平沼樞府議長を訪問、要談をとげ同八時辭去した

前線將士鼓舞の御ため、海軍航空廠や木更津海軍航空隊、熊谷陸軍飛行學校に行幸、航空事業御奬勵の思召からは滯空、長距離ともに世界の新記錄をたてた航研機關係者に、破格にも拜謁賜はつたのであつた

日獨伊樞軸強化のため文化協定結ばれるに先立ち、陛下には

兩國の

交誼敦睦のため種々と大御心を注がせ給ひ、爾餘の諸外國との親交にも何かと叡慮あらせらるは、まことに感激に堪へない次第である

酷暑の宮中にて政務をみそなはせらるゝに扇風機、氷柱、冷房裝置を用ひさせられず、大本營の御障子も張り替へさせ給はず、諸費御節約を旨とせられ、今年度の宮廷豫算の如きも聖旨を體し極度に御緊縮の御模樣と承る

宮中に於ても政府の政策行政を圓滿遂行せしめらる思召で、御紋章金杯及び御紋付銀花瓶らの下賜を御取止め遊ばされ、宮中御秘藏の金器は大[illegible]者に御供託、金買上げの一[illegible]にとされたのである、四大[illegible]御の御賀宴は御廢止になつて久しく、これに反し各種の御救恤金は從來より更に御増額

また今次事變の戰果を物語る御府を宮中に新に御造營の御計畫があるなど、聖慮のほどまことに恐懼感激に堪へない かくて皇室の御近狀とは申せたゞ御政務、御軍務に御精勵遊ばされるといふ一事よりなく、宮中御團欒の御機會も少く、御母皇太后陛下への御孝心深き天皇陛下には、大宮御所行幸の御事も極めて稀れに

また東宮假御所への行幸啓もまた絶えて久しいと承る かゝる御日常の陛下の御身邊を、何くれとなく皇后陛下には御内助遊ばされると承る 昨秋十月三日、不幸なる傷痍軍人を慰め給ふ御優しき思召から

あめつちの神ももりませいふ君のためいのちさゝげしますらをのとも

の御歌に添へて御菓子を賜はり、御弔問せしめられたのであつた、御參入の皇族妃殿下と御共々、前線將兵へ賜はるべく繃帶を御手づから卷か

神武不殺
文麿書

たづきに いたでになやむますらをの身をと御歌を賜はり、これよりさき日ソの戰ひであつたかの正勇山（張鼓峰）事件で戰死した陸軍將校以下に對しては支那事變戰死者同樣やすらかにねむれとそおも

せられ、また側近者を通して戰傷病死者の家族遺族の模樣を御聽取、全國の陸海軍病院約二百ヶ所に對しては大々皇族妃殿下を御差遣、病床に將兵を見舞はせしめられ、御女性の御嗜みとしては

御養蠶

を、御孝養をつくさせらるべく大宮御所行啓、皇太子殿下をはじめ奉り、各御幼少の親王、内親王様の御養育など、全く日本婦人の御龜鑑と拜し奉るのである

大宮御所にゐます皇太后陛下の御近狀を承るに、御日常極めて御靜かに拜されるとは申せ、御終生の御事業として癩御根絶の思召でゐらせられるので、癩療養所長會議に臨んだ人々に對し或は療養院に移植するやうにと大宮御所の楓の實生百五十本づゝを賜はり、光田長島愛生園長、上川臺灣樂生院長、周防朝鮮小鹿島更生園長に對し、その後の療養院における患者の生活、關係者の勞苦など三時間の長時間御聽取、また大宮御所内に子豚の形をした貯金箱を備へつけせしめられ、哀れな癩患者の療養費にと大谷皇太后宮大夫、竹屋典侍以下の職員の醵金、貯金を御奬勵、そのうちの金一封を岡山縣下長島光明園に寄附せしめられたのであつた

また戰線にある勇士並に[illegible]聞記者などの勞苦をしのげ[illegible]

綴ひては[illegible]士並[illegible]從軍記者などの御兼題にて、戰線彈雨下に身をさらす人々に遠く思ひを寄せ給ふ御歌を御詠み遊ばされたのである、そして野戰病院に靜養中の戰傷病兵に對しては御菓子などを賜はつて御慰問せしめられるのである

昨年日光田母澤御用邸にて一夏を御元氣に過ごさせられた皇太子殿下には、愈々御成人美事に拜され、石川傅育官以下側近者は、御發育よく御智慧づき早く、天稟のひらめきを拜するに到つたので御驚嘆申し上げてゐる、赤坂離宮の御一隅、東宮假御所に御一人御過ごしの殿下には、やがては皇統をつがせらる尊き御身分、明後年の學習院御入學を控へて御將來への御訓育御鍛錬に御日常をすごさせられてゐると承る、早朝六時には御起床、お元氣にラヂオ體操も遊ばされ、選ばれた御學友達との御遊戯、御運動[illegible]嬉々と御打ち興じ[illegible]資性殊の外御[illegible]よしである。[illegible]も、ゆく[illegible]起居[illegible]

王様も女子學習院で大々御女性としての御薫育をうけさせられてをり、極めて御健やかにわたらせられると承る

宮中御團欒とは申せ宮中におかせられては天皇陛下の御政務、御軍務、既に謹記し奉つた如く御多忙のため、皇太子殿下、日曜日御參内遊ばされた御機會、内親王様方御うちの上御語らひ遊ばされるのは、全く一週に一度乃至二週三週に一度にて

御親子

の方々御集ひ遊ばされるのは極めて稀れにて、恐懼に堪へない次第である

閑院參謀總長宮、伏見軍令部總長宮兩殿下にはまた、大々大本營幕僚長として連日連夜の御激務[illegible]高齢[illegible]

社說
新春の朝陽 大陸に照る

湖北の大野見はるかす限り一面の白銀に包まれつゝあり、雖も、一陽來復、けふ新春の氣象は滿ち人心またあらたなるものあるを覺ゆる。われらは遙かに東方を拜しつゝ、併の興生の御聲を謹み奉るとゝもに、滿洲國皇帝陛下また御健かにわたらせられることを慶賀し奉るものである。しかしてまた遙か前線に在つて嚴寒凍風の中に生命を賭して理戰にしたがひつゝある將士の武運長久を祈るとゝもに、また滿洲國防衛のため氷雪を踏んで勞苦を辨げつゝある日滿軍警の勇健をねがはざるを得ぬのである。銃後に在つてこの平安なる新年を迎へ得るのはまさに將士あるが故に外ならぬのである。

まだこの康德六年、昭和十四年を迎ふるに當つてわれらは心底深く一層の緊張した覺悟を持たざるを得ないことを思ふのである。蓋し支那事變は愈よ新しい段階に入り、大陸の經營、長期建設はまさに力強く押し進められねばならなくなつたのである。この間にありてわが滿洲國に課せられた使命は愈よ重且つ大なるものがあると言はねばならぬ。滿洲國は今やつくりあげられんとする東亞協同體の中にあつて力強き指標となり、大陸新生の領導者とならねばならぬ。防共の確固たる布陣を事實を以て明證しなければならぬ。日滿支經濟ブロックの正しい進み方、その繁榮の妥當なる理由あることを具體的例證を以て明らかにしなければならぬ。民族協和、友邦親善がいかにして見事に成し遂げられるものであるかを國民和樂の喜悅を以て證し立てねばならぬ。これらの諸使命は言葉を以て語ることは容易であるがその實踐といふ事は決して單純でもなく容易でもないのである。

われら一層砥礪し力を協せる要のある所以である。眼を世界に向ければわれらの環境また決して平坦ではない。東亞は東亞のみの東亞ではない。世界の東亞である。謂ふ所以は現實において世界の鋭い眼と蠢動する懷手とが今も執拗にわれらの東亞に向つて投げられ伸ばされてゐるといふことである。世界の不和を、後進民族の指導をり說いて來た。彼等歐米人は曾つてよにそのなしたところが何であつたかは今や東亞の目覺めた者たちは知つてゐる。されば こそ新しき東亞の體制を創建することがわれら共通の要望として叫ばれるに至つたのである。今年はまさにこの偉大なる事業を大きく進一歩せしめる年でなければならぬ。建設の雄標にこの大きな進路において揺ぎなく打ち立てられねばならぬ。光は東方より來る。朝陽は今や東亞の島々を、その大陸を照らしつゝある。輝しき新春、建設の新議を說は。

汪精衛重大聲明發表
日本の公正なる態度に 支那は反省せよ
決然、國府當局に突付

【香港卅日發國通】重慶脱出以來その去就について全世界の注目を集めてゐる汪精衛は卅日午後九時蔣介石並に國民黨中央政治會議、中央執行委員會、中央監察委員會に宛て次の如き重大聲明を發表した【寫眞は汪精衛】

聲明書全文

去る四月開催された臨時全國代表大會に於て發せられた宣言に於て國現在の交戰理由に關する部分に次の如き一せつがあつた一九三一年以來[illegible]結の後凡有る屈辱を忍んで來たのは日本との交渉に應じて一に軍事的行動を平和的方法によつて遂行せんと願つたからに外ならぬ、即ちこの二つの事業とは第一は北支諸省の安全を保證し、第二に東北四省の懸案の合理的な解決を實現せんとしたのである、即ち政治的に吾々の要求する最小限の條件はわが國に於ける保障、外國權益の保全、獨立の方針、經濟的[illegible]吾々の指導方針は他 五惠主義と平等にあつた、然るに一九三七年七月蘆溝橋事件の勃發により支那は上記の如き平和的解決への希望の到底實現し得ざるを知ると同時に武器をとつて抵抗せざるを得ざるに至つた、然るに日本政府は去る十二月廿二日の聲明に於て日支國交再調整に關する日本政府の根本方針を闡明した、右聲明に於て强調されたのは

第一の點

は善隣友好の主義である、即ち聲明は日本は支那に對し領土をも賠償をも要求するものにあらず、日本は支那の主權を尊重するも、然し支那の完全なる獨立を確保するために日本は日本が明治時代に於て實行せる政策の例に倣ひ日本人が支那に於て自由に居住し且つ商業を營み得る代償として日本は支那に對して租界を返還し、且つ支那に於ける治外法權の撤廢に同意せんとしてゐる、日本政府がかゝる宣言を發表せる以上平和的手段によつて北支各省の安全を保障し得るのみならず、又今次事變の過程に於て失はれたる領土をも回復し得る、かくて支那の領土主權、行政的獨立並に領土保全をなし得るであらう、されば吾々は大會の宣言に從ひ北支四省問題の合理的解決を得るために吾々の態度を決定し、何等かの措置に出づべきである

第二の點

は防共提携にある、この問題は過去數ヶ年にわたり日本政府によつて極めて屢々提議されて來た、然るに吾々は日本とのかゝる防共的問題は支那の軍事的並に政治的干渉にまで導く可能性ありとして、危惧の念を抱いて來たが、これに對し日支防共協定は、現存する日獨伊三國防共協定成文と同樣な精神に於て締結さるべき旨の極めて率直なる言明をなした以上かゝる疑惑は今や撤回されても可なりである、防共協定の目的が共產黨の國際陰謀を防止、顚覆せんとするものである以上この理由に基き同協定は支那のソ聯との關係に影響を及ぼさしむべきでない、これに加ふるに中國共產黨は三民主義に從ふべきことを誓約し、且つその黨組織並に宣傳工作を止め、その邊境政府を廢止すると共に、又その特別軍事組織を廢止し、中華民國政府の法律制度に絕對的に服從すべきことを誓約した、三民主義なるものは支那國民の根本主義であり、從つて祖國を防衛する吾々の義務を遂行するためには吾々は自動的に且つ積極的に右の主義とか宣傳とかを抑壓せねばならぬ[illegible]

大正九年十二月四日第三種郵便物認可　康德六年（昭和十四年）一月一日　新京日日新聞　（日曜日）　3826　第五千七百三十四號

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用③三三〇五　營業局專用
發行人　松本勇
編輯人　河東榮忠
印刷人　水越内之介

日晴

戰捷の黎明に迎へた
輝く昭和第十四春
國威今や四海にあまねく
皇室の彌榮を壽ぎ奉る

有史以來の輝やかしい戰捷に明けた昭和聖春第十四年!!!琴色一際あざやかな大内山、宮居のほとりは、日毎加はる勝報にどよもした赤子の聲に、國力推進のすがたのまゝ、おほらかな黎明を迎へたのであつた、あゝ感激すべきこの新春!!!國威今や四海にあまねく、この新たな聖代の春を讃へると共に、皇室の彌榮を壽ぎ奉らねばならない【御寫眞は宮内省御貸下げ】

三陛下

天皇陛下には寶算御三十九、皇后陛下には御年三十七、皇太后陛下にはまた御年五十六の春を迎へさせられ、ともに天機麗はしく拜せられる、昨年御嘗務の儀を擧げさせ給ふた皇太子殿下にも、はや御七ツにならせられ、ともに御成人の第二親王義宮様にはまた御六ツに亘らせらる、女子學習院に御在學中の照宮様、孝宮様、順宮様の三内親王様も御十五、御十一、御九ツとならせられ、今春拜する御母皇后陛下の御慶事のうえは、更に御婦宮とならせらるのである

支那事變も長期建設に入り宮中も早旦より夜おそくまで文武顯官の參内、奏上相次ぎために天皇陛下の御政務、御軍務一段と繁多を加へさせられ、御日常御愛好の御乘馬などの御運動も御日程を屢々御變更または御取止め遊ばされるほどにて、殆ど御寸暇もあらせられないのである

昨春一月早々宮中にて歴史的な御前會議開かれ、「國民政府を對手とせざる」旨の帝國政府の態度を中外に闡明してより、中南北支各方面の戰線頓に緊張、皇軍破竹の進攻が始まつたが、炎熱酷寒下に奮戰する皇軍將士の上を思召され、赫々たる武勳を樹てゝ歸還する各戰線の最高指揮官、司令官、司令長官らより軍状を具さに御聽取、將兵に對しては御慰勞の御言葉を賜り、また侍從武官を第一線に御差遣、勞苦多い前線を視察御慰問の聖旨を傳達せしめられた、一方昨秋十月三日近衞首相に勅語を賜はり、陸海軍將兵の家族並に戰死者、傷病者遺家族に對する擁護事業の資にと御内帑金三百萬圓を下賜遊ばされ、戰線の將兵銃後の遺家族と後顧の憂ひなからしむる聖慮を拜したのであつた、御仁慈一兵士のもとにもくまなく垂れさせ給ふたのであつた、傷ついて後送の戰傷者御優遇にと新宿御苑の拜觀を差許され、同じく重傷者には御苑の菊花をベッドに賜はり、一萬三百三十四柱の英靈新合祀の靖國神社臨時大祭には親しく行幸、地下の英靈の冥福を祈らせられたのであつた、[illegible]赫々の武勳に榮えた將士への[illegible]させ給[illegible]次事變の行賞[illegible]く御決裁、將士勇[illegible]偲ばせ給ふたのである

前線將士殺傷の御ため、海軍航空廠や木更津海軍航空隊、熊谷陸軍飛行學校に行幸、航空事業御獎勵の思召からは滞空、長距離ともに世界の新記録をたてた航研機關係者に、破格にも拜謁賜はつたのであつた

日獨伊樞軸强化のため文化協定結ばれるに先立ち、陛下には

兩國の 交誼敦睦のため種々と大御心を注がせ給ひ、爾餘の諸外國との親交にも何かと叡慮あらせらるは、まことに感激に堪へない次第である

酷暑の宮中にて政務をみそなはせらるに扇風機、氷柱、冷房裝置を用ひさせられず、大本營の御障子も張り替へさせ給はず、諸費御節約を旨とせられ、今年度の宮廷豫算の如きも聖旨を體し極度に御緊縮の御模様と承る

宮中に於ても政府の政策行政を圓滿遂行せしめらる思召で、御紋章金杯及び御紋付銀花瓶らの下賜を御取止め遊ばされ、宮中御秘藏の金器は大[illegible]者に御供託、金貨上げの一環にとされたのである、四大節の御賀宴は御廢止になつて久しく、これに反し各種の御救恤金は從來より更に御增額

また今次事變の戰果を物語る御府を宮中に新に御造營の御計畫があるなど、聖慮のほどまことに恐懼感激に堪へない

かくて皇室の御近狀とは申せたゞ御政務、御軍務に御精勵遊ばされるといふ一事よりなく、宮中御團欒の御機會も少く、御母皇太后陛下への御孝心深き天皇陛下には、大宮御所行幸の御事も極めて稀れに、また東宮假御所への行幸啓もまた絶えて久しいと承る

かゝる御日常の陛下の御身邊を、何くれとなく皇后陛下には御内助遊ばされると承る

昨秋十月三日、不幸なる傷痍軍人を慰め給ふ御優しき思召から

あめつちの神もまもりませいたつきにいたでになやむますらをの身を

と御歌を賜はり、これよりさき日ソの戰ひであつたかの正勇山（張鼓峰）事件で戰死した陸軍將校以下に對しては支那事變戰死者同様

やすらかにねむれとぞおもふ君のためいのちさゝげしますらをのとも

の御歌に添へて御菓子を賜はり、御弔問せしめられたのであつた、御參入の皇族妃殿下と御共々、前線將兵へ賜はるべく繃帶を御手づから卷かせられ、また側近者を通して戰傷病死者の家族遺族の模様を御聽取、全國の陸海軍病院約二百ヶ所に對しては夫々皇族妃殿下を御差遣、病床に將兵を見舞はせしめられ、御女性の御嗜みとしては戰線彈雨などの御兼題にて、戰線に身をさらす人々に遠く思ひを寄せ給ふ御歌を御詠み遊ばされたのである、そして野戰病院に靜養中の戰傷病兵に對しては御菓子などを賜はつて御慰問せしめられるのである

神武不殺
文麿　書

御養蠶

を 御孝養をつくさせらるべく大宮御所行啓、皇太子殿下をはじめ奉り、各御幼少の親王、内親王様の御養育など、全く日本婦人の御龜鑑と拜し奉るのである

大宮御所にゐます皇太后陛下の御近狀を承るに、御日常極めて御靜かに拜されるとは申せ、御終生の御事業として御癩根絶の思召であらせられるので、癩療養所長會議に臨んだ人々に對し或は療養院に移植するやうにと大宮御所の御寫生の實生百五十本づゝを賜はり、光田長島愛生園長、上川臺灣樂生院長、周防朝鮮小鹿島更生園長に對し、その後の療養院における患者の生活、關係者の勞苦など三時間の長時間御聽取、また大宮御所内に子豚の形をした貯金箱を備へつけせしめられ、哀れな癩患者の療養費にと大谷皇太后宮大夫、竹屋典侍以下の職員の醵金、貯金を御獎勵、そのうちの金一封を岡山縣下長島光明園に寄附せしめられたのであつた

また戰線にある勇士並に開記者などの勞苦をしのば[illegible]

昨年日光田母澤御用邸にて一夏を御元氣に過ごさせられた皇太子殿下には、愈々御成人美事に拜され、石川傅育官以下側近者は、御發育よく御智慧づき早く、天稟のひらめきを拜するに到つたので御慶喚申し上げてゐる、赤坂離宮の御一間、東宮假御所に御一人御過ごしの殿下には、やがては皇統をつがせらる尊き御身分、明後年の學習院御入學を控へて御將來への御訓育御鍛錬に御日常をすごさせられてゐると承る、早朝六時には御起床、お元氣にラヂオ體操も遊ばされ、選ばれた御學友達との御遊戯、御運[illegible]嬉々と御打ち興じ[illegible]資性殊の外御明[illegible]よしである、[illegible]も、ゆく[illegible]起居[illegible]

[illegible]王様も女子學習院に[illegible]女性としての御薫育をうけさせられてをり、極めて御健やかにわたらせられると承る

宮中御團欒とは申せ宮中におかせられては天皇陛下の御政務、御軍務、既に謹記し奉つた如く御多忙のため、皇太子殿下、日曜日御參内遊ばされた御機會、内親王様方御揃りの上御團欒ひ遊ばされるのは、全く一週に一度乃至二週三週に一度にて

御親子

の方々御集ひ遊ばされるのは極めて稀れにて、恐懼に堪へない次第である

×

閑院參謀總長宮、伏見軍令部總長宮兩殿下にはまた、夫々大本營幕僚長として連日連夜の御激務[illegible]高齢[illegible]御[illegible]

田邊治通氏、平沼樞府議長と要談

【東京國通】前滿洲國參議田邊治通氏は、卅日午後五時廿分相州金澤に靜養中の平沼樞府議長を訪問、要談をとげ同八時辭去した

社説
新春の朝陽大陸に照る

湖北の大野見はるか千里、一面の白銀に包まれつゝありと雖も、一陽來復、けふ新春の瑞氣は滿ち人心またあらたなるものあるを覺ゆる。われらは遙かに東方を拜しつゝ、皇の御榮えを祝く奉るとゝもに、滿洲國皇帝陛下また御健かにわたらせられることを慶賀し奉るものである。しかしてまた遙か前線に在つて嚴寒寒風の中に生命を賭して聖戰にしたがひつゝある將士の武運長久を祈るとゝもに、また滿洲國防衞のために氷雪を踏んで勞苦を捧げつゝある日滿軍の勇健をおもはざるを得ないのである。銃後に在つてこの平和なる新年を迎へ得るのはまさに將士あるが故に外ならぬのである。

まだこの康德六年、昭和十四年を迎ふるに當つてわれらは心底深く一層の緊張した覺悟を持たざるを得ないことを思ふのである。蓋し支那事變は愈よ新しい段階に入り、大陸の經營、長期建設戰はますます力強く押し進められねばならなくなつたのである。この間にあつてわが滿洲國に課せられた使命は愈よ重且つ大なるものがあると言はねばならぬ。滿洲國は今やつくりあげられんとする東亞協同體の中にあつて力强き指標となり、大陸新生の領導者とならねばならぬ。防共の確固たる布陣を事實を以て明證しなければならぬ。日滿支經濟ブロックの正しい進み方、その繁榮の妥當なる理由あることを具體的例證を以て明らかにしなければならぬ。民族協和、友邦親善がいかにして見事に成し遂げられるものであるかを國民和樂の喜悦を以て證據立てねばならぬ。これらの諸使命は言葉を以て語ることは容易であるがその實踐といふ事は決して單純でもなく容易でもないのである。われら一層砥礪し力を協せる要のある所以である。

眼を世界の大勢に向ければわれらの環境また決して平坦ではない。東亞は東亞のみの東亞ではない。世界の東亞である。謂ふ意味は現實において世界の勢つぱい眼と饗動する觸手とが今も執拗にわれらの東亞に向つて投げられ伸ばされてゐるといふことである。世界の平和を、後進民族の指導を、彼等歐米人は曾つてより説いて來た。しかし實際にそのなしたところが何であつたかは今ぞ東亞の目覺めた者たちは知つてゐる。さればこそ新しき東亞の體制を創建することがわれら共通の要望として叫ばれるに至つたのである。今年はまさにこの偉大なる事業を大きく進一歩せしめる年でなければならぬ。建設の哩標にこの大きな進路において揺ぎなく打ち立てられねばならぬ。

光は東方より來る。朝陽は今こそ東亞の島々を、その大陸を照らしつゝある。輝しき新春、建設の新譜を説はう。

汪精衛重大聲明發表
日本の公正なる態度に支那は反省せよ
決然、國府當局に突付

【香港卅日發國通】重慶脫出以來その去就について全世界の注目を集めてゐる汪精衛は卅日午後九時蔣介石並に國民黨中央政治會議、中央執行委員會、中央監察委員會に宛て次の如き重大聲明を發表した【寫眞は汪精衛】

聲明書全文

去る四月開催された臨時全國代表大會に於て發せられた中國現在の交戰理由に關する部分に次の如き一せつがあつた一九三四年塘沽停戰協定締結の後凡有る屈辱を忍んで日本と一々の交渉に應じて來たのは一に軍事的行動を避けて次の二事業を平和的方法によつて遂行せんと願つたからに外ならぬ、即ちこの二事業とは第一は北支諸省の安全を保證し、第二に東北四省の懸案の合理的な解決を實現せんとしたのである即ち政治的に吾々の要求する最小限の條件はわが國に於ける外國權益の保全を保障し、領土の保全であり、獨立の方針、經濟的協力の指導方針は他互惠主義と平等にあつた、然るに一九三七年七月蘆溝橋事件の勃發により支那は上記の如き平和的解決への希望の到底實現し得ざるを知ると同時に武器をとつて抵抗せざるを得ざるに至つた、然るに日本政府は去る十二月廿二日の聲明に於て支那國交再調整に關する日本政府の根本方針を闡明した、右聲明に於て强調された

第一の點 は善隣友好の主義である、即ち聲明は日本は支那に對し領土をも賠償をも要求するものにあらず、日本は然し支那の完全なる獨立を尊重する、然るに日本は明治時代に日本が確保するために於て實行せる政策の例に倣ひ日本人が支那に於て自由に住居し、且つ商業を營み得る代償として日本は支那に對して租界を返還し、且つ治外法權の撤廢に同意せんとしてゐる、かゝる宣言を嚴かに日本政府がかゝる以上平和的手段によつて北支各省の安全を保障し得るのみならず、又今次事變の過程において失はれたる領土をも回復し得る、かくて支那の領土主權、行政的獨立並に領土保全をなし得るであらう、されば吾々は大會の宣言に從ひ北支四省問題の合理的解決を得るために吾々の態度を決定し、何等かの措置に出づべきである

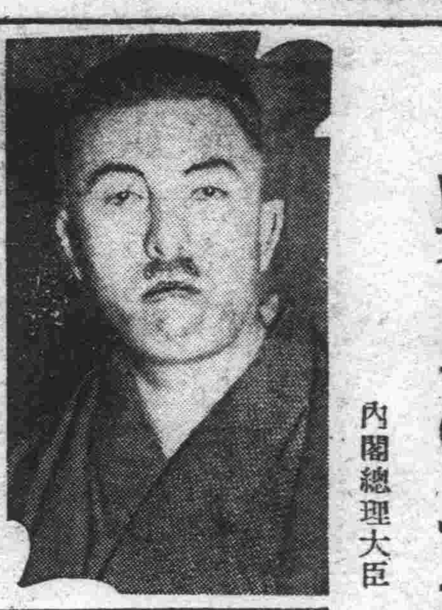
第二の點 は防共提携にある、この問題は過去數ヶ年にわたり日本政府によつて屢々提議され來つた、然して吾々は日本とのかゝる防共提携は支那の軍事的並に政治的問題の干渉にまで導く可能性ありとして、これに對し疑惑の念を抱いて來たが、日獨伊三國防共協定は、現存する日支防共協定成文と同様な精神に於て締結さるべき旨の極めて率直なる言明をなした以上かゝる疑惑は今や撤回されるも可なりである、防共協定の目的が共産黨の國際陰謀を防止、顛覆せんとするものである以上この理由に基き同協定は支那のソ聯との關係に影響を及ぼさしむべきでない、中國共産黨は三民主義に從ふべきことを誓約し、且つその黨組織並に宣傳工作を止め、その邊境政府を廢止すると共に又その特別軍事組織を廢止し、又中華民國の法律制度に絶對的に服從すべきことを誓約した、三民主義なるものは支那國民の根本主義であり、從つて祖國を防衞する吾々の意圖を遂行するためには吾々は自動的に右の主義とか宣傳とかを排除せねばならぬ

第[illegible]

[illegible]

皇軍戰果を集約援用 興亞の大業に邁進

内閣總理大臣　近衛文麿



新年を迎ふるに當り、謹みて無窮の聖壽を壽ぎ奉り、彌榮え行く皇室の御繁榮を祝し奉る、天皇陛下には事變下殊の外御繁忙なる御政務、御軍務に、日夜御精勵遊ばさるゝ事は寔に畏れ多い極みである、又今回の事變に際しては、秩父宮殿下を始め奉り各宮殿下が金枝玉葉の御身を以て御參戰遊ばされ、前線に將兵と勞苦を共にせられたることも感激に堪へざる所である、我々臣民は、益々御奉公の誠を致し、皇謨を扶け聖旨に副ひ奉る事を期するものである、又大陸の山河に屍を埋めたる英靈に對しては衷心哀悼の意を表すると同時に、その遺志の達成を誓ひ、傷病の身を白衣に包む勇士に對しては、深き感謝を致し、速かなる恢復を祈る次第である

□　□

支那事變は早くもその第三年を迎へ、我々は過去十八ヶ月間における比類なき戰果を集約援用して新東亞建設を本格的に進むる段階に入つたのである、政府が過去一年を通じ局面の展開毎に中外に向つて宣明したる如く、日本の態度は終始一貫、東亞積年の禍根の武力掃蕩を續くる一方、支那の志士仁人と相携へて東亞恒久の平和を拓くにある、大觀すれば、日本は東亞諸國の爲に國家興隆の先驅を成し來つたのである、今や日本の登場以前に於て東亞諸國を羈縛せる拘束より東亞を解放し眞に東西文化の綜合融和を致すべき任務が現代の日本國民に課せられたる、亦故なしとしない、我々は先人の偉業を繼承して、斷じて目的の貫徹を見ざれば止まざるものである

□　□

曩に東亞の再興に目醒めたる滿洲國は益々發展し帝國との提携は愈々緊密となつた、一方慘憺たる支那の戰場にも新しき理想は胎動し始めた、東亞再建を目指す更生支那の空氣が明瞭に感得出來るのである、即ち今や多難ではあるが希望に明るき前途に向つて、日滿支幾億の民衆は手を携へて建設の巨歩を踏み出したのである

茲に昭和第十四の新年を迎ふるに際し、國民諸君と共に更に大なるべき國民生活各般の重壓を甘受し、愈々持久の陣を固め、興亞の大業に邁進せむ事を誓ふ次第である

日滿金鐵の結束 將來戰に備へん

關東軍司令官兼特命全權大使陸軍大將　植田謙吉

萬象更新、東亞亦更生の緒につかんとする昭和十四年の新春を迎へ、遙かに皇室の御繁榮、皇國の繁昌を壽ぎ奉り併て滿洲國の興隆を祝し、更に新興支那の速かなる復興を祈念して止まない、時將に皇紀二千五百九十九年、滿洲建國の偉業は世紀に燦たる光を放ちつゝ既に多岐多彩なる七ヶの春秋を送り、この間支那事變又未曾有の戰果を收め世界を風靡し光輝燦然たるものあるは偏に御稜威の賜に他ならず、わが皇國の大理想顯現と共に同慶に堪へない處であつて、更に又今次事變勃發以來自任自重、能く本分を完うせる關東軍將兵並びに日滿不可分關係と共同防衛の實を發揮して、物心兩方面に亘り日本に協力せられし滿洲國官民に對し滿腔の謝意を表する次第である、遙かに東天を拜し靜かに宇内の大勢を考ふるに現下における國際動向は總て東亞大陸の國防並に政治經濟に至大の關係を有し、今や東亞を中心に回轉を續けつゝあるやの感なきを得ない

□　□

即ち世界は今や一大轉換期に直面し物質萬能、弱肉强食の暗色舊世界觀に代ふるに正義公道を中心とする明朗新世界觀の擡頭を以てせんとし東亞に於ては滿洲事變及び本次事變を契機として八紘一宇、共存共榮の理想的新世界建設の巨歩を踏み出しつゝあるは眞に人類の爲至幸と稱すべきである、吾人は更にこの尊き經驗を基礎として東亞安定勢力たる實力を愈々增强し、西洋文明に代る獨創的東洋文明を創造し、全人類の精神的動向に一大轉換を與へ以て之が意義を世界に宣明する使命を有するものと信ずる、而して本次事變の根本義も亦この滿洲建國の眞義と何等異らず、帝國政府屢次の聲明の裡に感得し得る如く東洋永遠の平和確立であり、亞細亞における新秩序の樹立であつて亞細亞民族のため又その子孫のため止むに止まれぬ聖戰に外ならない、而して今後戰局が如何に擴大し、如何に長期に亘るとも帝國の大勝に終始し益々皇威を昂揚すべきは確信して疑はざる處であるが、事變の前途は猶内外共に幾多の難關に遭遇すべきを覺悟せねばならぬ

□　□

斯る重大時局に直面して而もその成果に有終の美を收めんが爲には日滿兩國々民たるもの其上下を問はず愈々堅固不拔の決心を固むると共に日滿不可分關係を樞軸として愈々金鐵の如き結束を以て更に滿洲國の完成に努力し以て東亞新秩序の據點確立に邁進すべきである、茲に意義深き新春を迎ふに當り益々奮勵努力關東軍並に滿洲國の國防態勢を充實し速に國防國家體制を完成して將來戰に備へ以て日滿共同防衛の重責に對し新なる覺悟を固むると同時に日滿兩國民が益々一致團結民族協和の實を擧げ愈々聖戰の貫徹に邁進し、東洋混亂の根源を拔本的に根絶すると共に道義世界の建設に貢獻し、以て普く人類の福祉を增進するの覺悟を愈々固くせられんことを祈つて止まない、而してこれ世界正義の擁護者たる日滿兩國民の大使命であつて之が遂行に萬全を期すると共に今次聖戰に殉ぜられたる幾多の英靈に酬ゆるの道であると信ずる

新春素懷

駐滿帝國大使館附武官　海軍大佐　代谷清志

『五年後の英米藍海軍の新情勢に備ふ』

列國の軍備擴張特に海軍の充實は何を目標としてゐるのか恐らく我國の新東亞建設に對處して西太平洋を目標してゐるものではなからうか、我國は茲に始めて我國の大陸建設も將來海洋發展を忘れてはならぬものなることを聲を大にして叫びたい

▽……△

『萬事SPEED UPせぬと落伍者となる』

飛行機と無線電信電話との發達が著しく地球を狹くして距離や時間の觀念が變つて來た呑氣な汽車汽船の旅行や手紙の往復をしてをつたのでは商機を逸する、昔から兵は拙速を尙ぶと謂ふ戰機を逸せず先手を打つて出て萬事萬端建設工作の急速促進を圖らねばならぬ

▽……△

『人の働きが第一』空理空論はやめて自己の職責を忠實に實行して行きたい

何と謂ふても國力を充實せねばならぬ、西太平洋における五年後の新情勢に對處する爲には、軍備の充實の必要は素よりなるも、外交戰、經濟戰、思想戰、何れも劣らぬ緊要事項數々あり、然し建設工作には人の働きが先づ第一で、「何糞」と頑張れば大きな道は拓けて行くものである

▽……△

『幾多の陣歿の英靈に酬ゆるは吾人も命を捧げて努力邁進するより外ない』

この覺悟を一層堅くして昭和十四年を迎へた次第で年新らたまつたとて事新らしいものでも何でもない、從來の素懷その儘であつて唯々之を行ひ守つて行けばよいことゝもである

國際關係調整に努力

外務大臣　有田八郎

昭和十四年新春と共に事變は第三年を迎へた皇軍の武威は既に支那の重要都市と黃河、揚子江及び珠江の三大流域の主要部分を風靡し蔣政權は最早完全に地方政權に顛落した、而して親日反共を

救國の

大本とする新政權の基礎は愈々鞏固を加へ、抗日容共政策によつて東亞の破局を齎らせる蔣政權は支那民衆の間に澎湃として擡頭しつゝある、日本が東亞永遠の平和確立のため、新秩序の建設を事變窮極の目的とし、帝國政府聲明の通りにしてこの新秩序とは東洋を目する西歐資本主義國の植民地視したる從來の舊觀念を根柢より一掃し、斯かる舊觀念に依據する國際原則を修正して國際主義に基く公正なる新關係を樹立せん事を目指すものであつて日滿支三國の緊密なる連繫を基調とし赤化共同防衛を達成して「共産インターナショナル」の破壞的陰謀の禍因を剪除し、經濟的提携の實現によつて民衆の福祉を增進すると共に文化的交流を繁くして東洋新文化を創造し、以て世界人類文化の昂揚に貢せんとするものである、吾人はこの未曾有の大業を前にして擧國一致これが遂行に當る熾烈なる意氣に燃えてゐるのであつて、洋々たるわが國運の前途に對し限りなき希望を感ずるものである、此時に當り防共の大目的に向つて邁進しつゝある

我國の

立場に透徹せる理解を示し、東亞の現實を正確に認識し、新事態に即應し、只管その平和的建設に協力せる盟邦獨伊兩國に對し我國民は深厚なる感謝の意を表するものである、然れども東亞永遠の平和を確立するため、なほ幾多の難關が堆積してゐることは申すまでもない、奧地に後退せる蔣政權は敗殘の諸軍を收編して依然抗日堅持を頻りに宣傳し居る以上、之等抗日勢力を潰滅せざれば事變窮極の目的を達し得ざるは勿論の事である、殊に第三國中には種々なる動機より公然蔣政權援助政策を採用し、戰時狀態の終熄を遲延せしむる不可解なる態度に出づるもののあるは遺憾にしてまた東亞の紛糾を奇貨として兇惡なる陰謀を逞しうする赤化の脅威に對しては不斷の警戒を要するのである、更に在支權益の擁護に急なる餘り、戰國地區内における現實を無視して無理なる

要求を

提示し、或は時代錯誤の舊觀念を以て事變後の新事態を律せんとするものある實狀は、第三國の認識を是正し國際關係を調整する上に今後とも多大の努力を要するのである、斯くて東亞永遠の平和確立を期する新秩序の發足を祝福すると同時にこの大業遂行に伴ふ吾人に課せられる責務の重大なるを思ひ、萬難を排除して東亞復興の達成に邁進する不退轉の決意を茲に全國民と共に表明せんとするものである

陸海兩相年頭の辭

陸軍大臣　板垣征四郎

聖戰第三年茲に皇紀二千五百九十九年の新春を迎ふるに當り謹んで聖壽の萬歲と皇運の隆昌を壽ほぎ奉る、惟ふに皇軍は客年河北、山西、徐州、武漢、廣東に神速果敢なる作戰を遂行して到る所赫々たる

武勳を

奏し、殘敵共匪の掃蕩亦大いに進展して治安は逐日恢復し建設工作亦着々として其の巨歩を進めて居るのは宏大無邊の御稜威の致す所であるは勿論であるが皇軍將兵の忠勇と銃後國民の鞏固なる團結及び絶大なる支援の致す所と言ふべく感激に堪へない所である、帝國の此の輝かしい戰果と共に北支、中支に於ける支那新政權は着々として其の基礎を固め廣東、武漢亦防共親日の機運脈々として支那全土に亙り新東亞建設の輝かしき曙光を認むる事の出來るのは東亞和平の爲誠に慶祝に堪へない所である、然し乍ら敗殘の蔣政權は尙も第三勢力に踊らされて民衆武裝抗日焦土抗戰に狂奔して居り防共友邦以外の列强の動向亦必ずしも我に友好的でなく更に某國極東兵備の增强は風雲を孕んで一段の緊張を要するものがあり、國際情勢は前途多難と言ふべきである、斯の如き環境に立つて東亞の

禍根を

剪除し帝國不動の國策たる日滿支提携共助東亞永遠の康寧を庶幾すべき新秩序建設の大業を完遂するには外作戰の成果を愈々擴充し占據地域内に於ける治安を速に恢復して各種建設工作の遂行を容易ならしむると共に內國防力を培養整備して國際情勢の變轉を制し大陸政策の遂行に遺憾なからしめねばならぬ、即ち國內の調整建設は新年度に入つて愈々其本格的段階に入るのであつて建設の爲の各般に亙る苦難は今後益々重加せられるものと思はねばならない、然しながら之は大業を志す者の當然受けねばならぬ所の試煉であつて事が大きければ大きい程之が生みの陣痛は大きい事を覺悟せねばならぬ、帝國は目下興亡の十字路に立つと言ふべく、時局は極めて重大であつて之が成否は懸つて國民の精神氣魄に在りと言はねばならぬ、國民各位は須く

崇高に

して且雄大なる帝國の大國策を體し億兆一心進んで各般の犧牲を甘受し堅忍持久の精神を昂揚し堂々の歩武を以て建設の大道を邁進せられん事を望むものである、萬衆皆新なる年頭に當り鴻大無邊の皇謨を翼贊し偉大なる建設への意氣と決意とを表明するものである

海軍大臣　米内光政

茲に赫奕たる戰捷の年を見送りて、皇紀二千五百九十九年新東亞建設の新春を迎ふるに當り先づ全國民と共に、恭しく竹の園生の彌榮を壽ぎ奉り、我が國運の隆昌を慶祝すると共に曠古未曾有の大事變下に處して愈よ擧國一致、軍民一體の

實績を

擧げ、以て聖戰終局の目的を達成し、速に聖慮を安んじ奉らんことを誓ふ次第である、申すも畏き極みながら大元帥陛下に於かせられては國務御多端の折柄、玉體いと御健やかに渡らせられ、夙夜軍務に御精勵、皇軍を御統帥遊ばさるゝ御有樣を拜し奉つて誠に恐懼感激措く處を知らず、全軍の將兵愈々盡忠報國の一念に燃え、倍々勇戰奮鬪以て聖戰の事に從ひつゝあるのである、今や武漢三鎭の攻略を一轉機として、事變は更に新なる段階に入り帝國はいよ〳〵新東亞秩序建設の大事業に着手するに至つたとはいへ、皇軍は國民政府並に其の率ゐる抗日軍隊の潰滅を見る迄は、斷じて鉾を收むる能はず、勞々新支那における治安の維持に任じ以て諸多の建設工作に協力しなければならぬのである、そも〳〵聖戰終局の目的は抗日容共の國民政府並に其の軍隊を潰滅して親日防共の新支那を建設し、東亞の安定勢力たる日本の指導の下に、日、滿、支三國相倚り相扶けて正しく明るき東亞永遠の

平和を

打建て、以て共存共榮の理想を實現せんとするにあるのである、併しながら、事變を繞る現下の國際情勢は周知の通り容易ならざるものあり、援蔣第三國は依然として對日非友好的態度を改めざるのみならず、暗に武力を背景として、我が建設工作を妨害せんと企圖しつゝあるもの〻如く、隨つて帝國は新東亞秩序建設の途上幾多の難關に逢着すべきことを覺悟しなければならぬのであつて、事變の前途は尙遼遠なりと謂はなければならぬ、顧れば事變以來帝國海軍は廣汎なる諸多の作戰任務に服し、陸軍と協力して克く皇軍一體の有機的機能を發揮し、御稜威の下、海に江に陸に又空に輝かしき戰果を收めて來たのである、この間皇國の爲勇戰奮鬪遂に其の職に殉じ護國の鬼と化した幾多の將兵の英靈並に戰傷病將兵に對しては茲に衷心哀悼の誠意を捧げ滿腔の敬意を表する次第である、聖戰既に一年有半、今や新東亞秩序建設の

曙光を

見るに至つたとはいへ建設の大事業は皇軍の翼贊下に在つてのみ可能なる現實の情勢であつて、殊に西太平洋に於ける制海權の確保は新東亞建設の途上絶對不可缺の基礎的條件と謂ふべく、帝國海軍の責務愈々重且大なるを痛感せしめらるゝ次第である、帝國海軍は愈々自主的軍備の充實完整を期し我が海軍將兵は日夜聖旨を奉戴して只管練武に精進し、以て護國の大任を全うせんことを期しつゝあるのである、希くは一般國民亦時局への認識を新にし、擧國朝野一體、軍民一如、以て速に聖戰終局の目的を達成し、聖旨に應へ奉らん事を一言以て年頭の辭とする次第である

舊十一月十一日　一月一日　日曜　戊戌　先負　開　星宿　東京・本郷・神誠館

●一白の人　誠實にして落着きあれば結構の日たるべし　甲と乙と巳が吉
●二黑の人　沈默の貴さを知れば却て人の畏敬を受べし　東と巽と巳が吉
●三碧の人　其度を失はざれば飲むも歌ふも可なるべし　丙と乾と西が吉
●四綠の人　平和と滿足に此の吉日も無事に立ち行べし　乾と酉と丁が吉
●五黃の人　主の心圓ければ內外の何れも和氣に滿べし　東と巽と乾が吉
●六白の人　光明に輝き活氣の頂點に達せらるべき吉日　巽と巳と酉が吉
●七赤の人　隈なく晴れたる樂天地に處する思ひある日　卯と庚と酉が吉
●八白の人　明るき欣快なる氣分の滿る日殊に內が吉し　乾と巳と卯が吉
●九紫の人　內に親み深ければ福自から外より入り來る　甲と乙と巽が吉

舊十一月十二日　一月二日　月曜　己亥　佛滅

●一白の人　安靜は平順の基礎新事よりは守る方が安全　未と艮と甲が吉
●二黑の人　運氣十分にして進んで吉し守りても亦吉し　辰と甲と乙が吉
●三碧の人　招く福運も過大なる時は添はざることあり　戌と乾と辰が吉
●四綠の人　親みを深ふするときは吉慶自から生れ來る　寅と戌と乾が吉
●五黃の人　愉快に天分を盡し得らるゝ吉日收支に注意　辰と未と坤が吉
●六白の人　近き細道よりも遠くとも本道によるが安全　寅と戌と辰が吉
●七赤の人　心を協せ氣を揃へてそろ〳〵進めば吉き日　戌と辰と坤が吉
●八白の人　平凡なる如く見えても內は裕に安泰なる日　未と甲と庚が吉
●九紫の人　惱みを忘れ一日の清遊に適す神詣で尤も吉　艮と辰と辛が吉

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

（二百二十）

中川雨之助　作　竹ゐ一路　畫

暴風の前

だから、奇妙院內部の秩序も實に整然として一糸亂れぬ統制振が示されて居た。

しかも今夜のこの火事騷ぎで、平素鍛鍊の效果が十分に現れた。一味の面々、さながら十左衛門の手足の如く、持ち場〳〵に就いてよく働き、神速巧妙なる引揚げの準備は見る見る中に完了した。

[illegible]の濱へ、茲四五日前、何處から來たのか、突然錨を投じた親船が一艘。それが奇妙院一黨の、引揚げに使はれる謎の船とは氣がつかぬので、誰一人怪しむ者は無かつた。

さて、闇を透かして見れば秘密門から、小松原を拔けて、磯ッ邊を[illegible]へ、蛇の行列のやうに、

物を擔いでつゞく黑影。

[illegible]の大ヤマコで、[illegible]民を惑はし絞り取つた[illegible]金、今はそれが軍用金と名が變り、[illegible]になつて沖の船へと運ばれるのだ。」

一群の人影が、小松原の蔭に[illegible]まつてゐる。

頭の末次十左衛門以下、[illegible]部の勇士たちに、例の混血兒品乃も交つて、奇妙院の建物の、いまや焔に包まれんとするのを、見返してゐるのである。

「あれ見よ。禮拜堂も、塔も、灰になるぞ。しかし、あの焔から、あの黑煙りから、われ等が[illegible]軍の烽火が揚がるのだ。愉快だ、實に愉快だ、あッはゝゝ」

末次老人の、傍若無人の高聲である。しかし、誰も外に、口を利くものはなかつた。みんな、[illegible]える火の手を見つめながら、默として佇んだ。

[illegible]無限の沈默といふのだらう[illegible]。空を臙脂色に焦がしてパッと揚がつた火の手。それが染め出した末次老人の[illegible]を見ると、

白髮頭に後ろ鉢卷、陣羽織に小手臑當[illegible]をふるはせながら、大刀の柄を握つて[illegible]に映じ朱を注ぐ有樣は、あつぱれ武者振、[illegible]なんぞといふばかりない。

その他の面々、みな小具足に身を堅め、いざと云はば、一戰も辭せず、と云ひたげの氣組込み。

中に優しく、こゝでも亦た一輪の花と咲いたは混血兒品乃、女ながらも身を鐵に堅め、みどりの黑髮風に靡かせ、薙刀小脇にかい込んで立つたるは、巴御前の再來ともいふべき風情である。

話かはつて三文字屋では。――

長七郎、奇妙院の出火と聞いて[illegible]の變否。

「英之助、奇妙院の火災は、折も折とて怪しいぞ。[illegible]には[illegible]

もとない[illegible]の身の上。そして[illegible]平を討つは今だ。サア直ぐに行かう。續け」

「はッ」英之助も、たちまち身支度に及んだ。

「若樣。あたしも一緒に、お供をさしてくださいまし」

それはお銀であつた。

たつたいま、源次郎の臨終に泣いた彼女の眼は、勇氣に輝いて居る。

「兵十郎、三平太、海原の定吉、その方たちは、居殘つて、[illegible]の守りをせい」とは長七郎。なかなか人を見るの明がある。この三人は結局足手纏ひだからで、源次郎の死體の番人とは、巧い役割といへる。

外には、もう武藏屋庄兵衛、[illegible]の[illegible]以下、命知らずの[illegible]三十餘人が、ぬれ草鞋に大地を踏み占め、向ふ鉢卷、白襷、長脇差の[illegible]を[illegible]して、

「若樣、お供……」と、待受けた[illegible]に、[illegible]が一つ[illegible]れた。

謹賀新年　新京朝日通り　滿洲國赤十[…]　新京特別[…]

國防　新[…]

カネタ製[…]

村岡[…]　電[…]

大一カバ[…]　新京吉野町一丁目（[…]　電話（3[…]　附屬工場

唯一公司　本[…]　新京曙町

大葉商[…]　新京滿鐵病[…]　電話（3）二六[…]

康德金融株式會社　佐野義臣　新京吉野町一ノ[…]　電話（3）五七七三[…]

森電機製作所新京支店　主任　森千三　新京興安大路五二六　電話（3）二七七三番

謹んで新春を賀し奉る
征野千里皇軍大捷の偉業を感謝し併せて創業三十餘年來格別の御愛顧を蒙り有難く御禮申し上げます
昭和十四年元旦　西村洋行
新京　西村清兵衛　電話（3）二一〇一番　五四五八番

長春座　電③五七六六

母の歌	10,00	1,3[…]	5,1[…]	8,50 10,80
ニュース	11,45	3,22	7,0[…]	
鬼面三日月黨	12,17	3,55	7,57	

一日より三日まで　料金一圓均一

豫告（四日よ[…]）　妻を怖がる夫[…]　踊り込顧法[…]　[…]の朝

豫告（三日より）　エノケンの法界坊、愛情一路　豐劇
豫告（三日より）　千惠藏、小杉勇　廣澤虎造の浪曲演　人生劇場　男の魂　朝日座
豫告（四日より）　杉狂兒主演　地上天國　嵐寛壽郎主演　荒獅子　新京キネマ

麗朗明渡る國都の元日

曉闇の篝火に映り 賑ふ初詣での列
國家安泰、皇軍武運を祈願
新京神社の諸祭儀嚴かに行はる

除夜百八點の鐘が鳴り響いてこゝに昭和十四年元旦、東亞永遠の和平建設に邁進する聖戰に劃期的戰捷を博した事多かりし昭和十三年を送り希望に滿ちた新しき年を迎へるよき門出、ラヂオは京都東山及び西山の寺々に鳴渡る除夜の鐘の音をマイクに乘せて運び甲府から台灣、朝鮮とリレーして安東鎭江山臨濟寺から北京、南京と續き新しき大陸への建設をリズムに象徴して擬もやらず春を待つてゐた人々に何かしら温い春の息吹を感じさせる、街には新春の初光がまだ覺めないが、初詣の人々は早くも新京神社の神域を賑はせてゐた

神社に於ける祭儀は先づ三十一日午後三時昭和戊寅掉尾の祭儀として一ヶ年の罪穢を潔齋する大祓式が行はれついで新春の曙光を待望する除夜祭を同六時から擧行して目出度く最終の祭儀を終了したがこの間參詣人の絶間無く、元朝の祭儀は午前一時の皇軍武運長久戰捷祈願祭から始められた、黎明を呼ぶ神籟が神苑の殘雪に映えて莊嚴一入なる裡を植村神職の修祓の儀から始まり獻饌、祝詞奏上、神職を筆頭に氏子總代長關屋副市長、この日の情景を全滿に放送する新京放送局代表として道滿放送局長等の玉串奉奠があつて撤饌があり興亞の戰捷に輝く祈願祭を終了した

この間社前は曉闇を衝いて參集する國都三十五萬市民を以て賑はひ、C・Y田中アナウンサーは名口調でこの莊嚴なる情景を放送した、引續き午前七時には迎春を壽ぐ歳旦祭を執り行はれ國都の元旦は國家隆昌、武運長久、一家安泰の祈願と新玉の歳を壽ぐ銃後の萬歲の裡に麗朗と明けていつた

國務院の拜賀式

友邦日本の興亞聖戰の持久方面としての重責を擔ふ滿洲國政府は日本政府と共に茲に興亞建設の意義深き新春を迎へた、この日國務院關係各部の全職員は午前九時より院內大講堂に參集し新年拜賀式を擧行するが、式は先づ日滿兩國歌合唱、御容奉拜についで張國務總理大臣の新春祝賀の挨拶及び星野總務長官の訓示があり、終つて全員食堂においで冷酒の乾杯をなし日滿兩帝國萬歲を三唱し同九時三十分式が終る

南京い上海間電話 一日から開始

【南京卅日發國通】華中電氣通信會社では南京市內の復興に伴ひ、市內電話線の擴充整備と共に南京=上海間の市街電話線の復舊工事を進めてゐたが、この程工事も完了したので愈々來春一月一日から上海=南京間及び上海=蘇州間の電話業務取扱を開始することになつた、料金は一通話上海=南京間一圓、上海=蘇州間四十錢で、しかも內地同樣夜間通話も出來る、京滬線の四都會はこの電話線によつて完全に結合されるわけである

なほ同社では京滬線沿線の崑山、無錫、常州及び鎭江などの各市內電話復舊工事の準備を進めつゝあり、これが完成の上は上海=南京間の主要幹線に合流させ相互に通話し得るやう計畫を進めてゐる

閘北激戰の跡に 鐵道神社を建設

【上海卅日發國通】中支那鐵道の復舊及び運營に挺身活躍中の鐵道派遣隊の努力は目覺ましいものがあるが、これら隊員の守護神を祀りたいと隊員の熱望によつて上海驛近くの閘北の激戰地に百坪程の地をトして鐵道神社を建設、卅日午後一時から中支軍鐵道局長上林市太郎氏が祭主となつて嚴かに遷座式を擧行した、御神體には天照大神を始め熱田神宮、宮崎神宮、明治神宮などの諸神を祀り、神官の遷座式終るや上林軍鐵道局長の祭文朗讀、各代表の玉串奉奠あり午後二時式を閉ぢた

皇帝、勤民殿に御親臨
臣僚の朝賀を受けさせらる

國運隆々彌榮える建國八年目の元旦を御迎へ遊ばされた皇帝陛下にはこの朝若水に御淨身遊ばされたのち內庭に御出ましになり天神地祇を御遙拜の上、帝國の隆昌、友邦日本皇室の御安泰、特に東亞の安定と國軍、皇軍の武運長久を御祈念あらせられる由に洩れ承るが、午前十時四十分には陸軍正裝に威儀を正されて勤民殿に親臨、午前午後にかけて植田關東軍司令官大使始め內外臣僚の朝賀を受けさせられる、なほ歲旦に關する其の他の御儀並に御祝宴等は時節柄一切御取止め遊ばされる御由である

三江省地區一帶に於る 肅清將に完成
日滿軍警今年度の討伐戰果

三江省一帶に蟠居せる共產匪も日滿軍警の果敢なる討伐と之に即應せる治安工作の進展に伴ひ匪勢は漸次衰頽、現在生息を續ける一千餘の殘匪も山寨に籠城、餓死壞滅の一途を辿つてゐるが、之に最後の止めを刺すべく、日滿軍警は相呼應して抗日軍匪の潰滅戰を展開し、早くも石川部隊は人跡未踏の老爺嶺の難嶮を征服して二百に餘る山寨を覆滅し、また井上部隊は滿軍に協力し寶清縣西方一帶の山地に構築されてゐた百餘の山寨を爆破した、かくて糧道を斷たれ塒を失つた共匪は最早生きるべき道もなく續々歸順しつゝあり、三江省地區一帶に亘つてその肅清は將に完成しつゝある、なほ今年度中に於ける日滿軍警の討伐戰果を觀ると左の如くである

△日本軍
交戰回數六一七、鹵獲品=(小銃九四二、同彈藥四〇九一三、拳銃一、二二二、同彈藥三、五七九、輕機四、重機一)捕匪三九九、馬匹一、九一四、匪屍體二、四七三、山寨覆滅二、四五五

△滿洲國軍
交戰回數五五〇、鹵獲品=(小銃一、〇三四、同彈藥二六、五九一、拳銃四三、同彈藥七、九八七、輕機四)捕匪二九一、匪屍體二、四六三、山寨覆滅七六八

△滿警
交戰回數二六三、鹵獲品=(小銃二二七、同彈藥九八一二、拳銃一三〇、同彈藥四九五)捕匪一三〇、匪屍體七五七、山寨覆滅四十二

日向討伐隊第九軍系匪を潰滅

石川部隊日向討伐隊は十二月廿七日午後二時頃〇〇縣西方山地において山寨に據り頑強に抵抗する第九軍系匪十五と交戰、匪五を斃し小銃一、拳銃一、彈藥四五〇、馬四を鹵獲、山寨二を覆滅した、この戰鬪において廣瀨茂一上等兵(兵庫縣)は輕傷を受けた

王萬順投降

滿洲國建國以來白頭山麓の密林地帶を根據地に撫松、濛江臨江縣下を荒してゐた通化省內で第三番目の大匪團である王萬順匪は十二月七日濛江縣第三區珠寶滿南方約八粁一〇三一高地の南側に於て國軍〇〇部隊に包圍され大打擊をうけて潰走したが、國軍〇〇部隊は足跡をたよりに猛追したので匪首萬順は遂に投降した目下撫松に於て保護を加へつゝあるが前非を悔い部下の歸順工作に積極的に努力してをり通化省東部地區の匪賊は彼の影響下にあつたもの多く、續々歸順を申込むものと見られてゐる

高製材所員中宮盛軍、今泉春道の兩氏は三十日夜本社を訪れ些少ですが國防獻金に願ひますと各五圓を寄託した、年賞與を割いたものだそうである

獻金と寄附 吳泰方氏から

市內東二條通り七〇、株式會社大連鐵工所出張所長吳泰方氏は三十一日來社、左の獻金ならびに寄附金を寄託した
一、關東軍へ恤兵金五十圓
一、海軍武官府恤兵金二十圓
一、滿洲國軍飛行機獻納基金中へ二十圓滿洲新聞社へ
また市內大和通七五渡協氏から三十一日慰問袋三個を寄託して來た

官民合同新年互禮會
午後零時半から記念公會堂で

超非常時局下の新春を壽ぐ恒例の國都に於ける官民合同新年互禮會は、首都協和會主催のもとに元日午後零時半から記念公會堂に於て盛大に行はれる、この日植田關東軍司令官、張國務總理をはじめ日滿顯官名士約二千名が參集し、先づ式場正面に掲げられた日滿兩國旗に最敬禮、滿洲國軍樂隊の吹奏裡に日滿兩國歌を高らかに齊唱し、次いで于協和會本部長(滿語)松本同首都本部事務長(日語)の祝詞があつた後、張總理の發聲で〃大日本帝國萬歲〃植田關東軍司令官の發聲で〃大滿洲帝國萬歲〃を三唱「新年お芽出度う」の交換に同一時頃意義ある互禮會を終了する筈である

御眞影拜賀式と御容拜賀式

新東亞建設の第一歩を踏み出す一段意義深き元旦を迎へ在京日本人の御眞影拜賀式は午前十時半から同十一時半まで新京總領事館構內參事官々邸で、滿洲人側の御容拜賀式は同九時半から大經路小學校講堂に於ていづれも嚴肅に擧行する

關東軍の拜賀式

北滿の鎭めとして事變第三年の元旦を迎へた關東軍では、第一線將士の身を偲び歲末より正月にかけては隔日勤務として緊張振りを示して午前十時半より軍司令部馬場に於いて植田軍司令官、磯谷參謀長矢野參謀副長以下全職員參列のもとに拜賀式を擧行し、遙かに我が皇室を拜し、併せて皇軍の武運長久を祈つた

銀盤上の日滿親善譜

卯歳生れの姐さん達

燦爛たる陽光に戰捷の春〃卯歲〃は訪れた、新東亞建設で大理想に向つて愈よスタートするこの年、躍進と平和を象徴する卯歲まことに巡り合せのよい年ではある、正に我世の春とばかりずらりと並んだ國都花街卯歲生れの姐さん達いづれも廿五歲迪の乘り切つたところ張り切つた彼女達である、〃千代數〃いとも景氣のよい聲に壽ぐ春早くも裾捌きも輕い彼女達の進軍譜は奏でられるのである【寫眞は右上から歸千代(八千代館)綱千代(同)里千代(同)うてな(開花)萬平(同)太治(住吉)さん左上から梅治(住吉)若龍(南海)三光(壽)小米(東明)百合香(やよい)さん

聖戰第二年に於る 海軍作戰の成果

【東京國通】卅日大本營海軍報道部公表=聖戰第二年の海軍作戰の經過並に成果の概要左の如し

一、わが海上艦艇は昨年に引續き北は渤海より南は南支那海に至る蜿蜒二千數百浬の支那沿岸の封鎖作戰に從事し支那船舶の海上交通を遮斷するとゝもにわが海上交通を保護、在支作戰部隊をして聊かも後顧の憂ひなからしめたり

二、わが海軍航空部隊は昨年に引續き陸上及び海上より支那全土にわたる要地の空襲を行ひ、蔣政府が昭和七年以來銳意として建設せし黨軍並に各種軍事施設を潰滅して全支の制空權を獲得し、又水陸各方面における海軍部隊の作戰に協力すると一方わが陸軍部隊の作戰に協力、敵陸軍に甚大なる損害を與へたり

三、海上封鎖作戰と關聯しこれを強化するため支那沿岸の要地を占領せり、即ち年頭一月十日先づ青島港を占領し續いて北支、威海衞を占據して北支における敵軍需品の搬入を封じ五月初旬には南支有數の貿易港厦門島を攻略、同月下旬には海線の呑吐港連雲港を占領し北支の主要海港を全くわが手に收めたり、次いで六月には再び南轉して南澳島を攻略して汕頭港等を扼し其の他中南支に位する諸島嶼を占領せり、これらは目下作戰の據點として海軍部隊を以て確保利用しつゝあり

四、海軍江上部隊は本年六月上旬より武漢攻略に向ふ陸軍部隊に策應して蕪湖上流に向つて遡江作戰を開始し凡有る障碍と困難を排除突破し、十月廿七日遂に陸軍共同武漢三鎭を完全に占領し、更に江上部隊は遡江を續行して十一月十二日岳陽に達せり、目下揚子江に於て岳陽以下江陰に至る六百浬餘の江上の機雷を清掃、江岸の殘敵掃蕩に從事しつゝあり、一方海軍南支方面部隊は陸軍と共同して十月十二日バイアス灣に敵前上陸を敢行し、僅かに一旬にして十月廿一日廣東を攻略し次で海軍部隊の一部は珠江を遡江して廣東に達し同地下流の珠江を制扼せり、かくて敵の南方よりする最重要なる交通線を遮斷せり

五、以上の作戰においてわが海軍部隊により敵艦艇飛行機に與へたる損害及び處分せる敵機雷數左の如し

イ、昭和十三年度における支那海軍艦船に與へたる損害總計十九隻、七千七百八十八噸にして內三隻はわが海軍の手にて捕獲せり、右のほか西江流域において廣東海軍に屬せる小砲艦三隻を爆擊沈沒せしめたり

ロ、敵飛行機に與へたる損害
擊破數=昭和十二年度五七七、同十三年度九二六、累計一、五〇三
わが損害=昭和十二年度六三、同十三年度五〇、計一一三

空陸軍呼應して 浮山附近を痛擊
敗殘部隊全く潰亂

【臨汾卅日發國通】臨汾東方山麓地區の中樞たる浮山附近に蟠居する劉計の率ゆる七十三師の一部は、最近逐次西方臨汾東南側地區に出沒、住民を煽動して執拗なる暗躍を續けその一部は去る廿九日深更小寨にも臨汾東南側近きわが守備線に迫り來つたが、この事を豫期してゐたわが警備隊の爲擊退され東方へ潰走したこれに引續き卅日午前わが山瀨、國枝兩航空部隊は相協力して、その巢窟を粉碎すべく浮山に猛烈なる空襲を敢行、約卅分間に亙り同縣城內の中央に聳ゆる望樓及び各城門、軍事建築物を猛烈に反復爆擊し浮山陣地に甚大な損害を與へ退路の途次、敗走中の敵部隊に果敢な機上掃射を浴せこれを全く潰亂せしめて無事歸還した

國防獻金

鐵道北高砂町二丁目十番地面

民生部の黑井技正、血壓の高かつたゝめ一時は重態を傳へられたが最近では殆んど元氣回復し相變らずの面白い好々爺振りを發揮してゐる▼ところが御本人は本年を回顧して病氣をして儲けたと稱してゐるいろ〳〵と理由を訊いてみると、血壓を下げるため每日電氣療法を行ひ、頭に電氣を當てがつてゐるのが利いてアノ光頭にポツ〳〵毛が生え出したのだといふ▼奧樣も「宅は病後の電氣治療で若返つて來ました」と仰言る、商賣柄新春ともなれば木の芽が吹くように工作をなさるであらうがクロイさんの頭がクロくなれば、それこそ枯木に花が咲いた以上に、見物であらうと專らの噂さ

けふの天氣 北の風曇後晴
きのふの氣溫 最高零下三度二 最低零下二〇度六

謹賀新年
和洋家具 片岡洋行
片岡孝明
新京東二條通一九
電話③四七六三番

謹賀新年
宝山
一日・二日・三日・休業
電話②五〇一一番

謹賀新年
カフェー 全勝
日本橋通り二四
電話③四五八三番
プランタン
ダイヤ街
電話③四三二八番

お正月のお樂み演藝案內

◎新春のお樂みは先づ公會堂の漫才から
◎絶對の色物豪華奇想天外の爆笑陣
東西漫才名匠名流大家
顏見世競演
いさみ會
此の壯擧! 絶對の豪華
本年劈頭の特別大興行
正月元旦より五日間
(二日より晝夜二回興行)
於公會堂
入場料 晝の部七十錢 夜の部一圓也

謹賀新年
カフェー リナイ

直美 さよ子 順子 桂子 信子
一枝 たつ子 敦子 まり子 富子
富士町二丁目
電話④五四二六

謹賀新年
お正月の 福壽司

東二條通り五三
電話③四五五一
いなり亭

阪東妻三郎・轟夕起子 主演

闇の影法師

澤村國太郎　市川正二郎　市川百々之助　藤川三之祐　香川良介　志村喬　林誠之介　中野かほる　成宮欣子　小松みどり　多摩川特別出演　山本禮三郎

新大衆映畫の帝王篇 阪妻得意の大殺陣!!

新篇 原作・小島政二郎

牡丹くづるる時

處女の日・妻の日 母の日・危機は・絶えず牙を剝いて酷く冷く。襲ひかゝり咬みつく!!

淡島みどり　井上清　大内弘　歌川八重子　大井政夫　平井岐代子　菅井一郎　共演

先着千名様に 福の神進呈

60せん

十時開映 二日迄 朝日座

新春第2週は実演と映畫!

面白い映畫は新興

我輩は新興キネマの怪猫である

怪猫謎の三味線

此度は常磐津師匠の三味線に化け情艶の世界に怪奇と戰慄を捲き込まうと存ずる！巨匠牛原監督の新感覺に描かれた我輩の姿を見よ！

演出 牛原虚彦

鈴木澄子・森静子・歌川絹枝・高山廣子・淺香新八郎・尾上榮五郎・梅村蓉子 主演

近日封切

新興東西の三大豪壯篇!!

笑ひと涙!

貧乏者の幸福

喧嘩と涙と笑ひで綴る江戸ッ子の意地、人間心理の微妙なる動きを描く新興東京が銃後に贈る斬新明朗譚!! 脚本・小出英男×演出・沼波功雄×撮影・鷲出誠

面白い映畫は新興

立松晃、大友壯之介　淡島みどり、杉山美子　上山草人、金澤佳都夫　松竹大船來演 宇佐美淳　山口勇、平井岐代子　田中春男、田中筆子

新興東京超明朗篇

森静子　高山廣子　雲井八重子

実演来る

新興三大スター 突如來演!!

銀座キネマ 4日より 2週

入江・高田・大日方初顔合せの艶麗豪華版!! エンタツ・アチャコの

吾亦紅（われもこう）

原作「主婦之友」連載 久米正雄　演出 阿部豊

入江たか子　高田稔　大日方傳　三大優競演

外東寶現代劇オールスターキャスト

佳人明眸にして罪あり

幸福はいづこにと、路を求めて幸の扉をたたきしもそこはかとなくよろこびは短く、憂愁のとばりは裂しやるせなき女心よ!

入江たか子、快心の演技とますゝ磨かれ行く美貌今年の一番可愛想な女主人公伊佐子になる入江たか子の名演技を御覧下さい

忍術道中記

天下の三大珍優　横山エンタツ　花菱アチャコ　高勢實乘　主演

吉本興行 東寶映畫 合同作品

演出 岡田敬

「水戸黄門漫遊記」で全國をタマにかけて笑ひながした御兩人が今度は忍術といふ武器を持つてわれわれに笑を脅迫するやうなものである！いざ諸君覺悟はよいか

お雜煮と共にあなたの新春になくてはならぬ爆笑篇

入場料 1・20

今週從來の券は一切御斷り 超特別興行に付招待券及割引券

東寶スター 竹久千惠子 藤原釜足 澤村貞子 突如來演

帝都キネマ

卅一日より大公開

松竹大船超特作

母の歌

監督 佐々木康

主演 田中絹代

川崎弘子　三宅邦子　坪内美子　高峰三枝子　三浦光子　夏川大二郎　德大寺伸　廣瀬徹　三原純　外オールスターキャスト

げに尊きは母の姿 美しきは女の心!

死を乗り越へた強き母性愛と肉親と及ばぬ女の友情が結びついた愛と涙のメロドラマ!

松竹大船花形スターオンパレード

階上 階下 一圓　開館九時半 開映十時

キメンミカヅキトウ!!

松竹キネマ超特作映畫

鬼面三日月党（きめんみかづきとう）

松竹京都總動員

阪東好太郎　川浪良太郎　高田浩吉　本郷秀雄　海江田讓二　伏見信子　志賀靖郎　高松錦之助　中村吉松　新妻四郎　其他オール・スターキャスト

長春座

長春座 第二週 松竹京都特作 主演 高田浩吉 **滿願の朝**　松竹大船特作 **妻を娶る夫**　**躍り込み戰法**　堂々三本立

新京日日新聞
其の一

瀋陽八景

參議府參議　沈瑞麟

天柱排青
佳氣鬱東牟　春風扇和煦
巍然獨擎天　千載雄一柱

輝山晴雪
杜家棲隱地　寺古白雲深
突兀群峯冠　晴光映雪林

渾河晩渡
滿水快遊人　烟波十里連
渡頭人絡繹　彷彿百年前

塔灣夕照
雷峯忽飛去　夕照到遼東
萬卷經藏度　浮圖七級功

柳塘避暑
楊柳又千丰　池塘清且淺
中有避暑人　眠琴書不卷

花泊觀蓮
徐徐來清風　風定香滿樹
翠蓋何田田　紅衣未狼藉

萬泉垂釣
城曲水一泓　草堂垂萬柳
但聞漁父吟　不見渭濱叟

黃寺鳴鐘
歲陰藏布扎　能令一城傾
何處尋廟宕　清鐘雲外鳴

國体の基礎愈よ鞏く　皇謨燦として輝やく

建國こゝに第八年の新春

彌榮ゆる御一族の御近狀

蘭花薰る滿洲國帝室

日月星辰俱に改つて玆に康德六年、興雲の國生に蘭花馥郁たる滿洲國帝室は瞳々たる朝暾のうちに建國後第八年目の新春を迎へた、畏くも皇帝陛下におかせられては本年御歲三十四を數へさせ給ひ愈々御健勝にわたらせられ、また帝后には御歲三十三、御機嫌益々麗はしく拜されることは四千萬蒼生の等しく慶賀に堪へざるところである

×

御近親の方々の御近狀に就いて申述べると康德四年九月日本留學より御歸國後禁衛隊附として御勤務中であつた御弟君溥傑上尉には昨年十月駐日大使館附武官として御榮轉再度渡日の上、日下浩夫人、慧生孃とゝもに東京で御勤務中である、御二皇妹二格姬は夫君の鄭廣毅氏とゝもに今なほ日本に留學中で、第三皇妹三格姬と御結婚の帝后御弟潤麒上尉には禁衛隊騎兵連長として新京に、趙國圻上尉に御嫁ぎの第四皇妹四格姬並に萬嘉熙上尉と御結婚の第五皇妹五格姬には夫君の勤務地奉天において、共に御睦まじく御暮しである、また皇帝陛下の御父君にあたる醇親王には老いてなほ矍鑠たる御元氣にて天津に居住なされてゐるが、第二皇弟溥佳氏には御父君の下においてひたすら御學問にいそしまれつゝ本年二十一歲の春をお迎へになつた

斯くの如く伸び行く滿洲國を象徵して彌榮ゆる帝室御一族の御近狀を拜することは滿洲國臣民にとつて洵に慶祝に堪へない次第である

×

顧れば、皇帝陛下、さきに順天安民の大旨に則り國家の基を創建して執政の重きに任じ次いで大同元年三月天命を承けて皇位に即かせ給ひてより八星霜、爾來萬機を總攬し王道樂土の建設に御精勵あらせられたのであるが、幸ひなるかな帝業日に就き月に進んで、國家の基礎いよいよ鞏く王道の光ますます振輝して建國の眞諦亦克く世に示され今日の如き隆々たる國體の步武をみるに至つてゐる、これ偏へに天地冥合のあひだに燦々として輝く皇謨の然らしむるところではあるが、また吾々は協同の至福を道として東に接壤する盟邦日本帝國と防共の理想を一にして西に位する强大な盟邦獨伊兩國の絶大なる友誼に俟つもの尠からざるを看過し得ない、聖明啻に國內にのみとゞまらず、廣く世界の動向、時勢の推移等にも確たる御批判を有せらるゝ皇帝陛下には盟邦の福をもつて福とし禍をもつて禍とせられる高邁なる御精神の下に機會ある毎に同心協力の誠を御披瀝遊ばされてをられるが、皇國日本が東亞新秩序建設の目的から暴支膺懲の師を隣邦に起すや直ちに詔書を御渙發になり

必ずや兩國一德一心の眞義を發揚し暴戾なる支那軍討伐に協力し共同防衛の精神を貫徹すべし

と宣ひ日滿共同防衛の盟約に基き滿洲國軍に出動を御命じになられ、以來聖戰下一年有餘[illegible]の模樣につき御軫念遊ばされつゝ、日本皇室との御交驩に或は皇軍將兵への御慰問に御自ら日滿一德一心の精神を全臣民に御範示遊ばされたのである、また西方の盟國、獨、伊、波等諸國との友好關係增進に關しても特に御留意遊ばされ昨夏、韓經濟部大臣以下の修好使節團を遠く歐洲の地へ御派遣になり盟國との睦と彼我の認識を一段と高められたが、宮廷におかれては或は盟邦の使臣に對し心からなる御もてなしをもつて友誼の眞を致されるなど巨細にわたつて御配慮あらせられる御心のほどは洵に畏き極みと言はねばならない

陛下最近の御日常は國務の伸展につれ、益々御多端にわたらせられ祭事を始めとして御政務、御軍務等殊のほか繁きを重ねさせられため一日も御缺かしなく御政務室に御出ましになり萬機を御總攬遊ばさるゝ御精勵振りであるが軍政、産業、地方行政等國內諸工作の實狀に御軫念あらせられる陛下には、昨年六月下旬炎暑の候をもおいとひなく奉天地方の御巡行を仰出され中央陸軍訓練處をはじめ撫順、鞍山等の重工業地帶を仔細に御視察遊ばされ、その折多數の地方官吏にもいちいち拜謁を給つて還宮あらせられた、また協和會全聯合協議會並に滿洲國赤十字社創立記念式にあたつては特に勅使を御差遣、軍人後援會及び滿赤創立に際しては巨額の御內帑金を御下賜になられて民生の康寧を御軫念遊ばされたがこれひとへに常々臣民の上に大慈大悲の御心をもつて臨まれる宏大なる御心に基くもので斯くの如く帝恩四海に洽きこと眞に感激に堪へざるところである、玆に康德六年巳卯の黎明を迎へ、新春の齎す赫奕たる東亞の曙光を望んでわが四千萬臣民は謹んで帝壽の萬歲を奉唱し廣大なる帝恩の下に更に防共盟國との緊密なる結合を固めて赤誠以て帝恩の萬分の一に副ひ奉り鴻仁に應へ奉らんことを期せんとするものである

全人類のために東亞建設に奮闘

張國務總理大臣談

東亞曠古の大事變裡に康德五年は過ぎ、玆に乾坤一新して康德六年の元旦を迎へたのである、畏くも皇帝陛下には聖康彌勝れ乾德益高く夙夜國政の御總攬に勤み給ひ、國礎日に固く國運日に隆昌を加ふ、謹而四千萬國民と共に

聖恩の鴻大を謝し聖壽の無窮を祝ひ奉り、さらに頭を東に廻し恭しく一德一心の盟邦日本皇室の御榮を衷心祝ひ奉ると共に戰雲萬里に奮闘しつゝある皇軍將兵の武運長久を祈る次第である、我滿洲國は早くも建國第八年を迎へたのであるが惟ふに我建國の意義の彌發揚せらるゝと共に吾人の責任益重大なるを覺ゆるのである、抑々今日の世界不安は歐羅巴に發達せる物質偏重の文明に胚胎せる功利主義國家群の抗争の結果と云ふべく、而して之を匡救し得べき途は惟一つ精神文明を本質とする東洋道義の普遍あるのみと信ずるのである、即ち吾人は今より七年前この信念に基き、人類相剋の現世の趨勢を是正すべく前人未踏の道義社會建設の新なる企を以て、我滿洲國を創建せるものである、而して吾人の理想は日本精神と全く共通し、又日本の企圖する道義東亞復興に呼應せるものであり、建國以來終始日本より絶大なる仗義の援助を得て、今日の如き洋々たる國運を招來することを得たのである、僅に七年前迄は匪賊と

軍閥の叢巢として文化に取殘されてゐた滿洲は、已に王化全土に輝き、悠遠なる理想の下に最も新しき法治國家としての態容を整備し、又驚くべき豐富なる地下資源は續々發見急速に開發せられ東洋屈指の重工業國として、將又豐饒なる農產國として世界に重きをなさんとしつゝあるのである、一方全國民が國籍と種族の差別を超越し藹然として民族協和の實を揚げ、我建國の大理想に立脚し、飽迄盟邦日本と協心一體となり、建國の聖業に邁進せる結果、內は國力の飛躍的進展を遂ぐると共に、我國際的地位をも向上せしめ、伊太利、西班牙に引續き歐洲の友邦獨逸とも正式國際協定の成立せることは余の欣快に堪へざる所である、蔣政權が吾々東洋民族の倫理觀念と絶對に相容れざる共產主義を容れ、遂に四億の同胞を水深火熱の禍中に投じながら尙盲目無恥なる政權慾に驅られ列强に泣訴して抗日を續くると雖、全國民の怨嗟日に加はりつゝある今日、その終末は

極めて近き將來である、今や自覺せる東亞民族は道義的觀念を以て、全人類の爲に樂土東亞の建設に奮闘しつゝあるもので、今次支那事變も究極するに滿洲國の王道樂土建設の大理想と全然その意を一にするものである、余は列國がこの崇高且深遠なる信念に發端せる刻下の東亞の事態を、冷靜公平に認識し、以て眞の人類福祉增進の爲に協力せんことを切望する次第である

躍進、滿洲帝國の外交

外務局政務處長　龜山一二

近來滿洲國は內政の充實と共に對外的にも文字通素晴らしい躍進を續けてゐることは誠に愉快な事實である、康德四年十二月一日から實施を見るに至つた盟邦日本帝國による治外法權撤廢は、日滿一德一心の關係に顯著な發露であつて、滿洲國四千萬民衆の眞に感銘措く能はざる所である、この治外法權の撤廢自身によつて

滿洲國の對外的國威國力は著しく增進した、それ許りでなく從前何等條約上の根據もなく新興滿洲國に對して治外法權の存續を主張して來てゐた歐米列國は、この日本帝國の一大英斷によつて眞に重大な教訓を受けたことゝ思はれる、そして今や治外法權について紙の上の主張すら爲すことの愚を悟らざるを得なくなつたのである、吾人は重ねて盟邦の厚誼に對し深厚なる謝意を表示する次第である、過去一ヶ年は又滿洲國の對歐外交史上一新紀元を開いたものとして特筆に價する

康德四年十一月廿九日にはイタリー國からの承認を得翌十二月一日には西班牙國との間に國交を樹立するに至つた、翌康德五年二月廿日には獨逸國ヒトラー總統の同國國會における滿洲國承認の決意表明せられ次で伯林で開始せられた滿獨修好條約締結の交渉は同年五月十二日成立しこの條約によつて滿獨兩國間には正常且恒久的な友好親善關係が確立せられたのである、斯くて日滿議定書によつて日本帝國との間に共同防衛の盟約を結び防共上にも重大な役割を演じて來た我滿洲國は今や日獨伊防共樞軸の間に直接且緊密な連環をなし歐亞を繋ぐ眞の國際正義擁護及國際文化建設の原動力の一大因子となつて活躍することゝなつたのである

實に偉觀であると言はざるを得ない、加ふるに康德五年十月十九日にはポーランド國との間に、兩國間領事官の地位の正常化及之に關聯し兩國間の經濟的協力及國民の待遇に關する取極を行ひ滿波間國交關係の調整を行つたのは慶賀に堪へない、同時にまた國際聯盟加入國との間に斯樣な取極をなし國交の

正常化を計り得たことは、滿洲國の躍進外交の將來に對し一大示唆を與ふるものたること言を俟たない所である

次に新支那との間にも良き諒解と提携が實現せられつゝある、中華民國臨時政府との間には既に康德五年七月以來通商代表を交換し又維新政府との間にも十一月同樣に通商代表を交換することに取極が成立したのはこれが明證である、さらに條約關係においても一大飛躍をなした、即ちドイツとの間には前記の滿獨修好條約の外康德五年九月十四日には新京において康德三年以來實施せられてゐた貿易協定を根本的に改訂した新貿易及支拂協定を締結し滿獨間貿易の增進及調整の爲の鞏固な基礎を確立した、又イタリーとの間には康德五年七月五日東京に於て滿伊修好通商航海條約及日滿伊貿易協定を締結して兩國間國交を永遠の基礎に置くと共に通商及貿易關係を軌道の上に載せ之が促進を具體化するに至つた、右の外親交國スペイン及サルヴアドルとの間にも夫々修好通商條約の締結につき交渉中でその成立も近い將來に期待せられてゐる、又チエコ・スロヴアキア國との間にも經濟關係の調整が企圖せられてゐる、その他の諸國にして之に倣はふとしてゐる國も尠くない、滿洲國の對歐米外交は今後益々好轉すべきこと言を要しない所である

次にイタリー國のファシスト親善使節團の相次ぐ滿洲國訪問は滿伊兩國間の親善及經濟的提携の强化の爲に貢獻したことは大きい、同時に又康德五年七月出發した韓經濟部大臣を團長とする滿洲國修好經濟使節團の

日伊獨西の各友邦歷訪はわが修好史上の大事業であつて、その目的とした友好諸國との間における親善關係の增進、經濟的相互理解の確立に資する所眞に

偉大なるものがあつたのである、然し滿洲國の外交にも好ましいこと許りが與へられてゐる譯でもない、即ち滿ソ國交の過去一年を顧みて吾人は頗る遺憾なきを得ない、張鼓峰事件を始め幾多ソ聯側のわが國境侵犯事件が發生した、これらは總て盟邦日本國軍隊の威力と滿洲國軍憲の旺盛なる愛國心により鎧袖一觸その侵略的企圖を擊滅し得たのは正に當然のことながら、ソ國國境事件の起る度毎に滿ソ國交に暗影を投ずる次第である、然し我滿洲國の對ソ方針は飽くまで平和的善隣關係の維持强化にある、ソ側も徒らに國境侵犯や敵視的態度を改め我方の右平和的意圖を良く諒解し之に迎合して來ることを切望して止まない、然らば兩國間の懸案や紛爭は自ら解決せられて仕舞ふことゝ確信する

終りに滿洲國の外交の根本方針について一言することを必要と信ずる、今や東亞には眞の國際正義と新秩序建設の大事業が展開せられつゝあるのである、この秋に當り我滿洲國も亦日支相聯繫してこの東亞再建に協力邁進することを以て自己に課せられた尊き且基本的な使命であると思惟してゐる、之が爲滿洲國は盟邦日本帝國との不可分一體關係を基調とし新支那との間にも緊密な提携協力を所期すると共に友邦諸國との交誼を益々敦厚ならしめ就中獨伊防共樞軸との防共の契を强化するに努むべきは論を俟たない、同時に亦我滿洲國は康德五年十二月七日の張國務總理大臣の談話にも明示せられた通り列國の純眞な經濟的協力は衷心之を歡迎し凡ゆる便宜を與ふると共に東亞の新事態に適應しない舊時代の

原則や主張には全く拘束せられることなく正を履んで恐れず飽く迄叙上の大目的に向つて內に外に勇往邁進せんとするものである

謹賀新年

皇軍萬歲

皇紀二五九九年

滿洲國外務局

滿洲國郵政總局

滿洲國興安局

滿洲國民生部

首都警察廳

滿洲國赤十字社
新京市北安路五〇一番地
電話代表②五九一六番

戰捷記念紙上名刺交換會

イロハ順

伊藤勘?	岩田公六郎	石川正作	原田佐八郎	原田廣吉郎	呂榮寰	盧元善	林顯藏
濱田湯?	橋口勇九郎	原武	原久一郎	若石えりか	二宮治重	饒村慈齋	西山泰清
西川虎吉	星野直樹	朴準秉	細川虎太郎	富田勇太郎	張景惠	張書翰	張聯文
陳悟	張明峻	李鍾元	大曾我千雨	大村卓市	奧村愼次	神尾弌春	加世田成法
神吉正一	河本大作	向井共孝	華山親義	笠原敏郎	武田近三	田原稔	高橋康順
葛山貴義	田中草之	田村仙定	田村敏雄	武部治右衛門	孫其昌	塚本良禎	水島忠通

戰捷記念紙上名刺交換會

イロハ順

林[illegible]	盧元善	呂榮寰	石原廣一郎	原[illegible]郎	石川正作	岩田公六郎	伊藤[illegible]
西山泰清	[illegible]村[illegible]齋	二宮治重	[illegible]	原久一郎	原武	橋口勇九郎	濱田[illegible]
張聯文	張書翰	張景惠	富田勇太郎	細川虎太郎	朴[illegible]秉	星野直樹	西川[illegible]吉
加世田[illegible]	神尾弌春	奥村愼次	大村[illegible]	大[illegible]	李鍾元	張明峻	陳[illegible]
高橋康順	田原[illegible]	代田[illegible]	笠原敏郎	[illegible]	[illegible]	河本大作	神吉正一
水島[illegible]	塚本良禎	孫其昌	武部治右衛門	田村敏雄	田村仙定	田中[illegible]之	高山[illegible]

戰捷記念紙上名刺交換會

イロハ順

伊藤[illegible]
岩田公六郎
石川正作
原田[illegible]郎
石崎[illegible]郎
呂榮寰
盧元善
林顯[illegible]

濱田[illegible]
橋口勇九郎
原武
原久一郎
[illegible]
二宮治重
饒村意齋
西山泰清

西川[illegible]吉
星野直樹
朴準秉
細川虎太郎
富田勇太郎
張景惠
張書翰
張聯文

陳[illegible]
張明峻
李鍾元
[illegible]
大村[illegible]
奥村愼次
神尾弌春
[illegible]成[illegible]

神吉正一
河本大作
白井[illegible]
[illegible]
笠原敏郎
武田[illegible]
田原稔
高橋康順

高山[illegible]
田中草之
田村仙定
田村敏雄
武部治右衛門
孫其昌
塚本良禎
水島[illegible]

（第三種郵便物認可）　康德六年（昭和十四年）一月一日　新京日日新聞　（日曜日）　第五千七百三十四號

戰捷記念紙上名刺交換會

イロハ順

植田貢太郎	桂おます	于芷山	于静遠	于鏡濤	安理常吉	黒岩直治	華東芝格
柳澤彌吉	山田義二	山口清治	松島鑑	前田伊織	源田松三	古山勝夫	深尾愼一
小泉三郎	小西曹一	駒越五貞	小松蕭松	小島榮次郎	小須田常三郎	近藤義一	苑培忠
丁鑑修	程義明	青木佐治彦	[illegible]	蔡運升	佐方文次郎	櫻井重義	三多
岸信介	金卓子	三浦一	柴崎白庵	徐家桓	四戸友太郎	篠原吉丸	壽聿彰
榛葉可省	廣瀬壽助	廣瀬宗基	馮涵清	平壺歌夫	森田久	関屋悌藏	薄田美朝

聖戰第三年の展望

新東亞建設と滿洲經濟の使命

滿洲中央銀行總裁 田中鐵三郎

一

日支事變も廣東、武漢の攻略と共に大局既に決し、日滿支蒙の互助連環による新東亞建設の氣運が澎湃として勃興し、東亞の天地には今や新世紀の黎明が輝き初めてゐる時に當り、康德六年の新春を迎ふるは實に慶賀に堪へない次第である。東亞民族は人種、地域、文化を同じくし、密接なる經濟關係を有するを以て互に提携協力して國防の充實經濟の繁榮、東洋文化の宣揚等に關して共同の施策を講じ以て東亞永遠の安定を實現すべき必然的運命の下に置かれてゐるのであつて、是こそ日滿兩國が年來その實現に努力し來つた所であるが、國民黨政府の誤れる認識と政策とは之が實現に支障をなしてゐたのである。然るに國民政府は既に一地方政權に顚落し、他方日滿と提携して更生支那の建設を圖らんとする新政權が各地に樹立せらるゝに及んで、日滿支蒙の人心は今や翕然として新東亞體制の建設と云ふ共同目標に集中しつゝある。素より斯くの如き理想貫徹の前途には尙ほ幾多の段階と艱難とが存することを豫期せねばならないが、然し今次事變を契機として、日滿支蒙が世界の大勢を洞察し、互に相倚り相扶けて斯かる理想の實現に邁進せんと決意し、今やその具體的方策に向つて力強き第一歩を踏み出したことは、實に深大の歷史的意義を有するものと云はねばならない。

二

新東亞體制建設の最も喫緊なる基礎要件は日滿支蒙の經濟的連環の結成である。排他的經濟連衡の交錯してゐる世界の現狀に鑑み、東亞民族の指導者たる日滿支蒙が固き互助連繫を結び協同の努力によつてその經濟的繁榮を圖らんとすることは當然の希求であるとゝもに、又資產の安定と發展との爲にも絕對に必要なのは日滿支蒙の國防經濟力を充實することであつて、これが爲には各々その領域內に於る資源の開發、重要產業の確立必要物資の確保に全力を傾注することが大切である。東亞全體が包藏する資源は無盡藏に近い、日滿支蒙が互に提携して之を開發し、之を利用して產業の發展を圖つたならば東亞の經濟的繁榮は期して待つべきである。勿論日滿支蒙は各々その特性を有してゐるこの特質を存分に發揮せしむる爲に相互間の摩擦と重複とを避け自已の持てるものを以て他の足らざるものを補ふと云ふ有無相通の綜合的計畫が實行されて行くのである。

新東亞の經濟的建設に當り滿洲國の經濟が如何に重大なる役割を分擔してゐるかは玆に絮說する迄もないことであるが、我滿洲國は建國以來僅か七ケ年といふ短日月の間に世界史上特筆すべき長足の進步を遂げ、今や國礎愈々堅く、國威益々揚がり、列國は相踵いで我國を正式承認しつゝある次第であるが、之は我官民の不撓の努力の結果であると同時に、盟邦日本の絕大なる援助の賜であつて、斯くの如き日滿の互助連繫關係とその大なる效果とは今後に於る日滿支蒙の連繫的經濟的發展に有益なる先例を供するばかりでなく、開發途上にある滿洲國の豐富なる國防資源を出來る丈急速に開發利用することは、取りも直さず日滿支蒙の協同的經濟連繫の基礎となり推進力ともなるのである。從つて我々は東亞經濟建設に於る滿洲經濟の重要性を克く認識自覺して今後常に日滿支蒙の關係を考慮したる妥當なる經濟政策を樹立遂行することに努力精進しなければならぬのである。

三

日滿支蒙の經濟建設には今後巨額の資材を必要とすることから見て、刻下何よりも必要なことは、滿洲天惠資源の生產擴充政策である、現在滿洲經濟の根幹をなしてゐる農業の生產力を益々發達せしめ特にわが國際收支の現狀に鑑み、出來る丈け多額の外貨資金を確保するため、大豆其他の輸出農產物の增產に努め、之が對第三國輸出を增進することの大切なるは論を俟たない、又滿洲國は石炭、鐵、その他多數の鑛物資源に於ても極めて巨額の埋藏量を有することが最近の調査により益々明らかになつてゐる、之を有效に開發利用し、以てわが國防に必要なる重工業、輕工業の急速なる發達を促すことが肝要である、更に豐富なる電力を開發することが工業の發展に缺くべからざることは勿論であるが、同時に林產、畜產、水產資源の開發にも力を注がねばならぬ、斯くの如き生產政策の遂行と共に忽せに出來ないのは、國防ならびに輸出產業の振興に必要な物資の需給を調整し、其消費を抑制することである、尙ほ物價の無統制なる騰貴は、豫算の實行、生產事業の振興、輸出の增進、國民生活の安定等に惡影響を及ぼすものであるから、妥當なる物價對策を實施して、之を適當なる水準に統制することが必要である、資源の開發並に生產力擴充に必要なる機材、國防資材等の輸入力を增强しなければならぬ當面の必要から見れば、貿易統制を最も合理的に運用し、一方に於て日滿支蒙相互間の貿易調整に心を配ると共に、對第三國輸出振興に必要なる各種の施策を考究し、他面海外支拂を節約し、貿易外收入の增加を計り、以て出來る丈け豐富なる外貨資金を確保して之を必需資材の輸入に充當せしめなければならないが、而して健全妥當なる金融政策の實行は最も重要であつて、當面の課題たる資源の開發、生產力の擴充、必要物資の確保等に對しては、各金融機關に於て出來る丈け潤澤なる資金を供給することが緊要である、中央銀行としても右に就ては萬遺漏なきを期してゐる次第であるが、同時に通貨の流通を出來る丈け生產の增加物資の流動に一致せしむる樣留意すると共に、今後民間に撒布さるゝ多額の政府資金及び產業資金が浪費されずに有效に蓄積さるゝ樣、貯蓄の奬勵、公社債の消化、節約の徹底、其他の資金吸收策を講じ又斯かる資金が死藏されず刻下最も必要とせらるゝ方面への融資に有效に運用さるゝ樣資金の合理的按排にも力を注いでゐる。

尙ほ對外金融施策に就ても中央銀行は政府の方針に從ひ多大の努力を拂ひ、特に日本北支、蒙疆等に對しては既に支店を設置して各地域間の商品および資金の圓滑なる交通に寄與してゐるが、今後日滿支蒙の連繫的經濟建設工作が進行するにつれ、貿易上、金融上種々複雜なる新問題が發生することも亦當然であるから、今後の新情勢に對應して益々適切なる聯絡協調の方途を講じ、新東亞の經濟建設に貢獻したいと考へてゐる。

然し翻つて世界の國際情勢を見るに極めて微妙なる動きを示し、一日も晏如偸安を許さないものがある、支那事變も新段階に入つたとは云へ、その究極的解決には尙ほ幾多の曲折があるであらうし、東亞新秩序の建設も決して容易の業ではない、吾々は飽く迄長期建設の覺悟を定め、玆に新春を迎ふると共に益々堅忍持久の精神を以て、官民一致之が目的達成に邁進しなければならないと思ふ。

康德己卯元旦

共登春

台 張景惠 (印)

大陸政策と滿鐵の使命

滿鐵總裁 松岡洋右

聖戰今や一年有半、皇軍の戰果燦として輝き敵が最後の據點とせる武漢既に脆くも潰ゆ、蔣政權の沒落將に日睫に近きに在り、既に北支に新政權の生誕あり中支又維新政府の樹立を見、玆に**東亞の**新局面に一大展開を來し新秩序確立の要請となり東亞の黎明愈々輝しき裡に昭和十四年の新春を迎へたるは誠に慶賀に堪へざるところなり顧みるに滿洲國は建國以來既に第八年を迎へ國礎愈々固まり皇國と密接不離、相提攜へて東亞和平の確立を目指し一路飛躍的使命に立脚して全滿における經濟開發の大動脈たる鐵道の運營に拮据盡瘁し以て滿洲產業五ケ年計畫に即應して滿洲資源の開發に重要なる協力をなし來れり、偶々昭和十二年七月永定河畔蘆溝橋に端を發せる日支紛爭は曠大して今次の事變となるや我社は直ちに皇軍の行動に協力し軍事輸送の完遂を期し多數有能の社員を現地に派して或は鐵道の復舊運營に或は經濟工作に將又宣撫工作に皇軍の征く所その手足となりて砲火の下挺身健闘し幾多の貴き殉職の士をだしつゝも不撓不屈能く三十有餘年來培はれたる滿鐵魂を發揚し以て報國の誠を致せり、今や東亞の新情勢は長期建設の新段階に入り皇國は有史以來の國力大發展期に際會し[illegible]謂ふべく我國經濟は急速度に戰時體制に移行しつゝあり、滿洲國が亦日滿共同防衛と經濟一體化の**建國の**本旨に基き產業、金融、貿易の全分野に亘り經濟統制を强化し、國防資源の開發、重工業生產力の擴大に全力を傾注しつゝあり、而して今後複雜なる國際政局の推移は極東の動向に機微なる影響を齎し、遠からずして一大非常時局の展開を豫想せしむるものあり、斯る現下の緊迫せる時局に鑑み吾等が當面する任務亦愈々重大なるを思ひ玆に吾社は益々その使命たる大陸交通經營の整備充實に邁進し、二十三億の投資と二十五萬の忠誠奉公の從事員とを以て日滿支經濟ブロツク結成の最强固なる紐帶として軍事上に、產業經濟上に平戰兩時の體制を確立し戮力精勵、克く國家の重大負託に酬いんことを期してやまざるなり、聊か所懷を述べて年頭の辭とす

滿洲現下の緊急要事 實力涵養にあり

關東軍參謀長陸軍中將 磯谷廉介

萬象悉く新まり、玆に軍國多事の新春を迎ふるにあたり先づ以て聖壽の萬歲と皇運の隆昌を壽ぎ奉り、なほ遠く萬里の異郷支那の中原に或は又塞氣凛烈の滿ソ國境にあつてこの**新春を**迎へたる皇軍將兵に對してその勞苦を深謝し、益々武運の長久を祈念する次第である、皇國日本が聖戰の師を起して玆に二星霜、皇威燦として八紘に輝き、わが忠勇義烈の皇軍は幾多の辛酸を嘗め純忠の血潮を流しつゝ破竹の勢をもつて頑敵を破り今や北支、蒙疆をはじめ中南支の要地は悉くわが手中に歸し支那の中原を制壓するに至つた、玆に年改まり、紫雲靉靆の裡に南京城頭を始め武漢三鎭ならびに廣東城頭に繚へる大日章旗を思ふ時、御稜威の宏大なるに感泣し更に東亞新秩序建設の華と散つた幾多將士の英靈に對し感謝と感激の情を禁じ得ざると共に日滿一體となつての涙ぐましい銃後の活躍に對して滿腔の謝意を表するものである、諺に一年の計は元旦にありと、即ち日滿兩國旗春光に輝く年頭に際し、靜かに世界の大勢を考へ、思を皇國の前途に馳せ更に〳〵非常時下の覺悟を固むるは洵に意義あることゝ信ずる、熟々現下世界の情勢を大觀するに左右二大思想の對立と現狀打破運動を繞る國家間の葛藤は益々深刻となり、世界大戰後における勢力分野に一大變革を見ざれば已まざるの觀がある、今や極東のみならず世界は擧げて一大轉換期に直面し國家百年の大計を確立するは正にこの秋の感無きを得ない、斯かるさ中に勃發せる支那事變は正義日本に天の命ともいふべく、正に日本に課せられたる一大使命と申さねばならぬ、幸ひなる哉、戰果着々擧り、武漢三鎭ならびに廣東攻略となり**東亞の**新秩序建設の過程を一進せしむることゝ相成りたることは國民各位と共に同慶に堪へない、然し蔣政權は相次ぐ敗戰にも拘らず、未だ執拗なる抗戰を繼續せんとし日本の眞意を解せざる第三國の對支援助は依然として改められざるのみならず却つて裏面の策動を繁からしめんとし、共產黨の暗躍亦いよ〳〵積極化しつゝあり、赫々たる戰果に有終の美を與ふるものは武力戰に關する軍として確乎不拔の構へあるべきは勿論なるも他面今後における外交戰、經濟戰、思想戰等に對する國民精神力の如何に存する狀況である、翻つて眼を滿ソ國境の彼方に轉ずるれば、ソ聯邦は支那事變勃發と共に滿洲國境線において大規模の軍備增强を行ふ一方、國內肅清工作を急ぎ、重工業資源の開發、國家總力の充實に寧日なき有樣であつて日本が長期戰によつて國力の低下するの機を豫想し日ソ間に最も有利なる情勢を招來せんと企圖しゐるやに判斷せらる、即ちソ聯極東軍は蜿蜒四千餘キロの滿ソ國境線に沿つて四十萬の大軍を配備し各要地には凡ゆる軍事施設を行ひ滿洲國を圍繞する外廓は對日滿攻擊據點たる要塞陣地によつて包圍されてゐるといつても過言ではない、滿洲事變前迄僅かに十萬足らずのソ聯極東軍は今やその數倍に增强されソ聯が世界に誇る機械化部隊は勿論、超重爆機を中心とする最新銳飛行部隊を整備して日滿共同防衛陣に對し挑戰的態勢を整へつゝある、今や滿ソ國境は軍事的には勿論思想的にも經濟的にも日本の國防線であることは今更謂ふまでもあるまい、斯くの如き北方よりする赤化勢力の重壓下にあつて些の微動もせず、日滿不可分の國是に基き滿洲國が聖戰の目的貫徹に邁進しつゝある日本に對し、物心兩方面の絕大なる援助を與へ、吾人天與の皇道宣布の大偉業に努力しつゝあることに對しては**快心の**喜びと滿腔の謝意を表するものであるが、大陸において日滿共同防衛の重責を擔ひ且つ又滿洲國の驚異的躍進と發展に重大なる役割を演じつゝある關東軍としては將兵一同年の改まるに際し、その使命に對する覺悟を新たならしむる必要あると共に日滿兩國民に對し一層の協力後援を希つて已まない次第である、惟ふに滿洲國は今次聖戰貫徹のため重要なる役割を演じてゐるのであるから今後は益々軍備に缺陷なからしむるは勿論、滿洲國における經濟、產業その他凡ゆる部門の生產力擴充と相俟ち國力の增强を圖り、友邦日本をして支那事變の目的貫徹に邁進せしむると共にその欲すると欲せざるとに拘らず、この滿洲自體が一旦緩急の場合直ちに之に應じ微動だもせざるだけの實力を涵養することが現下の緊急要事であると確信するものである、元旦にあたり聊か所感を述べて年頭の辭とする次第である。

謹賀新年

皇軍萬歲

皇紀二五九九年

在新京大日本帝國大使館
朝鮮總督府事務官 阿部達一

新京驛長 稻川利一
同 列車區長 藏本十郎
同 機關區長 田崎義郎
同 檢車區長 片岡清一
同 工務區長 大工庄七郎
同 電氣區長 柳澤元三郎

新京製氷所
住吉町九丁目四
電話(3)三八三五番

秋林株式會社
日本橋通十七
電話(3)五三〇二・六七八六番

慈光病院
院長 饒村佑一
新京市慈光路四〇一
慈光助產士看護婦學校

朝鮮商工株式會社
新京出張所
中央通二三當地

株式會社 大同報社
主幹 大石智郎
總務兼營業局長 福島潔
編輯局長 岩下輝夫

三中井
大同大街
電話代表②二八一一番

合資會社 大同組

村田逍遙園
新京櫻木町三ノ一六
電話②三一五七

新京組合銀行團
滿洲中央銀行總行
滿洲中央銀行北大街支行
滿洲興業銀行本店
滿洲興業銀行新京南廣場支店
橫濱正金銀行日本橋通支店
東洋拓殖株式會社新京支店
新京銀行
新京金融組合

新京日日新聞

其の二

グラフ

1日活「大岡政談魔像」における阪妻の茨右近、2松竹「母の歌」の田中絹代、高峰三枝子、三宅邦子、川崎弘子、3新興「怪猫謎の三味線」の鈴木澄子、4日活「荒獅子」の寛壽郎、5東寶「忍術道中記」のエンタツ、アチャコ、6新興「噫南郷少佐」の藤井貢、7東寶「吾亦紅」の高田稔、入江たか子、大日方傳

お正月番組

市内六館のお正月番組は左の如く何れも各社の呼びものを網羅した賑やかなお膳立、封切館は第二週四日、第三週八日、第四週十三日替り、二番館は三日、六日、十日替りである

長春座

▽第一週＝松竹京都「鬼面三日月黨」坂東好太郎主演、高田浩吉、川浪良太郎、海江田讓二、本郷秀雄、伏見信子、久松三津枝、毛利峰子共演、二川又太郎監督作品▼同大船「母の歌」田中絹代、川崎弘子、三宅邦子、高峰三枝子、夏川大二郎、徳大寺伸共演、佐々木康監督作品（前後同時封切）

▽第二週＝松竹大船「妻を怖がる夫」齋藤達雄、坪内美子、水戸光子、小林十九二共演、蛭川伊勢夫監督作品▼同京都「滿願の朝」高田浩吉、久松三津枝主演、廣瀬正明監督作品▼リチャード・ダルマッヂ主演「躍込み戰法」

▽第三週＝松竹大船「日本人」同「美人床」

▽第四週＝松竹京都「唐人お吉」同大船「長期頑張娘」

新京キネマ

▽第一週＝日活京都「大岡政談魔像」阪東妻三郎、河部五郎、澤村國太郎、原健作、稻垣浩監督作品▼同多摩川「女性行路」星玲子、井染四郎、星ひかる、杉狂兒、瀧花久子主演、千葉泰樹監督作品

▽第二週＝日活京都「荒獅子」嵐寛壽郎、月形龍之介、市川正二郎、團德麿、大倉千代子、原駒子共演、松田定次監督作品▼同多摩川「地上天國」杉狂兒、見明凡太朗、松本秀太郎、吉谷久雄、村田宏壽、黒田記代、山本禮三郎等多摩川コメディアン總動員、千葉泰樹監督作品

▽第三週＝日活京都「初姿人情鳶」同多摩川「思出の丘」▲江川宇禮夫、日暮里子悦ちやん、松本秀太郎一行アトラクション（十日十一日）

▽第四週＝日活京都「愛しの面影」同多摩川「大陸行進曲」

帝都キネマ

▽第一週＝東寶東京「吾亦紅（前）」高田稔、入江たか子、大日方傳主演、阿部豐監督作品▼同京都「忍術道中記」横山エンタツ、花菱アチャコ、高瀬實乘主演、岡田監督作品

▽第二週＝東寶東京「エノケンのびつくり人生」榎本健一、霧立のぼる主演、山本嘉次郎監督作品▼同「武道千一夜」大河內傳次郎、黒川彌太郎、山田五十鈴主演瀧澤英輔監督作品

▽第三週＝東寶「胡椒息子」洋畫「にんじん」

▽第四週＝東寶「エノケンのガッチリ時代」伊太利映畫「アルプス槍騎兵」

銀座キネマ

▽第一週＝新興東京「噫南郷少佐」藤井貢、河津清三郎、山路ふみ子主演、曾根千晴監督作品▼同「新しき門」山路ふみ子、立松晃、美鳩まり、平井岐代子主演、伊奈精一監督作品▼同京都「御存じ紫頭巾」羅門光三郎主演、木藤茂監督作品

▽第二週＝新興京都「怪猫謎の三味線」鈴木澄子、歌川絹枝、淺香新八郎主演、牛原虚彦監督作品▼同東京「新月の歌」高野由美、美鳩まり主演、久松靜兒監督作品▼森靜子、高山廣子、雲井八重子一行アトラクション

▽第三週＝新興東京「貧しき者の幸福」同京都「烈女觀艶錄」

▽第四週＝新興東京「三人姉妹」同京都「宮本武藏」

豐樂劇場

▽第一週＝松竹大船「彼女は何を覺えたか」佐野周二、高杉早苗主演、野村浩將監督作品▼同京都「尊王祇園會」坂東好太郎二役主演、多島泰三監督作品

▽第二週＝東寶「エノケンの法界坊」エノケン一座出演齋藤寅次郎監督作品▼同「愛情一路」岡讓二、霧立のぼる主演、渡邊邦男監督作品

▽第三週＝東寶「エンタツ、アチャコの水戸黄門（前篇）」同「綴方教室」

▽第四週＝松竹京都「名月哈御門大會」同大船「皆んなみえなくなる峠」

朝日座

▽第一週＝日活京都「闇の影法師」阪東妻三郎、轟夕起子主演、稻垣浩監督作品▼新興東京「牡丹くづるゝ時」淡島みどり主演、沼波功雄監督作品

▽第二週＝日活多摩川「人生劇場殘俠篇」片岡千惠藏、小杉勇、山本禮三郎、花柳小菊主演、千葉泰樹監督作品▼新興「男の魂」河津清三郎、山路ふみ子主演、廣澤虎造口演、曾根千晴監督作品

▽第三週＝新興京都「寶の山に入る退屈男」日活京都「喧嘩主從」同多摩川「蒙古の花嫁」

▽第四週＝新興京都「怪猫五十三次」日活京都「花見の仇討」同多摩川「悦ちやん萬歲」

謹賀新年

皇軍萬歲

皇紀二五九九年

滿洲帝國協和會

會長　張景惠
中央本部長　橋本虎之助
副本部長兼企畫局長　孫其昌
總務部長　皆川豊治
實踐部長　曲秉善
補導部長　恒吉秀雄
企畫局副局長　吉海忠之

新京特別市長　于靜遠

副市長　關屋悌藏

臨時國都建設局長　關屋悌藏

關東局職員一同

新京郵政管理局
新京市內各郵政局

大同印書館　村上正雄

南滿洲鐵道株式會社

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

新京騎士會

御多福綿花株式會社
日本藥物研究所
藤井金丹本舗
亞細亞インキ製造所
吉岡金剛砂研磨工業
代理店
大和商會
川郎義雄
新京豐樂路三〇四
電話(2)六〇四六番

アウエチシヤン
日本橋通り二三
電話(3)四七八七番

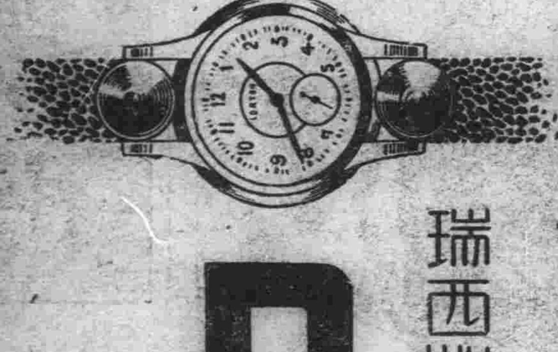
御料理
大辰
西五馬路
電話(2)五三六〇番

カフエー
火の鳥
富士町三ノ二
電話(3)二〇〇八番

祝戰勝の春新京に唯一ツの
ダブル、セット、システムで
新版レコードをお聽き下さい
銀座茶苑
吉野町二丁目
電話(三)二三四六番

大日本麥酒株式會社滿洲出張所

LORTON



瑞西製最高級品
ロートン
瑞西ロートン時計會社

明けましておめでたう
本年も相變らず
高級酒場
ゆりかご
祝町二ノ七
電話(3)三九三〇番

割烹食道樂
小夜
紀念公會堂横
電話(3)六七三一番

割烹
よね家
内田よね
豐樂路四ノ四(豐劇前)
電話(3)五一四三番

新京八島通り
高級下宿
八島館

高級酒場
ロータリ
ダイヤ街永樂町二ノ一
電話(3)二八三〇番

松華
田島サカヱ
東一條通一四
電話(3)三〇九五番

新京朝日通六五
株式會社アサヒ商會

新京日本橋通四七
大正堂時計店
電話(3)六六五八番

新京東三條通
丸三洋行本店

大連之部

高田友吉
谷川善次郎
田中知平
村井弘光
瓜谷長造
藏居滿
松尾勝三
福本順三郎
遠藤盛彌
酒井清兵衛
佐藤恕一
齊藤勘七
首藤定

國際運輸株式會社

南滿洲瓦斯株式會社

滿洲電業株式會社大連支店

大連都市交通株式會社

大連汽船株式會社

滿洲石油株式會社

滿洲化學工業株式會社

滿洲曹達株式會社

福昌華工株式會社

株式會社福昌公司

滿洲電信電話株式會社
大連管理局

森永製品滿洲販賣株式會社

三井物產株式會社大連支店

南滿鑛業株式會社

日滿商事株式會社大連支店

大連市山縣通り二二
第一工業公司
電話(2)四一七一番

大連市山縣通
高岡組

大連市常盤町永喜ビル
三和商事合資會社
電話(3)四〇九三番

大連市山縣通一〇〇
阿波國共同汽船株式會社
大連支店

大連市信濃町
山葉洋行
電話(2)四一四八番

大連市監部通
株式會社大信洋行
電話(2)一一〇一番

大連市加賀町
松浦汽船株式會社

大連市山縣通
東來洋行
電話(2)二八一八番

株式會社大連連鎖街

大連市山縣通三〇
堤商店
電話(2)五四一九番

大連市山縣通第一ビル
大阪商船株式會社
大連出張所
電話(2)七六九一番

大連市山縣通山縣ビル
恒裕洋行
電話(2)五一八一番

大連市山縣通一七八
江藤株式會社大連出張所

大連石炭商組合

大連市信濃町
堀内商店
電話(2)四五五六番

大連市山縣通り
蘆田洋行
電話(2)三四〇六番

大連市浪速町
奥田時計店

大連市大山通
遼東ホテル
電話(2)三一七一番

大連市常盤町
天滿屋ホテル
電話(2)七一五五番

大連市連鎖街
扶桑仙館

大連市榮町二
日本電氣工業合資會社
電話(3)二四一七番

大連市若狹町三三
太田信三商店
電話(2)六一六一番

大連市連鎖街
マツヤ洋服店
電話(3)三八八八番

大連市榮町二
丸岡洋行
電話(3)一三八三番

大連市榮町二
浪越洋行
電話(3)一〇九五番

大連市連鎖街
體育堂
電話(3)二一五七番

大連市若狹町三五
西田内科醫院

大連市連鎖街
デルコ

大連市磐城町
浪花鮓
電話(2)四七七二番

大連市浪速町三丁目
船塚洋行

大連材木商組合

正賀
大連市連鎖街
森洋行

大連舞踏場組合

大連三業組合

逢阪町遊廓取締事務所

大連市老虎灘
一方亭
電話五一二五二番
五一二八七八番

落語 兵隊 慰問文

春風亭柳燕
石原みのる畫

エー開けましてお目出度うございます。事變下に於る二度目の新春を迎へまして自肅自戒、以て益々銃後の護りを堅めねばなりませぬ。自肅の肅の字も緊縮の縮では、人絹みたいに縮んぢまひますから精々落語をお聞きになつて朗らかにやつていたゞきませんと、第一手前共落語家が干上つちまひます。笑ひといふものは如何なる場合でも必要なものでして、遠く大陸の野に奮戰を續けてをられる皇軍の勇士諸君さへ、戰ひの餘暇には到る所に爆笑が湧起る有様殊に、遠い故郷からの慰問文ほど勇士諸君を喜ばせるものはありません。「おい、全員集合ッ！」「分隊長殿全員集合しました」「よし。では今から書簡を渡すから名を呼ばれたものは前へ出て受取る」「ハッ、樺田であります」「まだ名を呼ばんぢやないか狼狽ちやいかんぞ」「あわてたくなりますよ。待ちに待つてゐるんですからね。たまらねえな、心臓がぞく／＼しやがる、エヘラエヘラ」「妙な笑ひ方をするなア樺田は」「エッヘヘヘ……嬉しくなると笑ひ方だつて天然自然に變化します」「おい……樺田引込んでろ、第一アマゾン河馬のくせに」「大氣にお世話さまだ、河馬なら君は北海道の熊だ、河馬に手紙が來て熊かつたな。北海道の熊ぢや手紙の半本も來無からう。分隊長殿早いとこ頼みますよ」「みんな靜かにしろ。騷々しくてどうにもならん。しかし、無理もないよ、お互に國からの便りは嬉しいものだからな、讀むぞ、木村、花山、松倉、樺田……」「ハッ待つてました……どんなもんだい北海道の熊公、論より證據さ、やつぱり來たぜ」「ちえッ、何がやつぱりだ、然し俺の所へは一通も來ないとは心細いなア、分隊長殿、熊川の所へは來てをらんですか？」「生憎だなア分隊長のせゐぢやないから惡く思ふなよ、ハッハッハッ」「がつかりさせるなア、國の奴等は薄情だよ。おや、河馬め、よだれ垂らして讀んでやがる、あの嬉しさうな面はどうだ、河馬が豆腐喰つたやうな面さやおいおい、みんな來い、河馬のとこへ妙なレターが來たさうだ」「へーそいつは珍現象だ、そのレターを公開して貰はうぢやないか」「モチさ、おい河馬、ぢやなかつた樺田上等兵殿、その御手紙を拜見したいものでありまず」「折角だが勘辨して呉れ實はこれはつかりは見せられない譯があるんだ」「譯？、日くがありさうだな、フン、さう聞いちやいよ／＼公開する必要がある」「まア聞いて呉れよ、國を立つ時俺の耳元でいとも甘い聲で囁くことにはそどうでもいゝ、先を云へ先を……」「物事には順序がある、默つて聞いてろ、その時云ふことには、あたしから差上るお手紙は決して誰にも見せないで下さいつてね」「ウヘーッ、河馬らしくないことを云ふなよ」「茶化すなよ。事實だよ、斯様しか／＼の次第であるから、諸君達に此手紙を見せることは勘辨して呉れ」「待て！河馬、逃げる事は卑怯だぞ、我々戰友は生死を共にしてゐる仲だ、着いた手紙を見せ合ふ約束ぢやないか！」「そう云はれると全く實に俺は辛いよ……」「何がつらいものか、其手紙をこつちへ寄越してしまへ……」「あッ、あッ、待つてくれ、殘念至極、遂に遂に無念…口惜しや」「しめ、しめ、分捕つちまやこつちのものだ、おい皆んな聞いてろ。我輩が代表して河馬のレターを公開するエーと先づ、拜啓と型の如く來なすつたね、河馬こりやア電報みたいに片假名ばかりぢやないか」「片假名ばかりであらうとなからうと、そんなことは問題ぢやない、熊川のところへは、片假名の手紙も來ないぢやないか」「云つたな！えゝ、何だと…、拜啓、ソノホウハ、コブガデキタカ？何だいこれは、其方は瘤が出來たかとは」「まるで殿様が家來に使ふ文句みたいぢやないか、時代物だね」「しつかり讀んでくれなくちや迷惑するよ、其方ぢやないよ、其後は何と讀むんだ、コブガデキタカぢやない、御無沙汰致しましたがと讀んでくれ」「あ左様か、さう讀めばさうも讀めるソノゴハゴブサタイタシマスタガか、成程」「心細い讀み方だな」「シナノ、ヘヲシテ、タ、カレテ、タイショウニナツタとあるぜ、支那の屁も臭いだらうな、しかし、屁をやらかして叩かれて大將になつたとは妙だねえ」「臭い大將だなア、河馬君はいつ大將になつたンだ」「違ふ、違ふ、支那の兵隊と戰つて大勝利…といふんだ」「お次が分らないぜ、ノミヤミ、ズニタベラレヌヤウニキヲツケテネ、とある」「よせやい、ノミヤシラミ…はいゝが……ズに食はれる兵隊があるかい。阿呆らしい」「困るなア、そんな讀み方ぢや先が案じられるよ、飲み水や食べ物に氣を付けてくれと書いてあるのだ」「躰を大切にしろといふンだね、道が河馬でも遠く戰地にゐると身を案じて呉れる人があるんだナ、ワタスモカラダヲジヨブニステ……」「ワタスは私のことだ。多少東北辯なまりがあるンだよ」「多少どころか丸出しぢやないか、アナタノカヘルヲ、ツルヨニクビ…ナクシテマテマス……雜文だね、あなたの蛙を釣るよに首なくしてマテマス……何んのことだい、これは」「厄介だなア、あなたの歸るのを鶴のやうに首を長くして待つてゐるのだといふことだ」「河馬が鶴に化けるわけだね、クビナクシテとは首を縮るのかと思つたよ」「緣起の惡い事を云つてくれるなよ、所々に字が落ちてゐるから足りない所は付け加へたり判斷したりして讀んでくれなきや困る」「まるで判じ繪か探し物みたいだね、讀み役も一苦勞だよ、アナタモセンスノカクコデ…、扇子の恰好とは變だね」「だから判讀しろと云つてるぢやないか、扇子ぢやないよ……」「成程ね、センシノカクゴデ、デカケタノダカラ、ドウセセンシスルナラ、イサマスク今ノウッニセンスステクダサイ、戰死するのを催促してゐるぜ」「立派な覺悟だねしかし、今のうちに戰死しろとは、大層急がせるぢやないか」「イマノウチニ……今の中に、ハヤクセンスセヌト、サムクナルカラ、早く戰死せぬと寒くなるから…カゼヘクトユケマセン…風邪を引くといけませんか」「呆れたね、おい／＼、河馬君、戰死した奴が風邪を引いてたまるかい馬鹿々々しいにも程があるぜこりや一體、誰から來た手紙なのだ、おい、何馬君」「それか、それは、ウーむその何だ」「おい、ハッキリ云へよ」「それは何だ、馬鹿々々しいのが當り前でな、今年五才になる俺の弟の小河馬からだもの…」（をはり）

落語 お正月

柳下亭笑六

何事にも陰陽といふものはございます。年の中でも春は陽氣であるが、あれで陰ださうで一夜明けると靜かだが陽でございます。日本固有の正月の門飾りも陰陽で出來てをります。松を殿方に見立て竹の御婦人で、先づ例へば御夫婦のやうなものでシテみると松は陽で竹は陰で、松は男といふ證據があります。それは松ボクリといふ、ボクリ玉は出來、秋季になると松茸が澤山出來ます。といふものでございます。テ見ると男でございます。竹はすんなりとして女のやうな處がある。それにたけの子といふ子が出來ますからどうしても御婦人でございます。しめ飾にはえびにだい／＼などを付けます。これは代々この所に住み、えびの様に腰の曲るまで添ひとげたいといふ老後の希望を現はしたものださうです。また三日までは御雜煮といふものを祝ひます。あれは夫婦で一つの餅をちぎり合つて食べてもよい、夫婦仲睦もちぎるといふ。中に入るのが菜にかぶ、いもなぞで贅澤な御方はいろ／＼なものを入れます。菜とかぶもは名をあげたいと、芋は妹背仲入りますもので、芋ふとい所からよく子を殖やすといふ、蕪は株に有り付きたい、まるでロー茶番のやうなものでございますが、然しこれは爭へないもので縁起はお祝ひなさる方が宜しい。續いて七日を祝ひます。當今では餘りさういふ事をいたす御家が無くなりましたが、これも隨分馬鹿らしいもので、なぜかといふと七ツの草をたゝきます。それもたゝきにくいものでたゝくのでございます。杓子だの吹竹だの火箸だのといふものばかりでたゝく、「大草薺唐土の鳥が日本の土地へ渡らぬ先にストトントン」御やしきなぞは御家風でいろ／＼な事をしたものでお女中が赤いたすきを掛けまして擂木をもつてたゝいてゐるなぞといふ。昔吉原の去る樓に七越といふ華魁があつてその七越さんは容貌も美し、藝事も出來るといふ誠によい華魁で御座いましたが、客は一度來たぎりパッタリ來なくなり、樓主も心配いたして調べて見ると、惡い癖がある。どういふ癖だと云ふと、御客の前で肴や何か摘まんで食べるといふ。摘み食ひといふ事は色氣の無いもので、それで御客様が呆れて來なくなる。デ華魁を呼んで意見をしたので「宜しうございます、これから愼みますから」と華魁も惡いと思つて食べたいのを辛抱いたしましたから大層流行ります。すると翌年の初春で馴染のお客様ですが、藝者幇間を揚げて大廣間で大騷ぎ七越華魁も其處へ來て相手をしてゐました。するとお客様だから藝者や幇間が尾つて參りまして、お座には七越華魁たゞ一人、ヒヨイと見ると台に鮑魚がありました。アー食ひたいなと思ふと今迄愼んでをりました病が急に出て、惡いと知りながら、病といふものは妙なもので、手が自然と出まして唐突前に在つた鮑魚の鮑魚をむしつて直に口へ入れまして食べやうと思ふ所へドヤ／＼と客が歸つて來たから周章飲み込んだか、惡い事は出來ないもので、鮑魚に骨のあつたと知らずに飲み込んだのでそれが咽へ支へた、どうも苦しいの苦しくないのどうしても出ない手を入れ出す譯にも行かず、クヅ／＼と云つてをりましたが、大勢に知れては極りが惡いから下を俯向いてゐる處へ入つて來た御客に取巻、見ると華魁が涙をこぼしてゐる。取巻の者が驚いて今まで機嫌よくしてゐた者が急に按排が惡いのはどうした事だらう、心配いたしましてヒヨイと前を見ると今まで手の付けない鮑魚があれてゐる、ハ、アノ華魁が病が起つたなと思ひまして、粹な客で御座いますから「決して皆心配するな、なあに大した病氣ぢやないのだから宜しくおれが癒してやらう」と突然箸を取りまして華魁の脊中をたゝいて「七越泣くな鮑魚の骨が刺さらぬ内に二本の箸でたゝけば癒る」華魁も仕方がないから下を俯向いて「七ーオイテ、オイタタ」（をはり）

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

新京初等中等學校長

新京中學校長 矢澤邦彦
新京商業學校長 志崎九五郎
敷島女學校長 大浦留市
錦ヶ丘女學校長 青木昌
青年學校長 羽田文次郎
室町小學校長 荒井信行
西廣場小學校長 瀨川順平
白菊小學校長 諫山郷視
八島小學校長 木村彌雄造
三笠小學校長 辻松太郎
櫻木小學校長 大内吉太郎
順天小學校長 佐藤眞一
普通學校長 森口市太郎
大和通國民優級學校長 大隈勘次郎
東新京中級國民學校長 志田正一

日本生命新京出張所
所長 安池重威
主任 山重正
山本峰秀

山田禮水
新京吉野町三丁目六
電話（三）二〇一〇番

株式會社 **福昌公司新京支店**
特別市八島通四十二番地

株式會社 **清水組滿洲支店**
新京特別市八島通二二（三）
電話③六三一一

新春皆様の御麗姿を
永久に記録する
御寫眞を最も入念に調製
出寫の御用は御電話次第早速參上致します

林田寫眞館

中央通一七（警察署向）電③二二一二番

謹賀新年 皇軍萬歳

皇紀二五九九年

滿洲行政學會
新京興安路一一六
電話(2)一二九六番 四二二二番 二三四〇番

滿洲東亞煙草株式會社
新京出張所

公債株式
新京射越屋商店
羽衣町二丁目二

株式會社 於勢商店新京支店
新京興安大路四〇二
電話(2)四八〇三番

天寶山鑛業株式會社
新京特別市大同大街三〇二
東京海上ビル內

新京土産商組合

豐樂路藥局
新京豐樂路一四一
電話(2)一二八五番

川井電氣株式會社
新京支店
新京朝日通八一
電話(3)三四四七番 六八九二番

新京獸鳥肉商組合

公債株式賣買
高柳利三郎商店
新京豐樂路四一〇
電話長(3)二四七四番

新京製紙工場

新京自動車株式會社

滿洲パルプ工業株式會社
新京支店
新京特別市錦町三丁目一
電話(3)四九七五番

長春洋火工廠
高砂製材所
新京高砂町二丁目四
電話(3)五四九二番 三二二九番

合名會社 林洋行
林金次

金庫、機械、金物部
石材部
權田商店
新京東五條通二三
電話(3)二六二九番 二六三〇番

日本タイプライター株式會社
新京出張所
朝日通り八一
電話代表3三三三八番

新京木材工作公司
藤岡織太郎

有川特許法律事務所
辯護士 辯理士 有川藤吉
辯護士 辯理士 決學士 桑野四郎
新京朝日通五五
電話(3)五〇四八番

明治製菓賣店
新京吉野町一ノ二四
電話(3)六一五〇番

新京菓子商組合

安東窯業株式會社
新京事務所

官廳御用
岡寫眞所
電話(3)五三〇三番

滿洲日東製粉株式會社

社團法人 滿洲特産中央會

ナショナル軒理髮館
中村喜三郎
日本橋通り二二
電話(3)二六三一番

新京石油販賣株式會社
新京石油販賣組合

新京醫師會

伊東號支店
住吉町四丁目四
電話(3)五四一四番

株式會社 戶田組新京出張所
新京永樂町二丁目一四

大都ホテル
新京驛前
電話(3)六〇一六番

西山運送店
西山運動具店
新京梅ヶ枝町二丁目一
電話(3)三四四六番 六二二四番

陶器と漆器
金龍洋行
新京豐樂路六〇二
電話(2)三二八一番

亞細亞タクシー
永樂町四丁目五
電話(3)二五二五番 二五二四番

株式會社 滿洲鑛業社
社長 土方龜次郎
新京八島通四四
電話(3)六四四七番

鐘紡新京出張所
新京曙町二丁目一四

記念公會堂食堂

新京質屋同業組合

深町履物店
新京吉野町二丁目
電話(3)二九八一番

東京無線新京支店
奈良眞治
祝町二丁目
電話(3)五三八九番 四九二〇番

滿洲醬油合資會社

仁和洋行
新京三笠町三丁目一七
電話(3)二五八二番 三四七一番

新京日日新聞　其の三

新年文藝入選發表

滿洲文學昂揚の機運の中に本社の新年文藝募集は多數の應募により豫期以上の好成績を得ることが出來た。應募者各位の協力を謝する。各選者の愼重な審査を經選衡は下の如く決定した。健やかに育ちつゝある滿洲文學の精華をこゝに讀者とゝもに見てその將來を祝福したい。

創作　編輯局選

（二等入選作は次々頁に掲載してあります）

一等　冬籠日記　新京大經路　庄野ふみ

二等　前夜　新京芙蓉町　鮎川三彌

佳作

羅宕見　新京隆禮路三〇三　東　桂造

移民の子　間島省延吉街大和區　吉川八郎

村木老人の事ども　新京吉野町二ノ一八武富方　新井翠峯

馬車　新京梅ヶ枝町四ノ一四日之出莊五號　簡　豐子

創作選評

描かうとする對象に深く突き込み、それを的確に書き上げるといふ腕の力を見せてゐるのが一等に推した庄野氏の作品である。リアリズムに徹した作品である。それにその題材も特異な生活から明るく堅實な方に立ち向はうとしてゐる女性を扱つてゐるといふ點で喜べた。新京の冬の姿もよく描き出されてゐる。

二等に推した鮎川氏の作品もその冴えた表現でひかつてゐる。題材も滿洲的なものである。

滿洲的なものといへば佳作の四篇も何れもさう言へる。東氏、吉川氏は技巧の稚なさはあつてもその眞摯さが高く評價された。これは良質な萌芽である。さらに精進されることを望みたい。新井氏の作品は獨特のユーモア味があつて好小品と言へやう。簡氏のそれはやはりまじめな作品としてまとまつてゐる。

その他の數篇にも佳作の第二部として紹介したいものがある、何れ紙上に掲載することにしたいと思つてゐる。戯曲も數篇の應募があつたが水準に達してゐないのは殘念だつた。（大内隆雄）

詩　編輯局選

一等　派遣員

新京露月町一丁目十六ノ二　船津正壽

うす雲に粉雪がチラ〳〵と荒れ舞ふ。
六疊の眞中にローソクが一本空罐の上に立てられ、にぶい光をはなつてゐる――。
北支までつひに落延びたと言ふ相棒の息吹きが鼻先で白い湯氣を立てた。
アンペラの上に無造作に足を投げ乍ら一人が言つた――
仕様がないさ、時代の流れだからね。
ウン、そうだ……だが僕は今頃どうしてゐるかなあ。とドングリ眼の若いのが言つた。」
大きい涙滴がポツッと落ち慌てゝ眼をしばたゝいた――
そして、急に笑つて言つた。
明日はまた正太線行だつたなあ。ウンと走つてくれよ。おれ、巧く焚くからなあ。御國の爲めだ、俺あ、かうして元氣で動ける自分が嬉しうてなあ。でもあそこのトンネルと…だけはウンと、すつとばしてくれや。そして鼻水をキユンと吸ふた――。
あゝあそこのトンネルね……と、こちらに來て急に荒木觀をたてた老機關士は言ひ、みる〳〵おびえた形相になつた。
あの組が殺られたのは明日で一週間だつたなあ。と、低い聽きとれない聲で口籠つて言つた……。
トンネルを出てすぐ長い鐵橋もわけなく通りすぎた。
チラッとみえた老機關士の懷中から五寸の刄物が、がん首を出し、横なでに吹きつける雪光をあびてピカリと反射した。

佳作（以下作品は追つて發表）

朝ひらく　新京花園町三ノ一滿炭社宅十四　米盛幸子

國境　新京梅ヶ枝町一丁目一條アパート内栩木方　副島芳雄

短章　新京東三馬路燕春東胡同八號彌榮館十號氣付　杉山伊太郎

世紀の旗風　新京〇〇部隊〇隊　谷克美

戀歌　新京西五馬路四五結城方　佐々木ツヤ子

焦躁　新京梅ヶ枝町四ノ一四日之出莊五號　かん　とよこ

二等　裸木の詩

新京ダイヤ街ダイヤビル六號室東方　高橋よし穂

氷りの樣に冷たく沈んでゐる冬の室――僕が、廢船の樣にこの身を横へてゐる。
室外の梢は銃劍の鋭さに、蒼穹を突き刺してゐる。
木は何時でも雪や風を押し返して
木は自分の根を信頼してゐる
嵐に揺れてゐる木をポツネンと見てゐると、ともすれば中心を失ひ勝ちな
人間の心になにか親しく呼びかけてゐる樣だ。なにか無言の暗示を示してゐる樣だ。
人間が限られた空に向つて泣き續け、追つてもおつても到達かぬ距離を嘆き、日毎絶間ない風雨に慄へながらも空を摑まうとする屋根草の仕草を眞似て、生業に疲れる時、
木は到達かぬ距離を目當に胸を張つて空を支へ決して影を見樣とはしない。
ともすれば、すきまだらけの心から
すべり落ち樣とする私の生命は
何時も冷たい默示を續けてゐる木に
刺れては覺め、眠つては刺れた。
木は全く私達と同じだ
木は裸體で生れて裸體で死ぬ
ふればぼう〳〵と崩れる砂丘の砂に誘はれ、日毎崩れ行く頭腦よ、思想よ生活よ、私は、いつになつても變る事の出來ないこの位置と――宿命とに古い食パンの樣に崩れて行くものを感じながら
木の下に來ては今日の生活を思ひ
木の梢を仰いで何時も靜かに歸る。

三等　南嶺

新京豐樂路七〇九春日方月丘巴氣付　竹入勇

數へれば基標は合はせて四十三。
氷の手で、わたしは今その一つひとつに香を供へぐつと熱いものをこらへて立つてゐる。」
南嶺！　南嶺！　波狀の原よ、
兄たちは此處を身をもつて攻め
魂をもつて占領した。
墓は小さくとも
凍結した土はいかに固くとも
その下から、脈々とわたしの胸に流れこむ精氣こそ
あゝ勇士――卿たちの血潮でなくて何んであらう」。
ちゝいろの丘陵を脫ぎすてゝ
強く眞つ赫におどり上る旭日よ。
新年がくる。
やがてこの新京にも新しい年が！
混濁の懷疑、それは玄海灘を渡る船のデッキから捨てゝ來たのだ。
新しい土に、新しい歲を迎へるわたしの新しい魂魄が
燃える太陽に掌を合はせ
涙をのんでの嚴かな誓約こそ
おゝ、勇士たち
おん身等の靈の上に、堅固いかたいこの骨肉を組みたてることだ。

短歌　三井實雄選

一等　吉林省土木廳　深川平治

心つねに雄猛くあれやつゝしみて召さるゝ日ぞ待つ軍人われは

二等　新京櫻木校　三上清松

心なく過ぎゆき難し此の家にも日の丸立てゝ明るき醒す（出征兵士の家）

同　新京吉野町二ノ二六峯長春堂　峰文子

すゞかけの兵舎の庭に君訪ひてまたも逢ひがたき思ひするかな

三等　新潟縣岩船郡岩船町　比良智浩二

命ありて今日歸り來しつはものゝ國境の話多くは語らず

同　新京崇智路聚合住宅六十三號　鈴木欣子

便りあり二寸のひげに風吹きて遡江部隊に春來るらし

同　拉濱線新站〇〇部隊　雪野春洋

とろ〳〵と燃ゆる焚火の火明にふるさとの便り讀む戰友は

佳作

宮城縣仙台市錦町一　三井潤

出征の標札ありてひそかなる家のかたへの赤き山茶花

大分市生石町金谷橋　木本夜潮

今宵見は北支のいづちにあらむかと年とりの飯を食べつゝおもふ

岡山縣井原町　紺實一

從軍記讀む元日の靜さや妹の活けたる梅薫りつゝ

東京市瀧野川區中里町一二七雙葉莊西岡安方　本郷富士夫

果知らに國戰へど有難や今朝の初日を穩しく仰ぐ

新京崇智胡同一一〇　伊藤已酉太

小休止遠き祖國の幼子の健かなれとしばし默しぬ

海倫縣城滿拓建設事務所内　櫛木青芳

男の子みな滿支にありぬ老父母のさびしき春を思ひつゝをり

兵庫縣赤穗郡赤松村旭日　金澤一葉

枯山の雜木が間に解殘りし雪に染みつゝ日は落むとす

新京崇智路四〇六　高月文代

うつすらと化粧へる朝は仕事着の襟元すこしつきてみるかも

東京市澁谷區代々木上原町一二八五小田急アパート三十一號室　中村錦子

春かへる今朝の光に移民等は戸毎に高く日の丸を立つ

福岡市春吉町新屋二三三　今任たつを

戰勝の年の始の松風はしづかに耳にかなひて聞ゆ

選後言

三井實雄

募集期間が短時日であつたにも拘らず、百餘名歌數にして三百首の應募があつたことは好成績である。新京日日が常にこの學藝欄の充實發展に努力せらるゝ賜物である。

作品の內容に就て言ふと入選作、佳作を除くとその多くが餘りに低調でそして單俗なるが嘆ぜられた。氣まぐれに投稿してみやうと言ふ遊びが相當に演ぜられてゐる。此の遊びを必ずしも全面的に排擊はせぬが（下品な遊びよりも上等であると言ふ意味に於て）然し此の遊びをしてより文學的なものに近づけるものでなくては兒戲に等しいのである。短歌文學は、文學の根源をなす輝やかしいものでなくてはならぬ。めそ〳〵と悲しんでみたり甘つたれたりしてみても、それはそれだけの話である。短歌文學には日本精神が如何なる場合でも沈潛されてゐなくてはならぬ。そして毅然とした態度を持續せねばならぬ。

入選作は何れも水準以上のものである。一等の深川氏は老巧でもあり確實で危ぶな氣が無い格調も良い。但し此の作と雖も最上級のものとは言へないのである。何故かならば此の作は作者の感情抑壓が不足してをる、その具體化されたものが「あれや」の「や」であり「日ぞ待つ」の「ぞ」である。要するに「詩が荒れてゐる」とみらるゝ。

三上氏作は、これに今少し「汲み切れぬ泉」と言ふか「張り」と言ふか、それがあつたなら第一位を爭そつたであらうと思はれる。しかし短歌は「漸く作れ」と初心者に敎へて居る。

峯氏作はほの〴〵とした味ひを湛へてゐる「すゞかけの」の冠詞が氣にかゝらぬでもないが、その一句が情緒的に役立つてもゐるので此の儘で良からう。「またと」とやり易い所を「またも」と張つたところは凡庸でない。

比良氏は感情をぐつと喰ひとめた點、鈴來氏は輕妙なスタイル、雪野氏は巧まぬ眞實が何れも入選圈內へ進出した。

佳作の部に於ては日本內地側の三井、木本、紺實、本郷金澤、中村氏に占められた、何れも手馴れてゐるのである。此の人々は何首作らしても之に劣るものは作らないであらう。

以上で短評を終る。尙入選作及び佳作以外の作品には順位をつけてないから其のつもりで鑑賞していたゞきたい。

俳句　三木朱城選

一等　吉林敷島街一二　福島久枝

ぬかづけば響ゆるゝ初詣

二等　長崎縣佐世保市大黑町四〇一　中尾通宏

初風や瀬一ぱいのいくさぶね

同　新京隆禮胡同三〇七　三好柳士

日滿の旗日明るし初こよみ

三等　福岡市外那珂村筵原一三三土田敏子方　木下凉太郎

日の丸によき日つゞきぬ三ヶ日

同　新京〇〇部隊〇隊　谷克美

軍籍にある喜びの雜煮哉

同　靜岡縣濱松市東土戸町舊市場通り　久保田喜市

妻の夜となりて靜かに賀狀攫る

勅題『朝陽映島』

謹詠　加藤金保

うながらの雲のはてより出づる陽にかゞやき見ゆる沖ッ島山
✕
鐘の音にしらみ初行く清見潟朝陽に輝やく沖の島々
✕
庵原の清見ヶ崎に朝晴れて三保の島々陽にうかみ見ゆ
✕
大海の嶋といふ嶋くまもなく大八洲國より朝陽はのぼる
✕
松浦潟島も晴れて遠々の唐土までも朝陽さすらむ

佳作

福岡市春吉前新屋二三二　今村龍雄

風の子に遠き雪嶺を日はゆけり

新京興安大路宮下陸軍官舍り號三　名塚好兒

參賀の駒陽にうたせくる大廣場

岐阜市長良雄總二五〇　辻治夫

夜の風にラヂオが鳴れる獄かるた

新京梅ヶ枝町一丁目一條アパート五〇號栩木方　副島靜江

初刷の支那地圖壁に春朗ら

新京興安通二六松尾齒科醫院　梅林朗容

初明り波の穩歡光りて來

川柳　編輯局選

一等　岐阜市高野町三丁目杉本方　小川久義

國策の音からころと初詣

二等　東京市淺草區花崎町二ノ一三中村アパート七號室　大森淳二

子の歲を數へてひそかな妻の幸

同　敎化縣城東門街　森山桃太郎

牛を追ふ鞭開拓の意氣に鳴る

三等　新京和泉町黑水寮二三三二號　小垣文雄

永い日を目かくし馬も長期戰

同　吉林省農安縣城西街　宗二葉

新天地瞼のにじむ今朝の旗

同　新京富士町二ノ一五　清水谷春夢

門松の淋しさに知るたのもしさ

佳作

東京市葛飾區小菅町八〇一　吉田博

進軍の如く移民は果てへ發ち

仙台市米ヶ袋中坂通七　小松有朗

軍服になれと毛糸の屑を賣り

新京昌平街一〇一　福永幸子

捕虜となりやつと安堵の支那の兵

新京北安路市營住宅一〇二　河野鬼策

心臟をづぶりと縫ふが得意なり

新京崇智路聚合住宅六三號　鈴木草女

顏色を見ては吳服屋又ひろげ

謹賀新春　併祈皇軍武運長久

五日會（イロハ順）

日滿商事株式會社
滿洲房產株式會社
東邊道開發株式會社
滿洲畜產株式會社
滿洲圖書株式會社
滿洲中央銀行
新京特別市中央卸賣市場株式會社
滿洲林業株式會社
鴨綠江水力發電株式會社
滿洲瓦斯株式會社新京支店
滿洲火災保險株式會社
滿洲炭礦株式會社
滿洲煙草株式會社
大興公司
滿洲曹達株式會社
滿洲拓植公社
滿洲計器株式會社
滿蒙毛織株式會社新京出張所
新京交通株式會社
國際運輸株式會社新京支店
滿洲航空株式會社
滿洲鑛業開發株式會社
滿洲興業銀行
滿洲鑛山株式會社
滿洲合成燃料株式會社
滿洲鹽業株式會社
滿洲映畫協會
滿洲電信電話株式會社
滿洲電業株式會社
滿洲採金株式會社
滿洲重工業株式會社
滿洲石油株式會社
滿鮮拓植株式會社
滿洲生命保險株式會社

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

大陸の龍宮
ミス東洋
新京南廣場
電話③三八二八番 五八二〇番

松竹
新京三笠町二丁目九
電話③五七三五番

カフエー大新京
新京富士町三丁目三
電話③三四五六番

大新京料理店組合
外組合員一同
新京吉野町一丁目二一
電話③三〇一八番

カフエー精養軒

料亭千鳥

明けましてお目出度う御座います
本年もどうぞ宜しく

喫茶と酒場
トイペイト

割烹
邯鄲
新京豊樂路六一二
電話③二八八七番

喫茶
ドリアン
東一條通り九
電話(三)六九三八番

喫茶と御食事
プリンス
吉野町三丁目(長春座前)
電話(三)六六〇八番

バーブーケー
小林光子
外一同
豐樂路(豐劇裏)
電話(2)五六八八番

バーアロマ
新京豐樂路
電話(2)二四七二番

喫茶と御食事
ミユージック
新京日本橋通り(南廣場)
電話(三)二八八〇番

南新京料理店組合

新京料理店組合
新京東五馬路三十九號地
電話(2)一七四七番

割烹
活洲
祝町二丁目四ノ四
電話(3)三一五六番

うな新
祝町三丁目青陽ビル
電話(3)三三四五番

あづますし
三笠町三丁目四
電話(3)二八一〇番 五七七五番

鍋の店
魚力
祝町三丁目青陽ビル
電話(3)六八〇五番

一二食堂
新京東二條通り七〇
電話(3)六一四四番

會賓樓
祝町四丁目一〇
電話(三)二七二二番

白十字喫茶店
新京祝町三丁目
電話(3)六二三八番

御料理
生そば
丸善
新京南廣場(興銀前)
電話(三)三二二四番

扇芳亭直營
扇芳グリル
新京ダイヤ街
電話(三)五二九〇番

ニユーアジアホテル
新京驛前日本橋通り二四
電話(三)二八四〇番

新京飲食店組合
新京祝町二丁目一四
電話(3)三六五六番

皆様の社交ルーム
サロン日輪
新京吉野町四丁目(公會堂横)
電話(三)二五〇六番

サモワール
新京安達街

メトロポリタン
新京豐樂路四一四
電話(3)二八四三番

サロン春
新京ダイヤ街
電話(3)二六九四番

サロンマルセーユ
新京三笠町三丁目
電話(3)五九二九番

鹿鳴春飯店
新京大馬路
電話 販房 樓上 (2) 一七五二 一八四四番

喫茶と御食事
星ケ丘
新京朝日座前
電話(3)五六五七番

老松グリル
新京ダイヤ街
電話(3)四六九二番

大新京三業組合
新京三笠町三丁目十番地
電話(3)二三九三番 六一八四番

彌生 電(3)五五三八番
永樂 電(3)五七二三番
新杵 電(3)三〇七一番
千草 電(3)二六七七番
曾我廼家 電(3)二五八八番
開花 電(3)二一〇三番
八千代館 電(3)二〇四六番
南海 電(3)二四七五番
東明 電(3)二一三七番
壽 電(3)三九九七番
蓼の家 電(3)二五〇七番
泰東 電(3)二四七四番
豊翠 電(3)三四一一番
住吉 電(3)三一四一番
千鳥 電(3)二〇三八番
玉家 電(3)六四八七番
曙 電(3)二一五四番
水月 電(3)三八三〇番
大吉 電(3)三一五九番
天昇 電(3)四七六一番
五十鈴 電(3)三七一〇番
なきな 電(3)六三七四番
若葉 電(3)五一六〇番

創作一等入選作

冬霧日記

庄野ふみ

（一）

砂塵が中空によどんだかと思はれる黄色く深い朝霧の中を、ヤマトホテル前でバスを降りると、グ、グと海猫のやうな鳥の聲がする。裸かになつた柳の高いあたりで騒いでゐるらしいが、何しろぼうと深い霧で、見やれば光を失つた太陽がどろりと胡粉の赤さだ。花火線香が燃え盡した後の火坊主のやうである。習慣的に停車場の大時計を見ると其處も一樣に黄色くこめてゐる。

何といふ醜い朝であらう。驛前の廣場を横切り乍から、今朝の光の無い風景は宛で今の生活の象徴だと、いゝ加減自分の暗さに痛憤を覺えてゐながら又してもそんな方に考へを逐ひ込みさうになつた。

三圓昇給する事になつたので、自分にだけ解る小さい數字で紙片に計上してみると、零細なあれこれの額を積つて七十五圓六十錢になる。

五時半に圖書館で人を待つ約束があつた。早かつたので新聞の綴りを見てゐると、緬岡日日に甥の勤の自由畫が出てゐた。はじめは解らず、一面に黒つぽい中からによきによき生木の枝のやうなものが數本白く空に向つてゐて、その先に日の丸の小旗が靡へつてゐる。一體何かと眼を擬らすと、あゝ國防婦人會の白い前掛達が片手を擧げてゐるのか、之は白襷かと應召兵の歡送風景であることが判じられた。それが勤の畫であつた。

一年有半背を向けて過ぎて來た砌のつながつた者は、此處の薄暗い電燈の下では薄汚たなくしか見えない活字の名前で、他意なく私をかき寄せようとする。

やがて、うすら寒くひつそりした境の書庫で、私達はいやに高く響く跫音を氣にしながら借り出すべき本を探した。力強く簡潔でリアルな小説が讀みたく、そんな狭い讀書癖のせいか此處に來る度に思案する時間が長くなるやうである。イタリーではアミチスの「クオレ」さへセンチメンタルに過ぎると云つて讀むのを禁じてゐるさうだが、見事に國策の線に沿つた公式的文學がやがて此國の書庫にも氾濫するのであらうかなど思つた。濱川鶴の「龍源寺」を借りることにした。彼は無いんだがねえと云ひ〳〵してゐたが尾崎士郎の新しい隨筆を選んだ。

「これには秋風や何とかの頼りなさなんかは書いてないらしい。」

「冬の宿」の嘉門と呼ばれても仕方がないであらう。日常茶飯事でたとへれば、欠伸の都度、ぶる〳〵小刻みに胴を震はせて、ガッガッと咽喉奥をならす。私が鷄の羽搏きのやうだと嫌がると

「又嘉門か」

と自分から笑つてゐる。彼は痛い所に觸れる深刻な話を怖れて、むしろ嘉門話をよろこんでゐるかに見える。

冷々と霧は街に睾めて昏れた。私のハンドバッグには今日石炭代といつて貰つた五圓が増えてゐる。時には外で食事しようと提言して銀座横丁に入つて行つた。生醉ひの二人連の青年がいやにしつこく見てすれ違つた。

十七年長の彼と歩いて人にじろ〳〵見られると、殊にそれが若い人であつた場合、慘酷な目に逢はされてゞもゐるかのやうに身體中が熱くなり「困つた、困つた」と思ふが極く稀には奇妙にもその慘酷さが小氣味よい。

おでん屋は湯氣をむつとこめて混雜してゐた。先づ手さぐりに空椅子を確め、さて眼鏡の曇りを拭かうとすると、すぐ目の前で女の子の聲が

「あゝ、いらした。私、をばさんを覺えてゐるわ。夏に一度ね。」

「をばさん？」

私もその子を覺えてゐた。目鼻立のはつきりしたはでな丸顔で、形のとゝのはない唇が却つて少女めいてゐ、流行のマーガレットとかいふ型に揚げた髪が嫌味で無く似合ひ可愛いゝと思つた。「寫眞に撮ればいゝ顏だらうね」皮膚が少しざらつぽいやうだが」彼は女の子を見ると何かしら批評めいたことを云ふたちで歪をとりあげながら私にだけ聞えるやうに云つた。

をばさん？、しきりに氣になるが、事實この子達に較べて私は既にう若くない。「これではいけない、早くどうにかしなければ」と絶えず嬲氣のむれ立つ店に坐つてゐると沸き立つものを中にもちながら、曖昧に目を重ね酒の突いたり突きそこねたりして何といふまどろつこしい姿勢

私の右横でぐら〳〵と肘をもう一人の連れと盛んに關西訛で何か喋つてゐた見知らない青年が

「やつぱりあの會社に勤めてゐるの？」

いきなりさう聲を掛けた。

一度見れば覺える顏だとかぐ〳〵呟いてゐた。

歸りの馬車の上で、彼は、會社の名なんど突然云はれて氣の毒したなと慰め顏に云ふのであつたが、その合間も度々、存分に冷い夜氣の中で欠伸をした。

「これでね、けち云ふやうだが女の人と一緒だと金が掛らないんだね。男同志ならあそこだけでをとなしく歸へらんかも知れないし、いや、ほんとにさ。」

馬が兩の前脚を折つてず、すつと滑つた。

（二）

朝に始まつて仕事、夕方、夜と同じ日が續く、毎朝太陽は弱々しく光を惜しみ早々と昏れる。

私はとちとちと急ぎ足に歸りながら即興の節をつけてゐるうちに、こんなもの〻形が殘つた。

＝その家づま故鄕にはたらき、その女また此處に働らく。うつ〳〵と瞼重げに起きがての人を殘して、凍て果てし外面に出れば、あい〳〵と朝靄立ち罩め。曇り空曇りながらに、夕寒く昏き巷を、こつこつとたゞに歩みて、人の許に歸るべき身か。

かけちがつて朝は私が一時間早く家を出、夕方は二時間早く歸つて來る。電燈を點し外套を脱ぎ、大抵空腹だから珈琲を火にかけパンを燒いて窓際に坐つて食事を濟ます。康徳會館の塔のあたりが、騒々しい殘照で映えてゐる日と昏い雪空の日とがある。毎夕幾十幾百の鳥が黒い點々を撒き散らして飛ぶ。聞えないが海猫のやうに鳴いてゐるのであらう。そのあとで市場で買つて來たものを按排して晩酌の仕度をする。

この單調な繰返しの、然し一應安氣で無くはない暮しを強く怖れながら、一方、私はする〳〵と馴染んでゆくかに見える。私の生涯に對して何ら責任を果さうともしない男の爲に、仕事のあと殘された僅かの時間を費してゐる。このやうな慣熟も日に連れて磨滅した刃物のやうに鈍くならないとは限らない。

十時過ぎ銭湯で髪を洗ひ、しやきしやき凍つた前髪を指で梳きながら、白々と月が照る吹曝しの踏段を昇つて來た十二月の月は縮り女の素顏だと誰か云つた。何か知らないが痛い蒼白さである。部屋には彼が硬ばつた口元をいびつに結んでしやきつと坐つてゐた。やゝあつて

「女の人は嫌な氣持でも何でも人と住んでられるもんだね。」

要心無く押入に放つておいた手帳を、何かの拍子に見たのである。私は咄嗟にその戸に寄添ふやうに立ち、中の暗がりを向いてぱら〳〵めくつた。執拗に反噬の言葉が續き五、六枚で止してある。

（嘘でないから、卑屈になつたり困ることはない）と思つたが、やはり困惑した。絶望には遠い困惑であつた。

出來るだけ冷靜に話さうと一人で考へてゐたのだが、あなたも感情でものを云つてはならない。そんなに毎日嫌なのなら別々に住めばよかつたんだ。明日直ぐにといふ譯ににいかないから、心掛けてゐて四疊でも四疊半でもいゝぢやないですか、移つたらどうだらう、決して逐出すわけでないから誤解してはいけない此處を出られると、そりや俺の方だつて殺風景な生活になるけれど仕方無いし、金も今よりは樂でなくなるがそれ位の辛抱は……など運い口で順序立てゝ云ふ顏を見てゐると自分だけ未整理にとり殘されてゐるのがはつきり意識され一日として頭を離れなかつた別れに就て先を打れてはもはや「冷靜」ではゐられなかつた。

「あした歸りに部屋を探すから」

自分の不逞々々しさに澪きながら云つた。

「無茶いつちやいけない。寒いのにそこらをうろ〳〵しても駄目だ。」

昂ぶつてこのやうな物言ひをするのはどぶ泥に顏を突込んだやうな救はれ難い思ひであつた。

味氣ない空氣の部屋に、錢湯の番台の電話で頼んでおいた按摩が入つて來た。

「もう癖になつたんだらうかね。そこらが凝るのは。」

えゝ、やはりどうも。腰の痛むのは癇氣でございませうと、身繕ひの淸潔な控へ目らしいその男は叮嚀に應じた。今は「嘉門」の面をかなぐり捨てゝ默つて彼は揉ませてゐた。

按摩など賴んで、そんな贅澤しても構はないかな、と、賴む前に頻りに氣を兼ねてゐたが、そのやうな言葉に私は彼の年齢を嚙みしめて、感じてゐた。身體にも錆が入る年輩になつてゐたゝめだ。その按摩は勘が良いといつて彼は名刺を置かせてゐた。

（三）

吹曝しの辻でバスを待つてゐると、朝度々一緒になる朝鮮の少女が鼻をまつかにして木綿の唐草模様の風呂敷包みが、ずり落ちさうになるのを腋の下に掻い込み掻い込みしてゐた。

「なか〳〵來ないのね。」

寒さは寒しこんな所在無さは遣切れないので言葉をかけると、

「えゝ。おねえさんは何處に行くのですか。」

ゆつくりさう云つた。

「私？お仕事よ。あなたは？」

「未だ生徒です。寬城子迄行きます。」

今朝は珍らしく晴れた。路面の雪は陽にまぶしく、眞直ぐに仰げば濁々と濃い蒼空をビルの稜線がすつきり截つてゐる。それにしても何といふ自然の暴虐さだ。

これまで、今の今も然うであるが、勤め先で私の住居に就いて何か訊かれるのは、痛い所を突つかれる思ひでゐた例へば一日いくらの部屋に居るんです、新京は家賃が高いからなか〳〵殘らないでせうなど。自分で家賃拂ふ譯でないからいゝんです。大抵決まつた、然し曖昧な返事で濁すよりほかは無く、はれやらない事の一つであつた。けふ又人が心配して、向ふ一ヶ年の契約を家主と交して現物を給與してあげてもいゝと言ひ出した。正面切つてその親切を受ける權利が私にある筈なく躊らむ思ひであつた。

その申出を受ければ、大體豫想出來るのは、又一年間は勤勉な事務員の生活をするだらうといふことである。然しその他に素晴らしい何が私の將來に見込されるであらう。

小ぢんまりと私は私なりの住居を探して住むことは、どの意味からも悪い筈はない。

今日それが具體化しようといふ偶然さを有難いと思はなければなるまい。

私といふ人間は、積極的に行動する活々しさを缺いて、大抵は他から强ひられたり踏出しを付けられたりして大人になつて來た。別れようとする場合、一つでも打込まれる楔の多い方が私は結句助かるのである。

はじめ、仕事を持つことも自分の意志からではなく、働けば良からうにと口にこそ出さないが〈女の人は、よく何もしないで遊んでゐられるんだね〉とか遠廻しに仄めかされては居坐りの好からう筈はなかつた。まだそれはアメリカ映畫が輸入禁止にならない頃で、通俗な「坐り込み結婚」とかいふのを觀に行けば〈誰かのやうだ〉など云ひ、其頃は私は今よりは英邁であつたのだらう、斯うして生涯にかけた希望を放擲して傍に居るだけでは充りないのか、女を働かせつけた人はこれだからいやだと他人のよそ〳〵しさに臍甲斐なく泪を溜めて、見たくもない映畫を呆やり眺めてゐた。

勤めて半年、一年と經つ中に、自分には宛るで向かない經理の仕事には相變らず氣骨が折れたが、身體が勤めに耐えない程脆弱では無いことに自信をもち始め、出所の解らない微熱にくよ〳〵しなくなつた。それこそ「無秩序な精神を宿すからだの重み」で熱は出るのかも知れないと單純に思へてきた。女を働らかせれば安上りでよからう、とそんな汚い怨み言もあらかた忘れた。

この次は住居のことである裡に、意志する力が芽吹き、强靱に育つことを念ふのは愉しい。序々に脱皮し變貌する自分の姿が落着いて客觀視され、他人事のやうな興味さへ感じられる。それに拍手をおくらう。

例によつて長い午後の、退け時近く私に電話がかゝつた

「さつきも掛けたんだが、席に居なかつたんですか。家など探さずに眞直ぐかへつて來なさい。ぢやあ。」

一本調子に、それだけで切れた。

昏れかけた街は歳末賣出しの廣告で飾り立てられ、ちんどん屋の白粉の剝げた顏を見るやうなかなしい滑稽さを漂よはせてゐた。

鮪でもと思つて市場の地階に下りた。別れる男の食事の心配をするなど因循な溫情かも知れない。

場所柄意外な四道さんに逢つた。

「颯爽としてゐるぢやありませんか。此頃腕君の話では働いてるんですつてね。何處？偉いなあ」

四道さんは如何にもヂャーナリストらしく、おだてるやうな挨拶をするのだが、私は世帶臭さうに鮪の濕つた新聞包みをぶら提げてゐた。

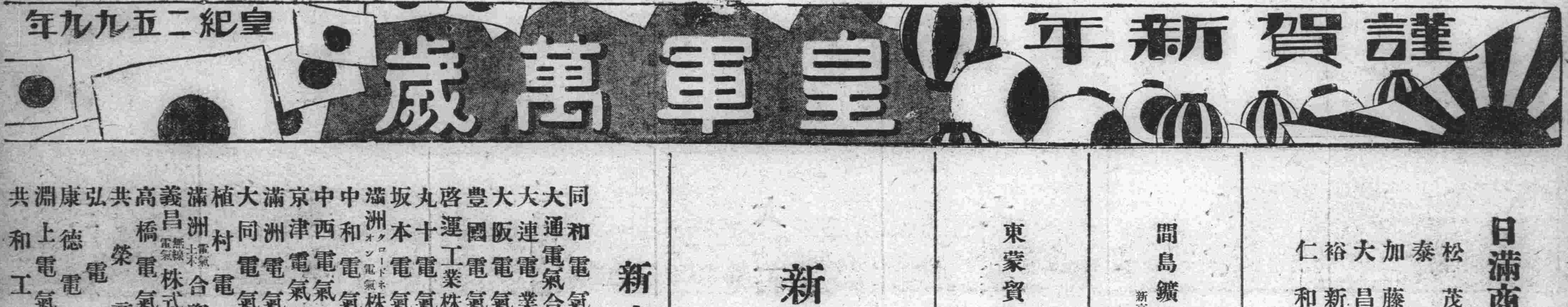
手足が痛い程に凍えて、術角の空いてゐさうな喫茶の店に入つた。

通りに面した窓際のラヂエイターの傍に腰掛けると、窓掛の下一尺ほどの硝子越しにうす黒く凍てついた路面を、慌しくすれ違ふ人や馬車の脚だけが見える。雪はキロキロ危ぶなげに光つて、あのやうに小急ぎに足摺りする女の足袋や驅ける馬の脚や車輪を見てゐると視神經が不安になつてしまふ。映畫を觀てゐて、カメラが人の足とか車輪の動きだけを熱心に捕へると、それが十秒も續けば焦々するのは「もつと全體を全體を」といふ之と同樣な不安なのであらう。愉快なものではないなど思つてゐた。

いつとなく別な思案を逐ひはじめた。

昨夜など鬢に白いものが大分目立つてゐたが、今夜は髮を染める藥をぬらなければなるまい。のどの皮膚がたるんで小皺がやゝ増したあたり、初老の頃の父に感じた氣持の記憶に近い肉親的のものでさへある。年齢から云へば衰へるのは未だ〳〵であらうに、見かけより蕊が弱いのであらうか。

別れるといつて、何も厭しいものを指先から離す風な別れ方はすまい。今になつてみれば、私を去年小一年も遊ばせて飼つて臭れた事は、彼の側からすれば並々ならぬ寬容な心盡しだつたかも知れないのだ。（未完）



日滿商事會社指定販賣店
松茂洋行　泰利號　加藤洋行　大昌煤局　裕新公司　仁和洋行
泰山行　新泰洋行　康昇號
西安大路 第一販賣所
四馬路 第二販賣所

間島鑛業株式會社
新京市大同大街東京海上ビル 電話(2)四六〇一番

東蒙貿易株式會社
新京特別市興安大路 電話(3)二〇八〇番

文古堂印房
新京東一條通三〇 電話(3)三一四五番 四一九七番

新京旅館組合

新京電氣工事組合 （順序不同）
同和電氣商會 肥後俊武 吉野町一丁目十六 電(3)六七七五番
大通電氣合資會社 田村正夫 豐樂路一三三號 電(2)二八五二番
大連電業公司 西山泰清 八島通四〇 電(3)四三五一番
大阪電氣商會 友枝辰雄 昌平街六一二 電(2)四八六一番
豐國電氣商會 小林金六 興安大路三〇八 電(2)一九〇一番
啓運工業株式會社 大堀庫次 長春大街三四 電(2)三一三三番
丸十電氣商會 笠原吉次 朝日通四九 電(3)四七五六番
坂本電氣商會 坂本惠二 吉野町一丁目 電(3)四七二八番
滿洲クロードネオン電氣株式會社 多田坦 祝町二丁目二五ノ四 電(3)五九二二番
中和電氣商會 鈴木次郎 吉野町二丁目一八 電(3)三三六一番
中西電氣商會 中西忠兵衞 特別市豐樂路一二六 電(2)三九九一三番
京津電氣公司 鷲田小平次 三笠町三丁目一一 電(3)二三三五番
滿洲電氣商會 富田傳 日本橋通四九ノ一 電(3)三七九六番
大同電氣商會 福原龜雄 八島通二九 電(3)五八四九番
植村電業社 植村輝雄 清和胡同四A 電(2)五二三〇八番
滿洲電氣土木合資會社 籠谷保 朝日通一七 電(3)二七一一番
義昌無線電氣株式會社 高山常五郎 興安大路一〇 電(2)一五一五番
高橋電氣商會 高橋榮次 梅ケ枝町四丁目二 電(3)三三三三番
共榮商會 平野淳 中央通五〇 電(3)三九三三番
弘電社 市橋關太郎 三笠町四丁目一七 電(3)三四五二番
康德電業社 松井善助 千鳥町一丁目七 電(3)二三七二番
淵上電氣商會 淵上高市 永樂町三丁目二〇 電(3)三八七七番
共和工業所 平川兩市 大經路八三 電(2)一二四四番

謹賀新年

皇軍萬歳

皇紀二五九九年

ニッケギャラリー

證券實物 入江商店
新京東二條通二七
電話（3）四七八〇番 六六八六番

甘栗太郎
新京銀座
電話（3）二八八七番 三七七八番

三井物産株式會社
新京支店

公債株式現物問屋
畑園太商店
新京中央通二十一番地
電話長（3）二三四九番 六一六五番

公債株式 新京証券
新京朝日通八三番地
電話（3）六三五三番

南滿洲鐵道株式會社
新京支社

新京土木建築材料商組合

新京洋服商組合

松清洋行
新京吉野町二丁目二〇
電話（3）六四三六番

大連製氷株式會社
新京支店
新京吉野町六丁目三
電話（3）二七八六番

日滿百貨店
新京日本橋通八五
電話（3）三一六一番 四八七六番

株式會社 大信洋行新京支店
新京日本橋通り八三

新京藥業組合

大丸樂器店
新京曙町二丁目三一
電話（3）二一〇四番

百貨 金泰
新京日本橋通り
電話代表（3）六六一一番

洋酒煙草和洋菓子 ヤマト屋
新京中央通一三
電話（3）五九八七番

公債株式 大一証券
本店 興安大路四一四 電話（2）長三一六五番 三〇〇四番
支店 吉野町一丁目 電話（3）五六〇四番

大阪屋製菓所
興安大路
電話（2）二七五七番 一七九二番

大阪屋支店
宮下代用官舎
電話（3）一七五四番

三好野
メイヤ街
電話（3）三四三四番 四八八四番

品川洋行支店
新京日本橋通り五九
電話（3）三〇六二番

金物世帯道具 三和洋行
新京南廣場
電話（3）五九五七番

新京製材所
高砂町二丁目八
電話（3）六六七七番

石川酒造本店
新京吉野町五丁目八

大石茶舗
祝町太子堂前
電話（3）六四二七番

大森醫院
新京メイヤ街
電話（3）四七四三番

みどり茶園
吉野町一丁目
電話（3）四七七〇番

乾寫眞機店
新京吉野町一丁目
電話（3）二三九〇番

滿洲國官吏消費組合

銅版凸版 北澤寫眞製版所
新京曙町四丁目九
電話③四一二四番

滿洲國取引所仲買人
振興洋行新京支店
三宅正夫
新京朝日通り八一
電話③三一〇四番

吉川組新京支店
新京老松町二〇
電話③二三一二・六五九四・四〇七三 六七六八・六九五二

鞍山建材株式會社
新京出張所
新京朝日通六三
電話長③三八三二 三〇六四番

合名會社 近澤洋行新京支店
新京豐樂路三〇
電話②二四九六・三六三四 三三七八・六四四二
本店 哈爾賓電車街
支店 牡丹江昇平街

新京日日新聞 其の四

けふの番組

【ＭＴＣＹ 新京放送局 一月一日 日曜日】

※朝※

一、〇〇 皇軍戰捷歲旦祈願祭實況＝新京神社より中繼＝アナウンサー 田中七郎
七、五〇（安東）初鶯
八、〇五（大連）御城之初日の出を拜す＝旅順關東神宮御造營地より中繼＝アナウンサー 小高芳雄
八、二〇（大連）入港船のお知らせ
八、三〇 新年奉祝の時間 新京音樂協會合唱部員 ピアノ伴奏 網代榮三 指揮 細田透
八、四〇 年頭の辭 滿洲電信電話株式會社總裁 廣瀨壽助
八、五〇 年頭の御挨拶 新京中央放送局長 道滿謙吾
九、〇〇 氣象通報
一〇、一〇（東京）謠曲 勅題 朝陽映島 竹生島 引續き

※晝※

尺八合奏と新日本音樂
一一、五九（東京）時報
〇、〇〇 ニュース
〇、三〇（奉天）詩吟 藤井芳洲
一、迎新年 大槻雲外作
二、露營の歌 本宮三香作
三、正氣歌 廣瀨武夫作
一、一五（名古屋）万才 北川幸太郎社中
一、四〇（東京）御殿萬才 三曲萬才（お駒才三白木屋の段）
一、四〇（東京）琵琶 鉢の木 小田錦蛙・作
二、一〇（東京）太神樂 榎本芝水 おかめとどんつく 丸一鏡味小仙一座
二、四〇（東京）但（新京）ニュース・氣象通報

※夜※

六、〇〇（東京）子供の時間 ラヂオ歌繪卷 日本三大お伽 桃太郎 斷（一）
六、二五（東京）講演 アタゴ子供會

七、〇〇（東京）ニュース・告知事項・今晩の番組 新しき日本の姿 永田秀次郎
七、三〇（東京）交聲曲 朝日さす島の曲
第一樂章 あめつち
第二樂章 大八洲
第三樂章 建設の路
獨唱 四谷文子
合唱 ヴォーカルフォア 合唱團
箏 宮城道雄
管絃樂 日本放送交響樂團
指揮 山本直忠
八、〇〇（東京）講談 和田平と度々平 大島伯鶴
八、三〇（東京）長唄 鶴龜
唄 松永和風
同 松永和三郎
同 松永和兵衛
三味線 杵屋勝太郎
同 芳村孝次郎
上調子 杵屋勝吉治
鳴物 連中
八、五〇（東京）國史劇 飛鳥の御代 池田大伍・作
配役
秦の小將 松本幸四郎
隋の使者裴世清 澤村訥子
漆部小阪 市川八百藏
小野妹子 市川染五郎
百濟僧惠慈 市川左升
學者覺哥 市川荒次郎
朗讀 松本高麗五郎
船長 松本錦四郎
老人 松本幸三郎
道ゆく女 松本武藏
從者 松本桃四郎
物部守屋娘 片岡仁左衞門
頌神合唱 若葉合唱團
伴奏 東京放送管絃樂團
作曲並音樂指揮 伊藤昇
九、三九（東京）時報、ニュース 氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間
アナウンサー上森、池谷 荒井

二日プロ（月曜日）

◉朝◉

七、五〇（安東）初春小鳥の鳴聲
八、二〇（大連）入港船のお知らせ
八、二五（大連）朝の音樂
九、〇〇 氣象通報
一一、五九（東京）時報

◉晝◉

〇、〇一 晝の演藝 琵琶合奏 五條橋 泉旭春 大竹旭紅 山下旭稻
〇、三〇（東京）ニュース
一、〇〇 ひき初め
二、〇〇（哈爾濱）狂言 一、純根草 二、狂言小謠 飄の神
二、三〇（東京）ラヂオ風景 農村初春風景
四、〇〇（東京）ニュース（新京）氣象通報

◉夜◉

六、〇〇（東京）子供の時間 日本三大お伽 斷（二） 舌切雀 アタゴ子供會
六、二五（奉天）趣味講演 子供と正月 石川七五三二
七、〇〇（東京）ニュース 告知事項、今晩の番組
七、三〇（大阪）童謠組曲 光は東より
七、五〇（大阪）清元 再春菘種蒔（種蒔三葉草）
八、二〇 落語（東京）うどんや 柳家小さん（大阪）御慶 三遊亭圓馬
九、〇〇（大阪）浪花節 乃木將軍二〇三高地占領 宮川松安
九、三九（東京）時報、ニュース、氣象通報、告知事項 明日の番組
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間

初放送を飾る人々

寫眞上段長唄の右から順に杵屋十平、杵屋勢七郎、稀音家和桃世、杵屋十松さん、その下右上から尺八合奏の山本綾山、橋口庶山、平井恭山、關川對山、秋元陰山、新宅伍山、渡上廟山、鹽田幾子、鹽田芦風、山下無風さん、箏曲の河崎雅榮、小松雅蓉、井上起童、菊水秀芳、三谷操錦さん、琵琶合奏の泉旭春、大竹旭紅、山下旭稻さん

尺八合奏と新日本音樂

【一日午前十時十分謠曲に引き續いて】

一部 山本綾山
同 橋口庶山
同 平井恭山
同 關川對山
二部 秋元陰山
同 新宅伍山
同 渡上廟山

一、八千代（中尾都山作曲）
解說＝二部合奏曲、祝賀の意をこめ潑溂と將來を祝福し八千代を祝ふ想ひあり

二、青海波（中尾都山作曲）
解說＝日露戰役旅順港口閉塞の壯擧を謳ひし曲、最初に於て青海原の雄大なる表現を試み次で騎聲部に入り夜襲の潛行氣分を現はし續いて二部合調を以て戰鬪の酣なる形容をなし最後に國歌君が代を以て結ぶ豪壯爽快なる曲なり

三、新日本音樂「百千鳥」上田芳憧作曲
箏 鹽田幾子
尺八 鹽田芦風
春の訪れを箏の獨奏にて始め、ついで春陽麗かなる氣分を合奏し群鳥の囀りに遠く馬子歌を聞きつゝ人皆春に醉ふ氣分を現したるものなり

四、尺八合奏「軍國歌行進曲」柴田光童編曲
一部 鹽田芦風
二部 山下無風
行進の氣分、出征の歌、進軍歌、戰友、銃後子守唄、夢

箏曲「摘草」菊原檢校作曲

さめて露營の歌にて終曲す

【二日午後一時より】

箏本手 河崎雅榮
替手 小松雅蓉
尺八 井上起童

「歌詞」長閑さや雲雀も歌ふ獅生空、菫たんぽゝ菜の花にひらりひらりと蝶の舞ふ、袖も輕げや乙子の心土筆も愛らしく、待つ小鳥にもひとたばの家づとにせんはこべ草、もめ菜五形もとりに籠に滿ちけり春の色八相つぐる小川邊や棚引わたる夕霞樂しさあかぬ野邊の摘草

「新巢籠」「松の壽」

箏 菊水秀芳
三絃 三谷操錦

千歲經る、松の壽き緣なる、

長唄「新曲浦島」

【同箏曲に次いで】

唄 杵屋十平
三味線 杵屋勢七郎
唄 稀音家和桃世
三味線 杵屋十松

こけは蒸すとや色變へぬ、操直ぐなる若竹や、雪の重みは未だ知らず、知らぬ薬紫へ行く梅も、昔生れは浪花津に、多籠して咲くうちに鶯の來て春を告げ、花の鏡となる水に龜ぞ浮かびて君が代を、久しかれとぞ祈り舞ふ、鶴も群れ居て遊ぶなり

「解說」この曲は在原當が作曲した上方唄を箏に仕立てたもので、曲名は初めの句から取つたのであるが內容は松竹梅に鶴龜を配して各々芽出度い麗句を列らねたもので、生田流の手事として今尚流行してゐる

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

在滿洲國
大日本帝國大使館

新京國產自動車株式會社
取締役社長 吉本滿重

滿洲電氣土木合資會社
籠谷保

天理教滿洲傳道廳
植田五郎

滿洲農業團體 中央會新京支部
支部長 北川富雄
新京中央通

兒玉繁太郎
新京曙町三丁目十八

帝國海上火災保險株式會社
新京支店

社團法人 滿洲製粉聯合會
理事長 岸信介

長春窯業株式會社
新京吉野町一丁目

三菱海上火災保險株式會社
新京支店

富士電機工廠新京出張所
新京大同大街上海ビル

東光書苑
新京豐樂路二一一
電2五 四四・五二四一番

新京商工公會

新京市立醫院
新京特別市自疆街

滿洲電信電話株式會社
新京管理局

滿洲國通信社
滿洲國新京中央通り
電話代表③四三一一

三菱商事株式會社新京支店
新京特別市大同大街康德會館內

印刷用インキ及材料機械
大日本インキ製造株式會社
新京出張所
新京大經路二一一三
電話③三三八六番

大同印刷所
新京豐順街三一四
電話②二五二四六二八六番

滿洲共同セメント株式會社

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

在新京日本總領事館

新滿社 荒川衛次郎

エビス 片山成紀
室町二丁目鶴殿ビル裏側 電話（3）四五二〇番

金華寮 石井亥之吉

泰信無盡株式會社 專務取締役 辻馨

新京ヤマトホテル 川原久一郎

新京官營取引所信託株式會社 專務取締役 山下善代

盛倉商店 荒木伸之
三笠町三ノ一四 電話（三）三八八九番

辯護士 別役増吉
新京朝日通り二五 電話（三）二八八五番

鳳三堂
室町二丁目二五 電話（3）四三二三番

大毎舍新聞舗
新京中央通五〇 電話（3）二〇二七・三〇二三番

滿喜屋呉服店
新京ダイヤ街 電話（3）六六五六番

新京洗染同業組合

滿鐵新京醫院

都ホテル
新京朝日通六一 電話（三）四八三七・六一六一番

和洋百貨 赤木洋行
三笠町三丁目二 電話（三）二二七三・六九三三番

内外果實 カネリ洋行
新京ダイヤ街 電話（三）五三九二番

和洋紙印刷 北原紙店
日本橋通四八 電話代表3二一四一番

丸榮ふとん店 白瀧秀彌
ダイヤ街 電話（三）四九四四番

大阪商船株式會社
大連、新京、奉天、哈爾濱

三好野
吉野町 電話（3）二四九八・六〇〇八番

松茂洋行
東二條通三 電話（3）二〇四二番

金物商 西脇洋行
新京三笠町二丁目六 電話（3）二二四〇番

タケヤ靴店
新京三笠町二丁目 電話（3）五二三六番

みしまや呉服店
新京日本橋通り 電話（3）二五三五番

加藤洋行新京支店
日本橋通二五 電話（3）二〇三二・五三八八番

時計貴金屬寶飾品商 岩間商會寶石部
新京中央通 電話（3）三〇四七・六四二六番

日滿理容術營業組合

加藤造花店 加藤葬儀社
新京八島通三〇 電話（3）三一〇八・三五九一番

青葉
三笠町二ノ八 電話（3）二九四二・五一六〇番

軍艦食器 アルミニューム食器 銅眞鍮食器 西洋ストーブ 冷藏庫 製造卸問屋
關東軍指定製作者 北滿洋行 主 上川廣三郎
新京特別市大經路九九號 深町病院前 電話（2）二七九六番

福信金融建物株式會社
東二條通り三四 電話（三）二五八九・五二六八番

時計貴金屬蓄音機器寫眞機 合名會社 森洋行
新京中央通四八 電話長（三）三八七三番

代理貿易一般印刷 三友社
新京永樂町三ノ二六 電話（三）三四三八番

新京綿糸布商組合

新京齒科醫師會

京都旅館
新京永樂町三丁目 電話長（3）三六八九番 （3）六三四四番

建設業 丸一公司
新京永樂町三丁目三一 電話（三）三八四三番

康生醫院
本院 特別市三笠町三ノ二七 電話（三）二二九四番
分院 特別市東門路一〇七（歡樂地）

内田クリーニング商會
新京東三條通

綠醫院
新京特別市長春大街三〇二 電話（2）五一〇二・五〇二一番

大熊醫科器械店 新京支店
新京興安大路三〇二 電話（2）一二四五番

中京軒
新京東三條通

滿洲ペイント株式會社 新京支店
新京長春大街二一〇 電話長（2）三一六九番

興安病院

松田テント商行
新京長春大街三〇四 電話（2）一五八七番

杉田印刷所
新京長春大街 電話（2）三八〇八番

熱河鑛山株式會社

滿蒙ホテル
中央通二五 電話（三）三五一一番

旭ホテル 旭食堂
新京驛前 電話（三）二七四六・二七七八番

中央ホテル
中央通五四 電話代表3四一一一番

勝又洋服店
中央通五二 電話（3）三四二五番

菅沼タイプライター滿洲直賣所
新京新發路一〇五號 電話長（2）四四五二・四四五三番

公債株式 泰正號
祝町三ノ一七 電話（3）二六四四番

三宅牧場
電話（3）二〇八八・三三八七番

京表具古美術商 青井文藻堂
祝町二丁目五 電話（3）三四六二・六一六二番

世帯道具と食料品の店 遠藤洋行
新京中央通三六 電話（3）六七四九番

割烹 溫泉閣
新京ダイヤ街 電話（3）五二八五番

滿泰洋行
中央通一六 電話（3）三三五一番

中谷時計店新京支店
東一條通 電話（3）三八五四・六七五九番

落語コント

國策線

「明日は耐寒ハイキングか。結構だな。その代り一切贅澤な事はいけないよ。戰時下だといふ事を忘れずに、携帶品は飲水と日の丸辨當程度で宜からう」「へえ。履物も草履、服も國防服の團服で參ります」

「宜からう〳〵。何處へ行くのか知らんが、總て國策線に沿つて行つて來て欲しいな」「旦那畏まりました」と、小僧は鐵道地圖を出して頻りに指で探しながら「ハテ、國策線は何處だらう」

貯蓄

「貯蓄報國だ。僕の背廣通り今日も無駄を省いて益々貯金をしてくれたまへな」「へえ。一番餘計貯金した者が御褒美に十圓頂くお約束だつたので、皆欲しい物を買はずに買つた積りで貯金をしました。つまり積り貯金です」「ツモリ貯金はいゝな。一番は誰吉の三圓五十錢か。すると褒美の十圓はお前に……」「有難う存じます」「待て〳〵。遣つたツモリで僕も貯金しよう」

資源開發

「おいおい貸さん、目の色を變へて何處へ行くんだ？」「あツ、親方さんですか。私もこれで御國に忠義を盡す事が出來ますぜ。サア凸凹美め〳〵」「なんだい。お前召集令狀でも戴いたのか？」「違ふ〳〵。家の空地から石炭が出るんだ。掘り當てたのは私ですぜ。横領しようたツてさうはさせねえぞ」「誰が横領すると言つた。慌てなさんな。石炭の出るのは當然さ。横濱は元石炭屋の物置だ」

晴着

「おゝ與太、素敵な晴着を拵へたぢやあねえか」「兄哥か。見てくんな。國策代用品のステープルもんだぜ」「ふーん。立派なもんだ。とても古着とは思へぬ位えだ」「古着？ 兄哥は山數ちやあいけねえぜ。よくご覽よ。こんな古着があるもんかな」「新品かい。ホヽオ、そりやあ濟まねえ。本當か與太？」「當り前だあな。店の親爺がさう言つたぜ。全く新品も同樣でございます……とよ。」

錦糸堀

名前が金魚といふ位だから魚から金が得られぬものでもあるまいと、貯金報國の氣持で金魚を睨んでゐた與太郎。「何とかして金魚の鱗から金が絞り出せねえもんかな、兄哥」「金魚から金を絞り出す？ 大變な事を考へやがつたな。ウンさうだ、一層其奴を本所へ持つて行つてみたらどうだい？」「へえゝ。本所にそんな絞り工場でもあるのかい、兄哥？」「大ありさ。お前知らねえのかい。ツラきんしぼりよ」

九星活斷 今年の運勢

◎一白水星

今年は平運の年です、然し多少衰運の兆がありますから、新規の事には手を出さず、手堅く舊事を守つて、精勵恪勤、常に目上の意見に從つて心を平靜に保ち、決して急がずに運の開くのを待つことが肝要です。努力は必ず報ゐられるから、効果が見えずとも倦まずに家運の發展を期せられよ。

◎二黒土星

幸運に惠まれる好い年です。思ふこと成就して、喜悦に滿ち家運は駸々として延びて行くでせうが、然し最も戒めなければならないのは、殊に今年こそ驕らず、油斷せず、怠けぬことです、飽くまで質素に、決して贅澤をせず、神佛の加護を祈つて眞面目に働けば、一層福運を得て發展向上をなし得ませう。

◎三碧木星

運氣は不同で既る動搖の兆がありますから、本年は術策の用心が必要です。損も大きく、利益も亦大きい年だから、損をせぬやう、非望野望を起さず、人と爭論せず、焦らずに萬事忍耐して精勵するやうに心懸けなさい。辨びさへせねば、比較的速かに彼岸へ達することの出來る働き甲斐のある年です。

◎四綠木星

あなたの今年は衰運ゆゑ、徒勞になる事が多く、功を收め難いのはお氣の毒です。決して殷しやうの大儲けをしやうのと野心を起すべからず、只一途に當事のみに心を集中して、家內の不和合、友人知己の不信を招かぬやう戒心是れ努むべきです。大損を招かねばよいと諦めねばならぬ年です。

◎五黄土星

去年に引續き今年も百事不如意のこと多く、希望は兎角違せぬ勝である。然し矢張前年に引續いて、濫りに失望落膽せずに己れを練磨する考へで堅忍不拔の精神を發揮すべきです。例令ば喧嘩をしかけられても、下から出て謝罪し、自己を制して我意を張らぬやうにすれば、不慮の災厄を免れ得るでせう。

◎六白金星

あなたは去年から惠まれてゐる。今年も盛運で萬德圓滿、家運隆盛、思ふことは希望以上に成就して物質的にも豫期せぬ程の利益を得ることが出來るでせう。然し財を散じ易く、人におだてられて却て損失を招き、眼前の小利は掴んでも將來の大利を失ふ虞のある年だから、その點を充分に戒慎なさい。

◎七赤金星

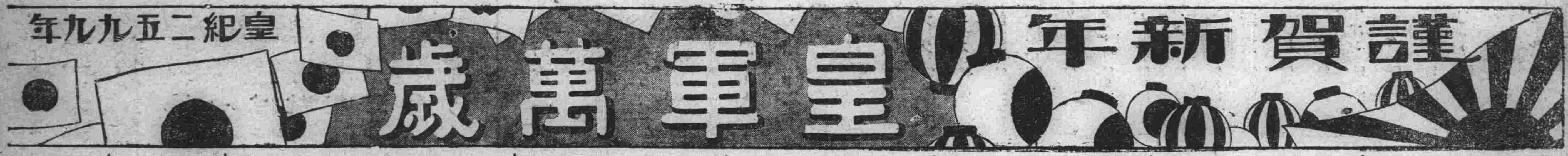
運氣轉換、今年になつてあなたは本命年の降り坂です。少しも心の許せない、災害厄難の纏ひ寄つてゐる危い今年ですから前進は中止して舊來の仕事を守り、何事も手控へて正直を旨とし、驕きの慾起らぬやう、苦情出ぬやう、一心に勉勵して眞面目を損らぬやうに氣永く忍耐することが何より肝要です。

◎八白土星

再び盛運に返つて、今年は進取發展の出來る大吉年です。眞率で正直で温和で、そして誠實でさへあれば、求めずとも今年は福と財とを併せ得ることが出來て、萬事吉慶を得られませうから、一心不亂に職務に精勵して、中途で心を弛ませず、驕りを生ぜず、この幸運を空しく逸せぬやうに心掛けなさい。

◎九紫火星

一轉して、今年よりは小事と雖も忽せにせず、進むにも退くにも少しも油斷せずに充分に戒慎して、過誤を生ぜぬやう、災難を招かぬやう、飽くまで慎重な態度を持續せねばなりません。運氣振はぬ今年が、無事無難に過し得られれば大幸と思つて、衰運の上に過ちなきを期すべきです。



新京通關運輸精算株式會社

新京運送業組合

常設映畫館聯盟 新京支部

國都飯店 新京豐樂路 電話（2）二九七七・五三二七番

新京舞踏場組合

新京荷馬車營業組合 理事長 秋山茂樹

新京材木商組合
佐藤木廠 共信公司 面高製材所 大山木材廠 吉川商會新京支店 西田材木店 岡本材木店 華村木廠 大嶋洋行 中宮商店 無限會社製材 新京出張所 元盛號 住吉製材所
小松製材所 高砂製材所 岩間商會 沼田商會 藤井材木店 德喜林業公司 高橋材木店 秋田商會新京支店 大二商會新京出張所 亞國材木店 新京製材所 國際運輸會社新京支店

飯富洋行 新京祝町二丁目一五 電話（3）六六三七

ミツワ屋書店 新京吉野町二丁目二二 電話（3）二三三一番

株式會社 巖松堂書店新京支店 支店 新京東一條通り一六番地 電（3）三八四二・二五五四 本店 東京市神田區神保町

高梨特許事務所 新京祝町三丁目九番地 電話（3）三二八二番

大和新館 新京東二條通五五

食料雜貨 丸德商店 吉野町二ノ八 電話（3）二二三三番

新金鐸・醬油・サイダー 八王寺釀造工業株式會社 奉天大北邊門外

財團法人 蒙古會館

佃竹次郎 新京室町二丁目一五 電話（3）三四五三番

久永洋行 久永英三 新京梅ヶ枝町二丁目一四

中島信之 鍛・允子

丸福果實店 吉野町二ノ一四 電話（2）六三三六番

マルヤス帽子店 新京祝町二ノ二 電話（三）六五三二番

活版諸印刷 諸帳簿製本 諸印鑑彫刻 濱木印刷所 新京特別市大經路吉林行バス前 電話（2）二四七九番

吉原洋服店 豐樂路七一四號 電話（二）四八五六番

新京大阪屋號書店 大谷愛三郎

米國シンガーミシン會社 美國勝家縫紉機器公司 新京支店 主任 長島岩市 新京日本橋通り八九 電話（3）三八四五番 私書函新京局第五番

首都乘用馬車人力車組合

書籍雜貨文具洋品 森野商店 吉野町一丁目二四 電話（三）二一五一・六三八二番

朝日舍新聞舖

日鮮精米所 東二條通六 電話（3）二三一七・三三一九番

賓宴樓 東三條通り二六 電話（3）二七二八・二八一二番

玩具小間物 日乃出屋 吉野町一丁目一九 電話（3）二七二一番

合資會社 伊關商店 新京日本橋通一八 電話（3）二〇四〇番

三泰公司 中央通二一 電話（3）二七四七番

炭安商店 新京室町二丁目九 電話（3）三〇〇五番

籔虎 日本橋通一一五 電話（3）三四四五番

半えりと小間物の店 丸美屋 吉野町二丁目 電話（3）二一八六番

小林履物店 吉野町二丁目一四 電話（3）二三四四番

天狗屋履物店 梅ヶ枝町二丁目 電話（3）六三九三・六三三八番

新京驛賣店 久保田ケサエ

早川齒科醫院 錦町二丁目七 電話（3）三二九六番

合名會社 天野商店 新京老松町三ノ二 電代表（3）六二二一

綿布團、世帶道具一式 酒井商店 吉野町二丁目 電話（3）二四六四番

廣春洋行 吉野町二丁目一〇 電話（3）三〇五二番

大島洋行本店 新京中央通二七 電話（3）三一一〇番

株式會社 木村洋行 新京中央通三六 電代表（3）三三四六

本多洋服店 新京吉野町四丁目三 電話（3）六四六七番

蓄音器レコード 日信洋行 吉野町一丁目二五 電話（3）六五〇七番

河久商店 三笠町二ノ一 電話（3）三二〇四番

謹祝皇軍連勝新年

皇紀二五九九年

亞細亞會館
東二條通り
電話③五三五八四・五七一五番

喫茶と食事
グレート赤玉
新京東一條通り
電話③六四八五〇・七八一〇番

喫茶と食事
中央
新京吉野町二丁目
電話③三七六一番

新東洋一豪華大サロン
グランド銀パレス
銀座新道
電話③六九二〇番・六九三〇番・三五六〇番

高級喫茶
ニュー銀座
新京銀座
電話③六三五二番

喫茶と食事
ハリウッド
日本橋通り(南廣場)電話③六六二九番

康德味覺、國都グリル
房產味覺、青葉グリル
野田市太郎經營

長期建設 先づ健康を祈る
カフェー港
新京日本橋通り六五
電話港(ミナトサンゴクイヨ)③五九一四番

土木建築請負
沖組工務所
沖城吉
電話③五五〇九・六一九一・二三四九番

ダイヤ街
三業組合
新京検番

扇芳亭
一つ家
すみれ
桃園
桐壺
三樂園
竹廼家
うつぼ

新京カフエー組合
富士町二丁目一四
電話(3)五九二〇番
(イロハ順)

イナリ 電3五四二六	マルセーユ 電3五九二九
ロータリ 電3二八三〇	238 電3六四八〇
初音 電3五六一三	プランタン 電3四三二八
ハト 電3三八四六	コルト 電3五六一五
春 電3二六九四	アリス 電3二四九三
ニュー新京 電3六三六三	赤玉 電下3六七八一 上3四八五〇
日輪 電3二五〇六	亞細亞會館 電上3三五八四 下3五七一五
ポプラ 電3二九七二	キング 電3四〇八九
ベニス 電3六八五九	銀波 電3三四七四
道頓堀 電3二五五四	銀座會館 電3二九三〇
地球の裏 電3五九二〇	銀パレス 電3三五五九 六九二〇 六九三〇 三五六〇
リクウエスト 電3三八九四	ゆりかご 電3三九三〇
オリエント 電3六五三三	ミス東洋 電下3五八二〇 上3三八二八
カダン 電3五八五二	ミス日本 電3二〇〇一
カルメン 電3四六〇五	ミス大阪 電3六一〇六
太閤 電3五八二六	美勇起 電3三三七八
大新京 電3三四五六	港 電3五九一四
南國 電3三二二二	松竹 電3五七三五
南京 電3六一五六	新興 電3六二二九
ライオン 電3二三七九	處女林 電3五五七二
ノラ 電3六七七三	火の鳥 電3二〇〇八
大和 電3五五五五	モカ 電3五八三五
マスコット 電3二八六九	精養軒 電3二三〇五
滿洲 電3四八八二	世界 電3六九三六
丸ビル 電3六三六一	全勝 電3四五八三

賀正

戰勝の新春を迎へ御同慶に存じます
味不二がデビューしましてから未だ半歳！國策線に沿ふた眞に大衆的喫茶大食堂をと經驗の乏しい自分をかへりみず猪突的に押進めて參りましたが嘸かし皆樣に御不便御不滿をおかけしたことゝお詫びいたします
本年こそはこの經驗を生かし飽くまでも御客樣本位に『國都の一名物』たらんと意氣込んでをります。相變らざる御引立と御支援の程を懇願申上げます
栃尾彦三郎

東子 壽司 和食 洋食 喫茶 支那料理

味不二(ミフジ)
新京東二条通(銀座新道角)
電話(3)2342番

明けましておめでたう
カフエーモンテカルロ

春江 敏子 登美子 千惠子 千鶴 利江子 董 妙子 環 麗子 都賀靜子 蘭子 桂子 惠美子 悅子 早百合 早苗 絹代 銀子 弓子 美奈子 光代 通子 北佐子 瞳
男子從業員一同